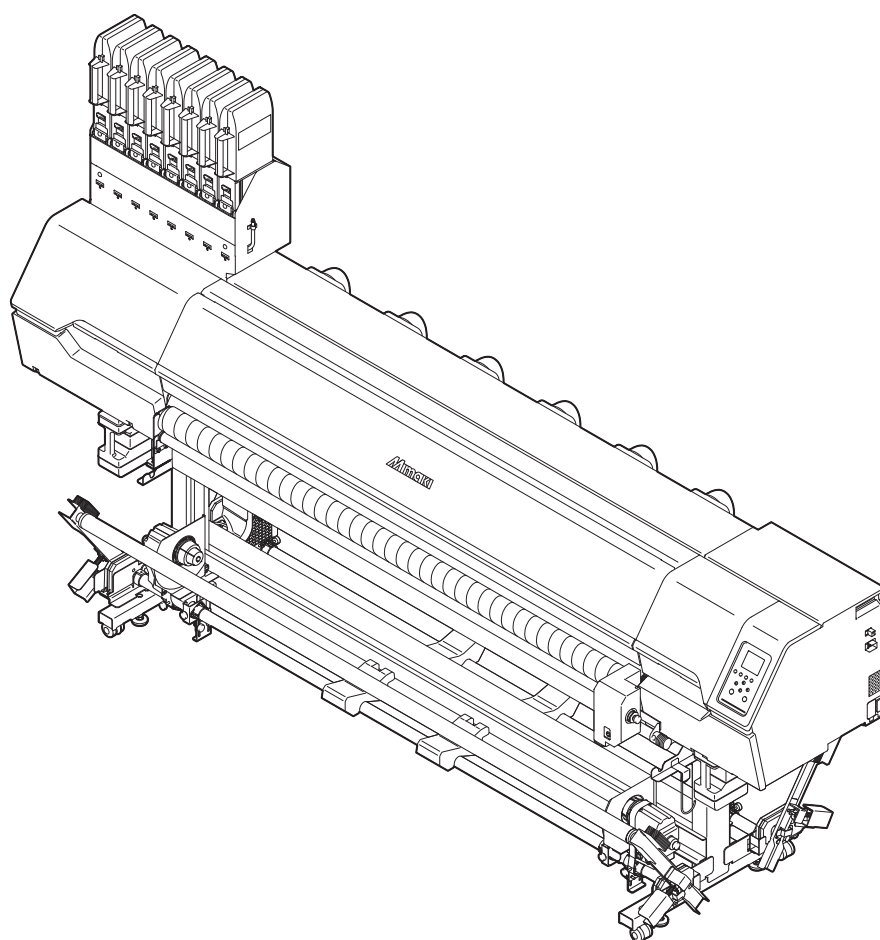


Operation Manual

INKJET PRINTER
TX330-1800

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	6
安全にお使いいただくために	7
シンボルマーク表示について	7
使用上の警告と注意	8
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項.....	12
インク仕様	13
インク消費有効期限に対する本機の制限について	14
設置上のご注意	15
設置スペース	16
本機を移設したいとき	16
安全インターロックについて	17
警告ラベル	18

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき	22
正面	22
背面/右側面	24
キャリッジ	25
ステーション	25
ブラテン	25
ブラテンホルダー	26
ピンチローラーとグリットローラー	26
メディアセンサー	27
電源スイッチ	28
操作パネル	29
1.2 電源ケーブルを接続する	32
電源を入れる	32
電源を切る	33
1.3 本機とコンピューターを接続する	35
LANケーブルを使う	35
USBケーブルを使う	36
1.4 システム構成	37
Mimakiドライバーをインストールする	38
RIP用ソフトウェアをインストールする	38
カラープロファイルを入手する	38
RIP用ソフトウェアを準備する	38
1.5 インクの交換方法	40
インクニアエンドが表示されたとき	40
インクエンドが表示されたとき	40
インクを交換する	41

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ	48
-------------------	----

2.2 プラテンを切り替える.....	51
プラテンの持ち方	51
布メディア用に切り替える.....	52
紙メディア用に切り替える.....	53
2.3 インク受けスパーサーを取り付ける	54
2.4 プリントヘッドの高さを調整する.....	56
2.5 引っ張りローラーを準備をする	58
トルクリミッターを調整する	58
2.6 布巻ローラーを準備する	59
2.7 メディアをセットする.....	61
メディアについて	61
巻き取りユニット	62
繰り出しユニット	71
ロールメディア(布メディア)をセットする.....	72
ロールメディア(転写紙)をセットする.....	82
リーフメディア(布メディア)をセットする.....	87
リーフメディア(転写紙)をセットする.....	89
メディアを登録する	90
2.8 テストプリントをする.....	93
テストプリントの配置方向を変更する.....	93
吐出不良について	94
2.9 ヘッドクリーニングをする.....	95
2.10 フィード補正をする	96
フィード補正の手順	96
2.11 ドット位置補正をする.....	98
ドット位置補正の手順.....	98
2.12 RIPデータを準備する	100
2.13 プリントする	102
原点を変更する.....	102
プリントを開始する	103
プリントを中止する（データクリア）	104

第 3 章 各種設定

3.1 メディア設定メニュー	106
3.2 メンテナンスメニュー	109
ノズルリカバリーを登録する	112
ノズルチェックとは	113
3.3 機能設定メニュー	114
3.4 環境設定メニュー	116
3.5 マシンステータスメニュー.....	118

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意	120
-------------------------	-----

4.2 メンテナンスの方法	121
メンテナンス項目とタイミング	121
インクのメンテナンス	123
キャップゴムの清掃	123
キャリッジ底面の清掃	124
ワイパーの清掃	125
NCUの清掃	127
DAS（自動補正機能）センサーの清掃	128
インク受けスパーサーの清掃	129
インクスロープの清掃	130
インク排出経路の洗浄	130
メディアセンサーの清掃	131
メディア押さえ、布押さへの清掃	132
ジャムセンサー検出板の清掃	133
プラテン、プラテンワイヤーの清掃	134
ピンチローラー、グリットローラーの清掃	134
引っ張りローラーの清掃	135
カバー（外装）の清掃	136
長期間使用しないときは	137
4.3 消耗品の交換	139
消耗品を交換するタイミング	139
ワイパーの交換	140
ワイパークリーナーの交換	141
キャップの交換	143
ステーション周辺の吸収材の交換	145
排気ファンフィルターの交換	147
吹き付けファンフィルターの交換	147
ピンチローラーの交換	148
メディア押さえ、布押さへの交換	150
インク供給ユニットのインク吸収材の交換	154
廃インクタンクの交換	155

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは	158
電源が入らない	158
プリントできない	158
メディア詰まり、メディアが汚れる	158
画質不良が発生した	159
インクが漏れた	162
5.2 メッセージを表示するトラブル	163
ワーニングメッセージ	163
インクエラー	164
エラーメッセージ	165
SYSTEM HALT	171

第 6 章 付録

6.1 仕様	174
--------------	-----

6.2 オプション	176
リレーBOXについて	176

はじめに

この度はインクジェットプリンター Tx330-1800をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLink、TxLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- Tx330-1800（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証していません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

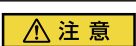
本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- ・ 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- ・ 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所へ移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
（大阪） 072-727-2499 24時間対応
（つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記



- ・ インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

⚠ 警告



- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

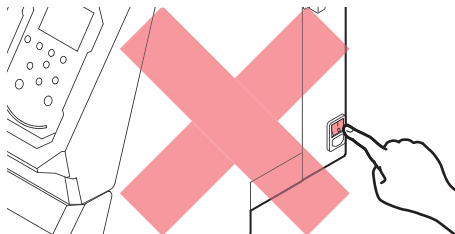


- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注意



- ・顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- ・長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警告



- ・本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警告



- ・本機に子供を近づけないでください。

注 記



- ・正面カバーを開ける際は、アクリル部を持たないでください。アクリルが破損する原因になります。



- ・クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。



- ・プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。



- ・設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起これば、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 95)

● 本機の廃棄について

⚠ 注意



- ・販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- ・お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。



インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- ・ インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- ・ 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。

インク仕様

項目		Tx330-1800		
種類		専用昇華転写インクSb411 (ミマキエンジニアリング純正品)	専用昇華染料インク Sb420 (ミマキエンジニアリング純正品)	専用顔料転写インク TP410 (ミマキエンジニアリング純正品)
カラー		ブルー (BL) マゼンタ (M) イエロー (Y) ブラック (K)	ブルー (BL) マゼンタ (M) イエロー (Y) ブラック (K) ライトブルー (Lbl) ライトマゼンタ (Lm)	シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) ブラック (K) レッド (R) ブルー (BL) グリーン (GR) ライトブラック (Lk)
形態		アルミパック		
インク容量		2,000 ml		
消費有効期限		インクパックに記載されているとおり。ただし、開封後は消費有効期限内であっても1か月以内。		
保存温度 *1	保存時	10 - 35°C (1日の平均気温)		
	輸送時	0 - 40°C		

*1. 保存温度範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例) 消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。



- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。
-

設置上のご注意

⚠ 警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



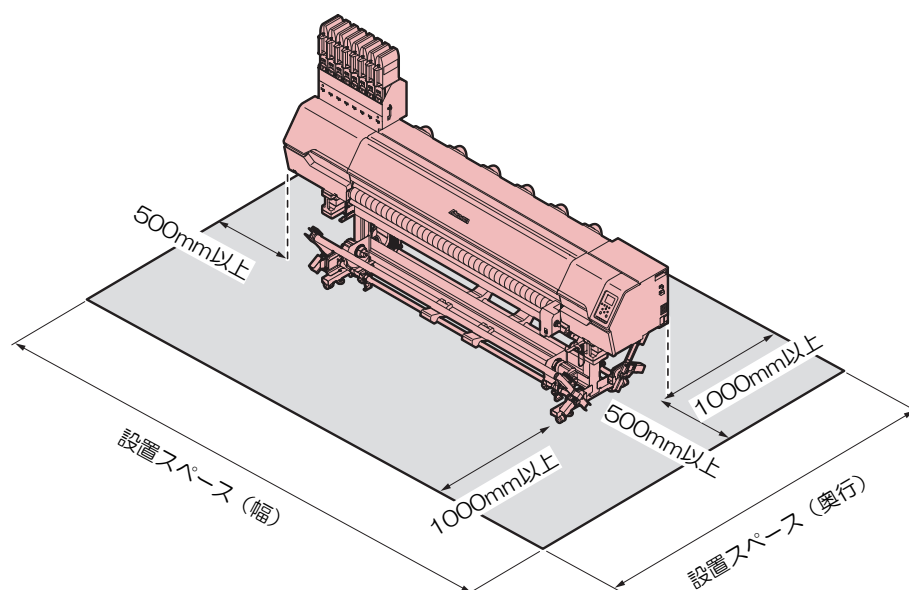
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



● Tx330-1800

サイズ	Tx330-1800
幅 ^{*1}	4,230 mm以上 (3,230 mm)
奥行き ^{*1}	2,965 mm以上 (965 mm)
高さ ^{*1}	(1,857 mm) ^{*2}
重量	291kg

*1. () 内は、本機のサイズ

*2. インクエコケースセット時

本機を移設したいとき

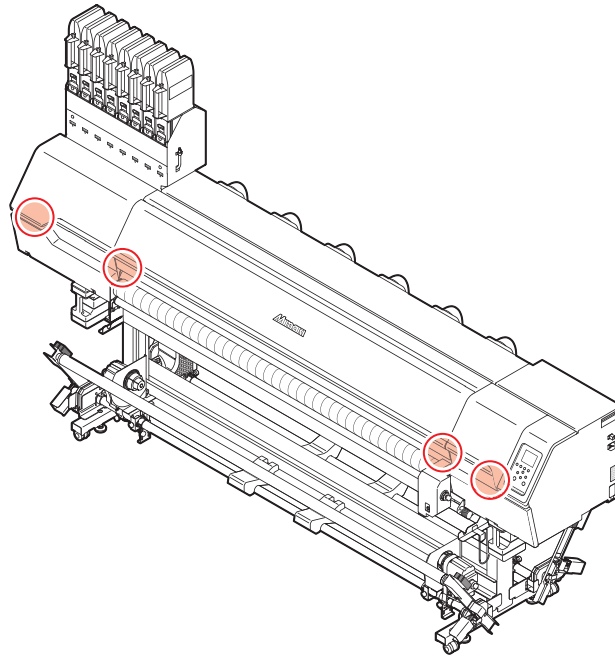
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

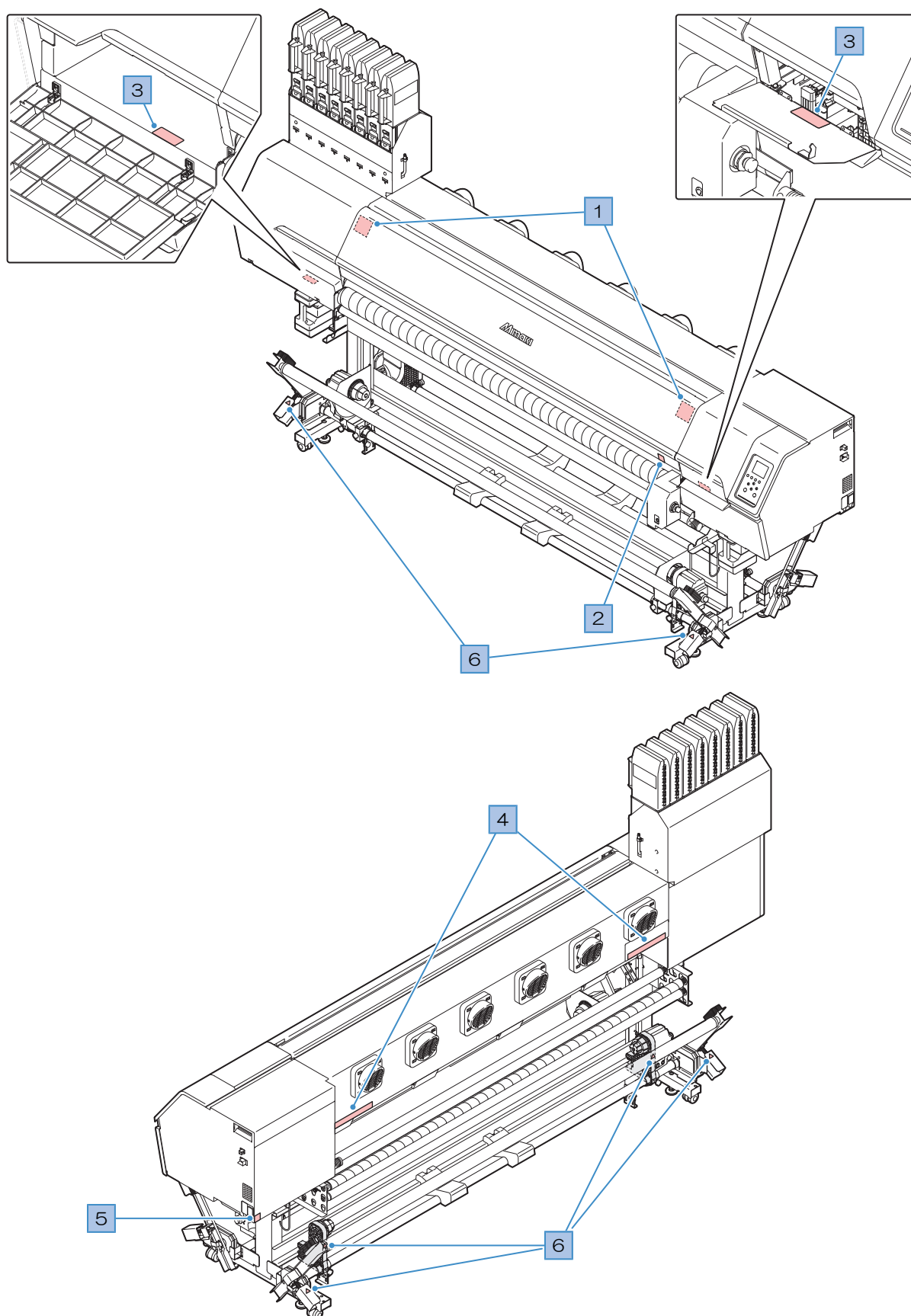
- インターロック設置場所



警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M907833		危険な可動部を示しています。
3	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
4	M905811		危険な可動部を示しています。
5	M907935		危険な電圧部を示しています。
6	M918910		危険な可動部を示しています。

第1章 ご使用の前に



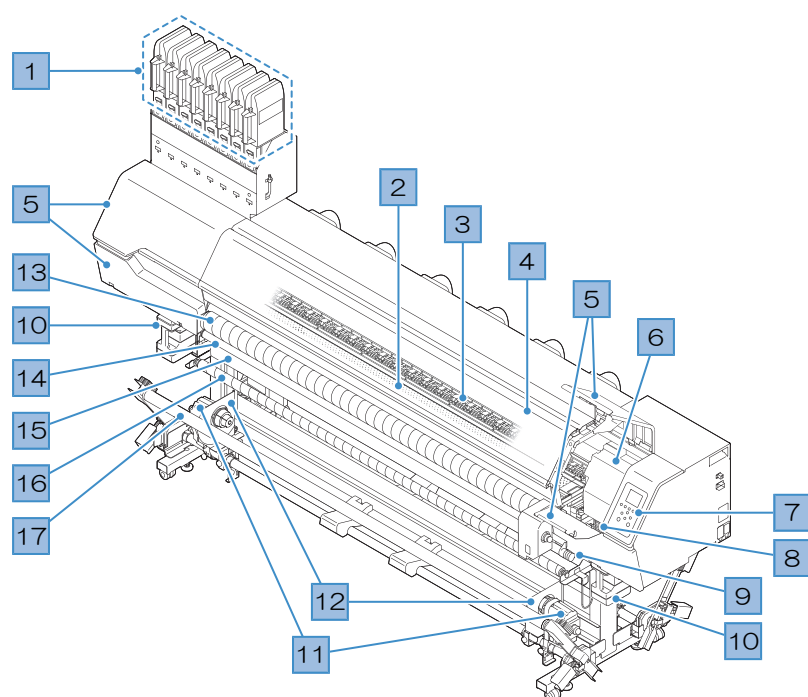
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....	22	本機とコンピューターを接続する	35
正面	22	LANケーブルを使う	35
背面/右側面	24	USBケーブルを使う	36
キャリッジ	25	システム構成.....	37
ステーション.....	25	Mimakiドライバーをインストールする	38
プラテン.....	25	RIP用ソフトウェアをインストールする	38
プラテンホルダー	26	カラープロファイルを入手する.....	38
ピンチローラーとグリットローラー.....	26	RIP用ソフトウェアを準備する.....	38
メディアセンサー	27	インクの交換方法.....	40
電源スイッチ.....	28	インクニアエンドが表示されたとき	40
操作パネル	29	インクエンドが表示されたとき.....	40
電源ケーブルを接続する	32	インクを交換する	41
電源を入れる.....	32		
電源を切る	33		

1.1 各部の名称とはたらき

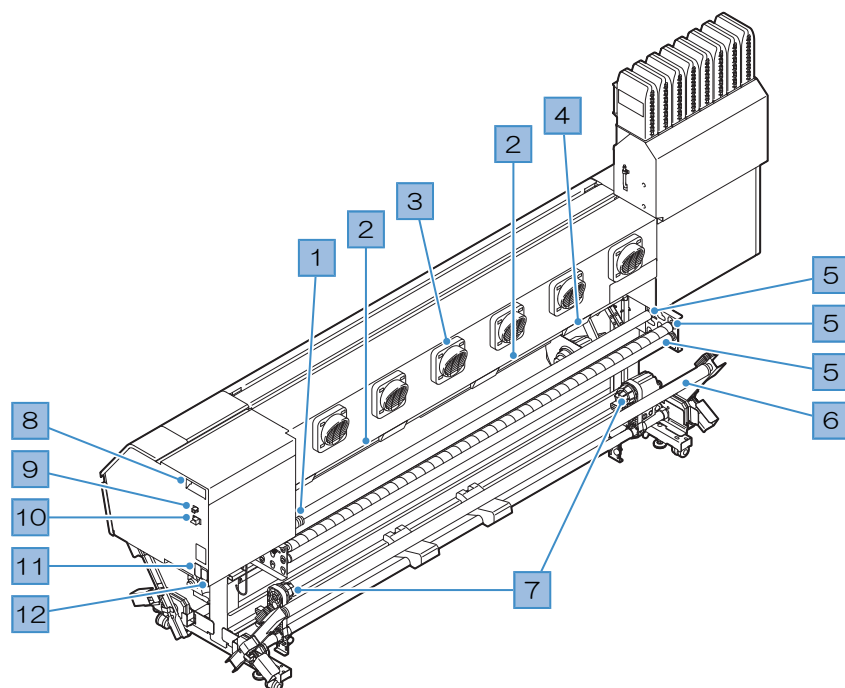
正面



No.	名称	概要
1	インクカートリッジ	各色のインクが入っています。
2	プラテン	プリントするエリアです。☞「 プラテン 」(P. 25)
3	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞「 ピンチローラーとグリットローラー 」(P. 26)
4	正面カバー	カバーを開けて、メディアをセットしたり、プラテン周辺のメンテナンスをしたり、消耗品の交換をしたりします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
5	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面などをメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
6	キャリッジ	プリントヘッドやジャムセンサー、などで構成されています。☞「 キャリッジ 」(P. 25)
7	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「 操作パネル 」(P. 29)
8	ステーション	プリントヘッドを保護するキャップやワイパーなどで構成されています。☞「 ステーション 」(P. 25)
9	クランプレバー	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。背面にあるクランプレバーと連動しています。
10	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「 廃インクタンクの交換 」(P. 155)
11	端面ガイド	巻き取ったロールメディアの端面が横方向へずれて、タケノコ状になってしまうことがあります。端面ガイドを使用することで、ロールメディアのずれを防ぐことができます。
12	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞「 巻き取りユニット 」(P. 62)

No.	名称	概要
13	引張りローラー	メディアを送るためのローラーです。
14	布巻きローラー	引張りローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぎます。
15	プラテンホルダー	布メディアをプリントするときにプラテンを外して、収納します。  「 プラテンホルダー 」 (P. 26)
16	巻き取り折り返しバー	巻き取るメディアのテンションを安定させます。
17	巻き取りテンションバー	巻き取るメディアのテンションを調節します。

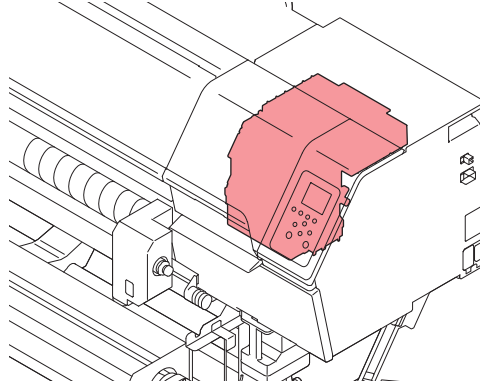
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞「メディアセンサー」(P. 27)
3	吹き付けファン	送風してプリントしたインクを乾燥させます。
4	排気ファンBOX	メディアを吸着するためにエアーを排出します。
5	繰り出し折り返しバー	繰り出すメディアのテンションを安定させます。
6	繰り出しテンションバー	繰り出すメディアのテンションを調節します。
7	繰り出しユニット	ロールメディアを装置前面に繰り出すための装置です。☞「繰り出しユニット」(P. 71)
8	メンテナンス液カートリッジ	メンテナンスのときに、メンテナンス液を自動でキャップに充填したり、インク排出経路のインクの凝固を防いたりする用途に使われています。
9	USBポート	USBインターフェースケーブルでコンピューターと接続します。☞「USBケーブルを使う」(P. 36)
10	LANポート	LANケーブルでコンピューターと接続します。☞「LANケーブルを使う」(P. 35)
11	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞「電源スイッチ」(P. 28) 電源を入れる電源を切る
12	ACインレット	付属されている電源ケーブルを使用してください。電源ケーブルを接続する

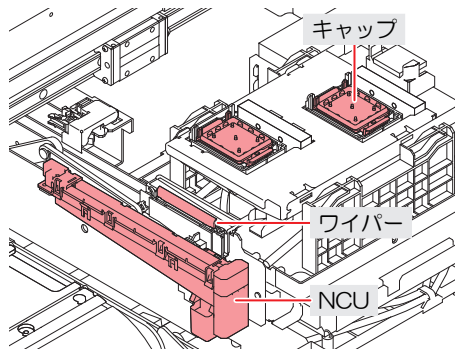
キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッドとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。



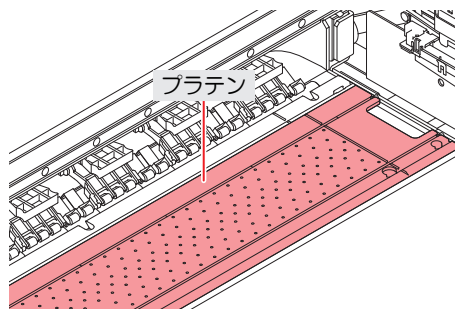
ステーション

ステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。



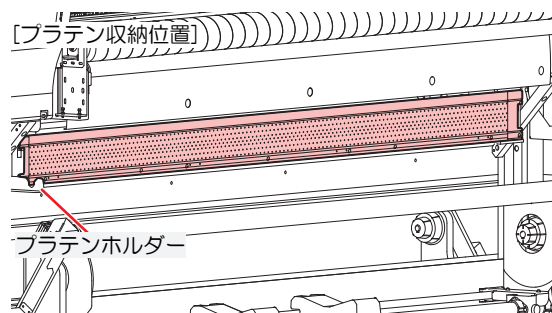
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。紙メディアにプリントする場合、プラテンを使用します。布メディアの場合は、プラテンを取り外してプリントします。（プラテンは脱着可能です）



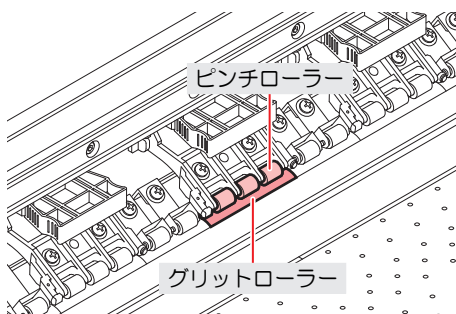
プラテンホルダー

布メディアにプリントする場合は、プラテンを取り外してプラテンホルダーに収納します。



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。

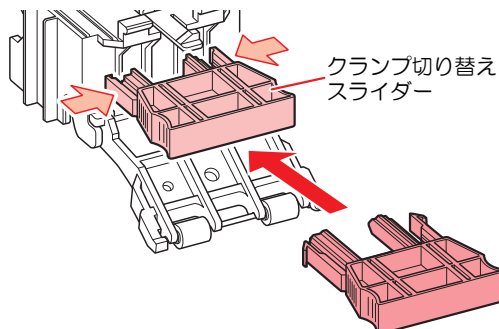


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

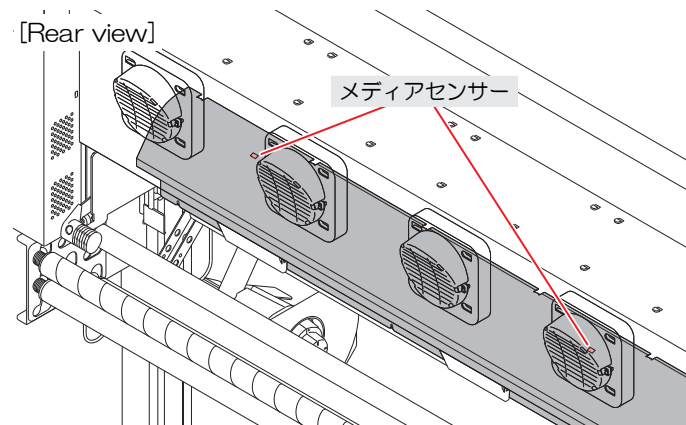


- クランプ切り替えスライダーは、左右のメディア端のピンチローラーに取り付けて使用します。クランプ切り替えスライダーを取り付けると、ピンチローラーを上げることができます（左右のメディア端以外のピンチローラーは上げないでください）。左右のメディア端を押さえないことで、安定してメディアをフィードさせることができます。



メディアセンサー

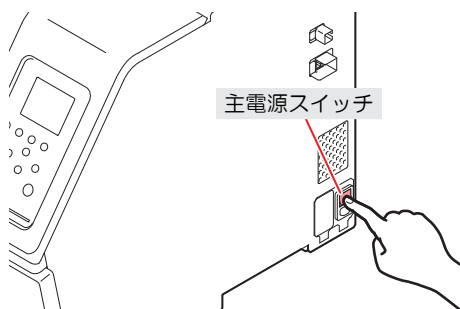
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。ブリカバー上（背面側）に2個あります。



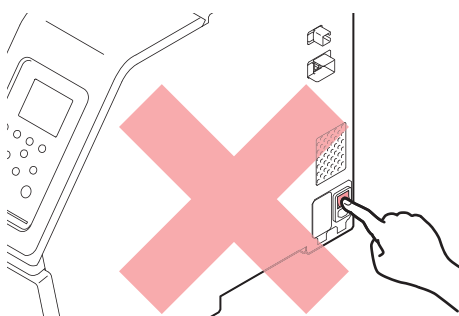
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面奥側にあります。



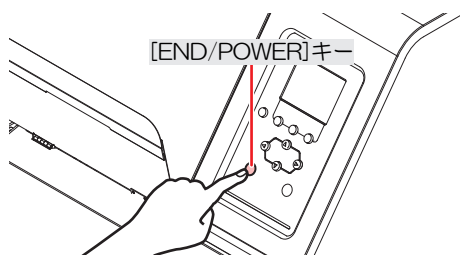
- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

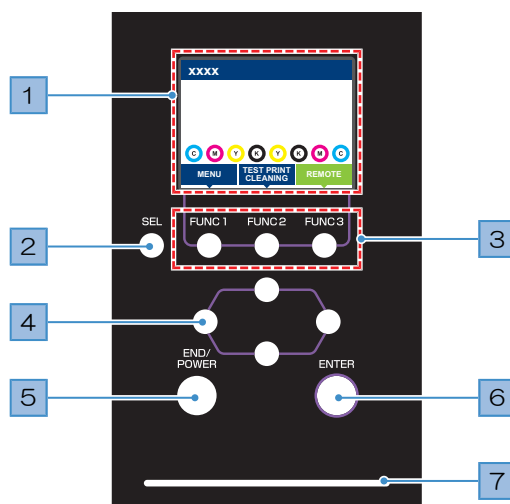
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。

電源を切るとは、[END/POWER]キーを長押しします。ディスプレイに案内が表示されたら、[ENTER]キーを押します。



操作パネル

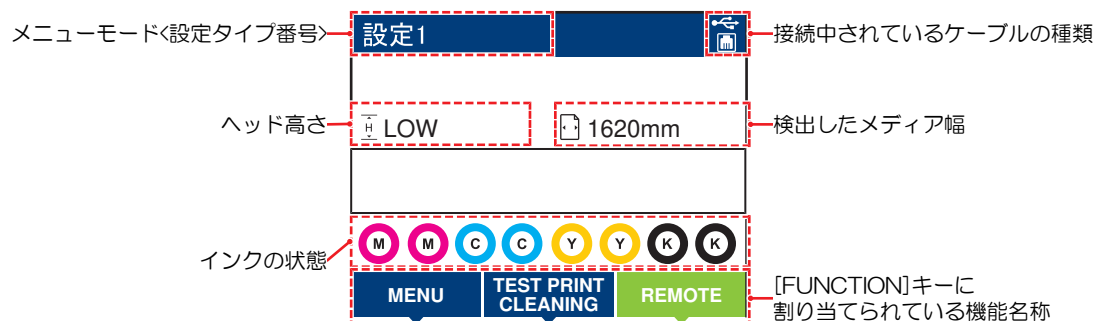
設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要																				
1	ディスプレイ	☞ 「ディスプレイ」 (P. 30)																				
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。																				
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞ 「[FUNCTION]キー」 (P. 31)																				
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。																				
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 - 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞ 「電源を入れる」 (P. 32) - 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞ 「電源を切る」 (P. 33)																				
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞ 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 31)																				
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">消灯</td><td>ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">水色</td><td>点灯</td><td>リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。</td></tr> <tr> <td>点滅</td><td>プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。</td></tr> <tr> <td>青色</td><td>点灯</td><td>プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。</td></tr> <tr> <td>緑色</td><td>点滅</td><td>メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。</td></tr> <tr> <td>黄色</td><td>点滅</td><td>インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。☞ 「インクニアエンドが表示されたとき」 (P. 40)</td></tr> <tr> <td>赤色</td><td>点滅</td><td>エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 165)</td></tr> </table>	消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。	水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。	点滅	プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。	青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。	緑色	点滅	メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。	黄色	点滅	インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。☞ 「インクニアエンドが表示されたとき」 (P. 40)	赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 165)
消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。																				
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。																				
	点滅	プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。																				
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。																				
緑色	点滅	メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。																				
黄色	点滅	インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。☞ 「インクニアエンドが表示されたとき」 (P. 40)																				
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 165)																				

No.	名称	概要	
		点灯	システムエラー（SYSTEM HALT）が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☎ 「SYSTEM HALT」（P. 171）

ディスプレイ



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクパックの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要
	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。
	フル
	1/8消費
	1/4消費
	3/8消費
	1/2消費
	5/8消費
	3/4消費
	7/8消費
	インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☎ 「インクエラー」（P. 164）

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
	各種メニュー画面を表示します。☞ 「各種設定」 (P. 105)
	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
	ローカルモードからリモートモードに移行します。
	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
	ヒーターの温度設定画面を表示します。
	受信データをクリアします。
	リモートモードからローカルモードに移行します。
	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
	各種機能を無効にします。
	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
	複数ある項目の有効/無効を切り替えます。

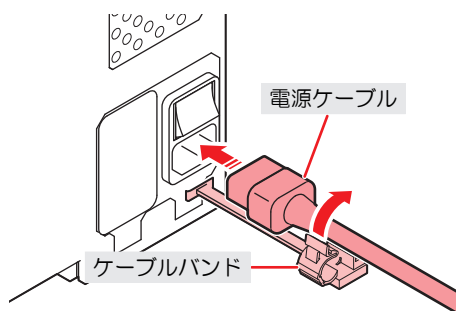
本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

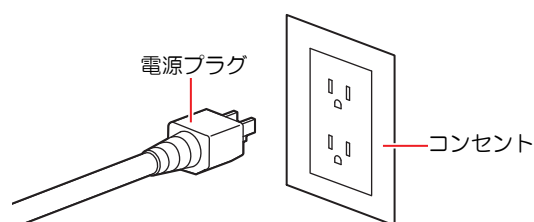
- ・ インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- ・ 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを接続する。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを接続する。
- 4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
 - ・ クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



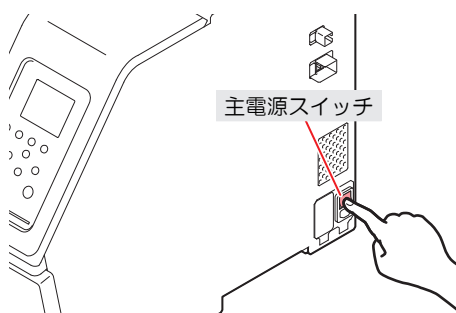
- 5 コンセントに電源プラグを接続する。



・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

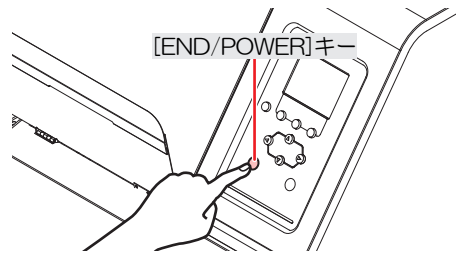
電源を入れる

- 1 主電源が入っているかどうかを確認する。
 - ・ 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

- ・ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、メディア選択モードになって本機を使用することができます。



3 接続しているコンピューターの電源を入れる。



- ・正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

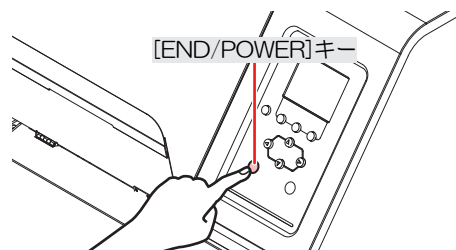


- ・電源を切るときは、以下を確認してください。
 - (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
 - ・カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。
 - (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
 - ・プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
 - (3) データを受信していないこと。
 - (4) エラーが発生していないこと。
 - ・🖨️ 「メッセージを表示するトラブル」 (P. 163)

1 接続しているコンピューターの電源を切る。

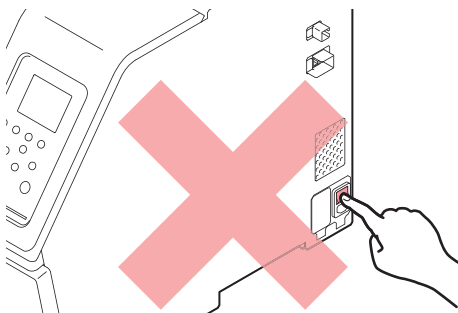
2 [END/POWER]キーを長押しする。

- ・電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。





- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

本機とRIP用コンピューターを接続してください。以下のケーブルを使用することができます。

1.  「LANケーブルを使う」 (P. 35) (推奨)
2.  「USBケーブルを使う」 (P. 36)

重要! USBケーブルを使用した場合

- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

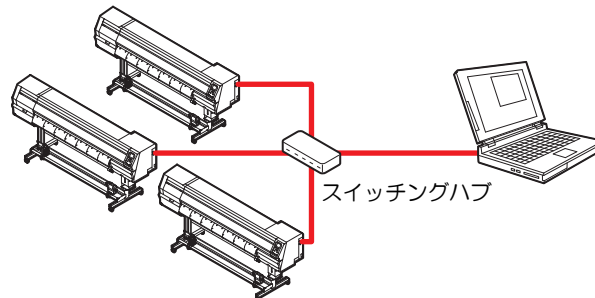


- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6以上のLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



● LAN接続確認方法

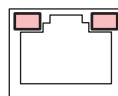
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 31) “100Mbps”、“10Mbps”、“接続なし”表示されている場合は、プリントすることができません。



2 LANコネクターのランプを確認する。

- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 ・ 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



- ・ データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



- ・ USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。



- ・ コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

【重要】USBケーブルを使用した場合

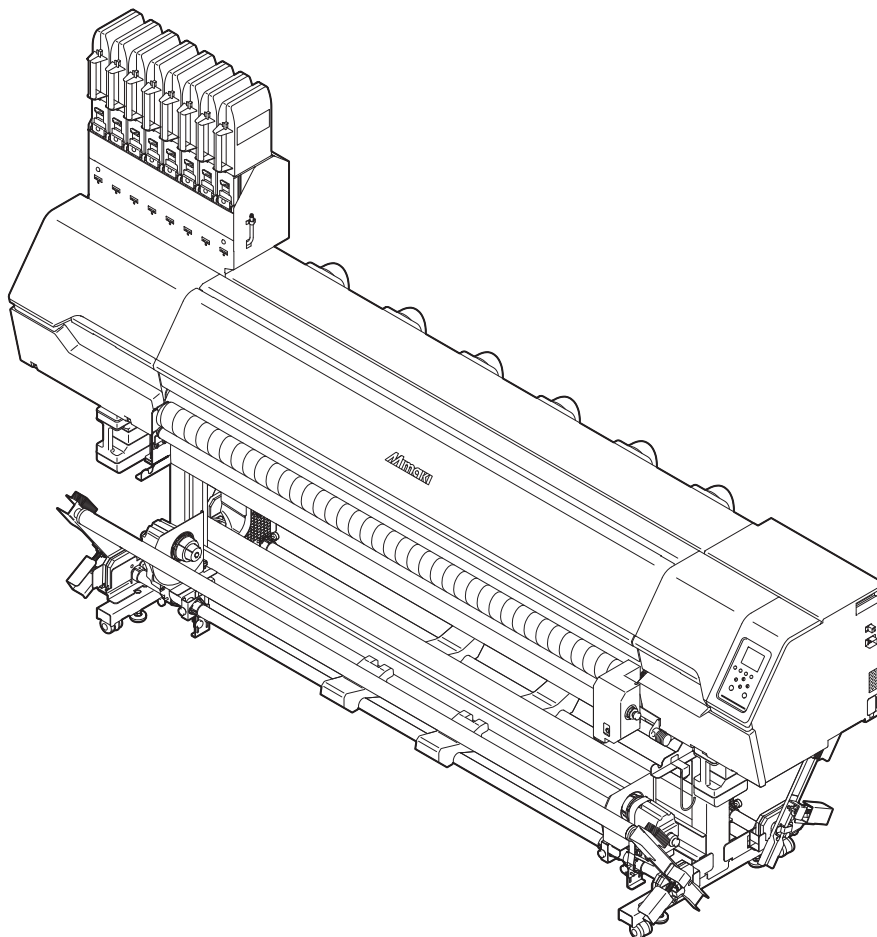
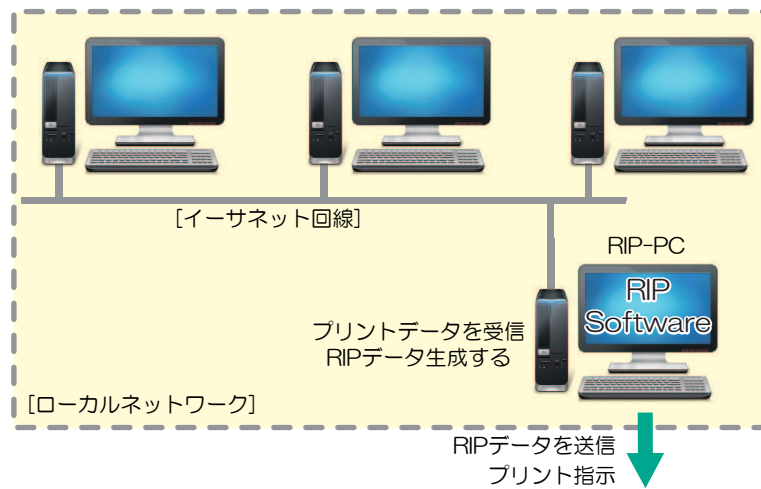
- ・ 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USB接続についての注意事項

- ・ 1台のコンピューターに複数の Tx330-1800を接続する場合
 - － 複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを差し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。
- ・ USBケーブルを延長する場合
 - － 市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。
 - － USBケーブルを延長した場合、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
- ・ USBハイスピードモードの周辺機器について
 - － 本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器（USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けのUSB ハードディスクドライブなどを接続すると、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
- ・ USBメモリーの抜き方
 - － 本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。



Mimakiドライバーをインストールする

1 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。

- <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[Tx330-1800] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 MIMAKIドライバーをインストールする。

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

重要! • TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 “RasterLink”をインストールする。

- インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。“プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを手入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
<https://japan.mimaki.com/download/software.html>
[ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[Tx330-1800] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

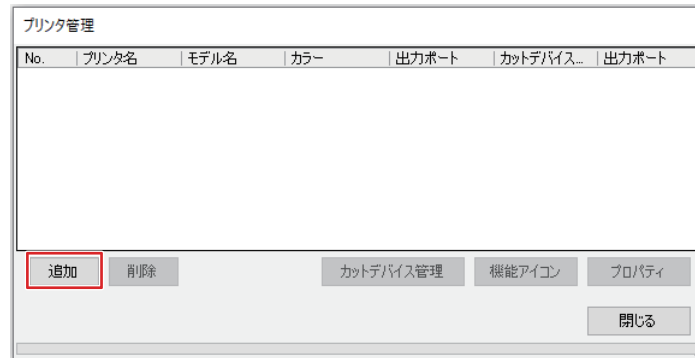
重要! • TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 “RasterLink”を起動する。

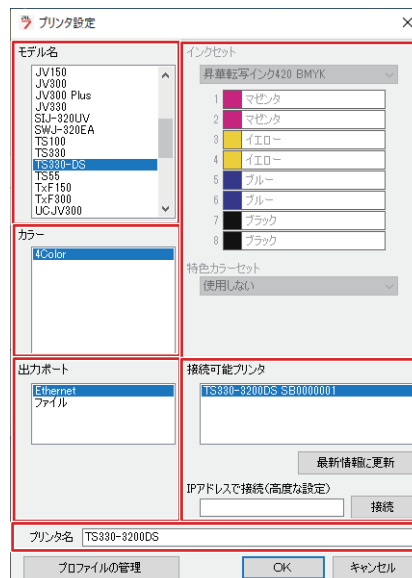
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動したあとに、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 Tx330-1800を登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) Tx330-1800の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
通常インクセット搭載時は「Tx330」を選択
Hybridインクセット搭載時は「Tx330-Hybrid」を選択
 - カラー：充填されているインクセットを選択
 - 出力ポート：接続しているケーブルを選択
 - 接続可能プリンタ：接続している Tx330-1800を選択
 - プリンタ名：任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
- 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
- プリンターの登録が開始されます。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

1.5 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。インクパック内のインクは空になっているので、早めに新しいインクに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、連続でプリントできなかったり、クリーニングなどの一部のメンテナンス機能が無効になります。またプリントの途中でインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクカラーを確認することができます。🔊
「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 31）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

🔊 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 12）



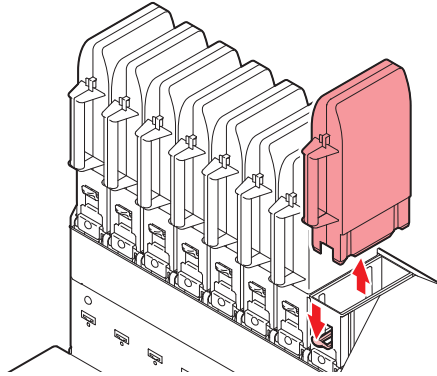
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

インクを交換する

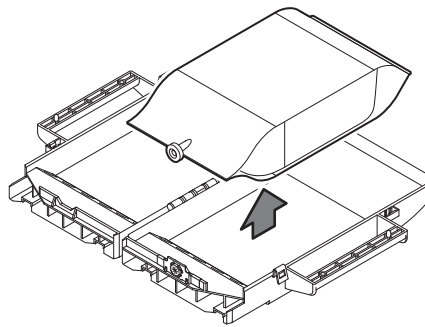
インク交換手順

- インクエコケースを外す

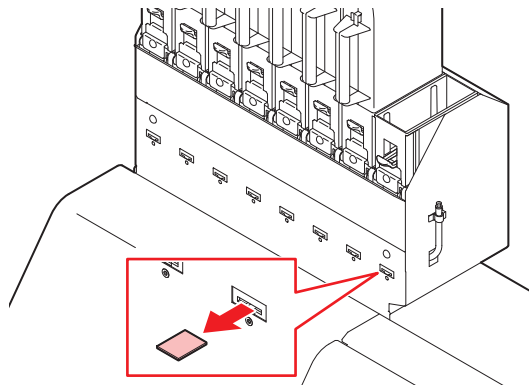
1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



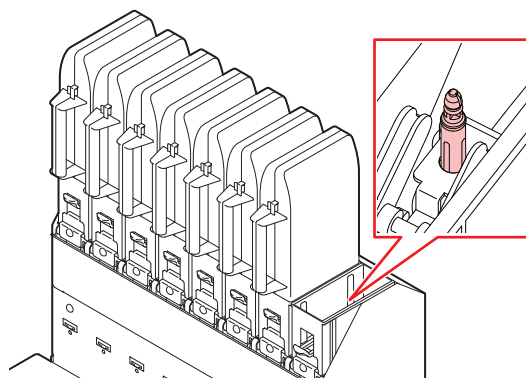
2 インクエコケースを開けて、インクパックを外す。



3 インクICチップを外す。



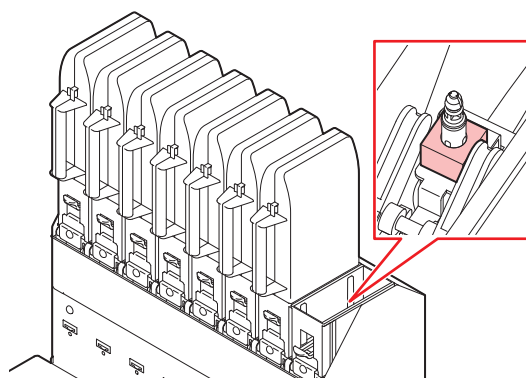
4 インクエコケースの挿し込み口に付着しているインクを拭き取る。



- 挿し込み口に紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。



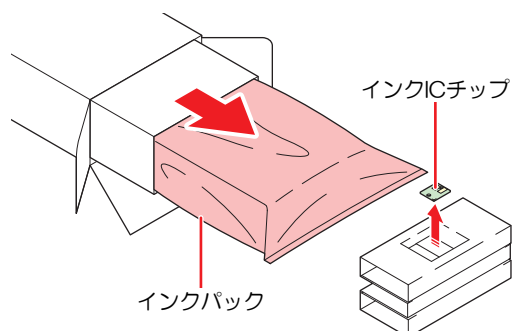
- インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

● インクを準備する

1 インク梱包箱から、インクパックとインクICチップを取り出す。



2 インクパックを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- ・ インクパックの挿し込み口を紙タオルなどで押さえて、インクを流すように左右に振ってください。

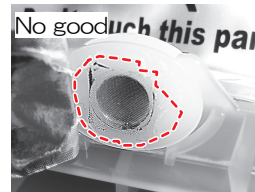


- ・ 使いかけのインクパックの場合は、インクエコケースの挿し込み口を紙タオルなどで押さえて、インクエコケースが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

3 インクパックの挿し込み口に貼ってあるシールを剥がす。

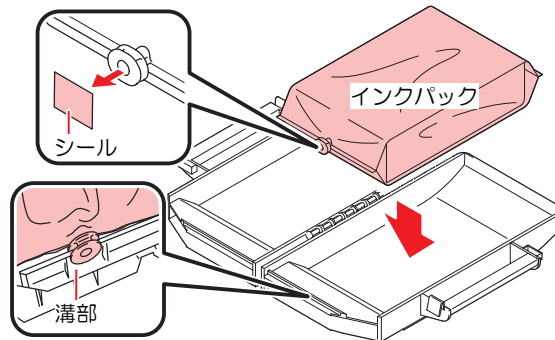


- ・ シールが残らないように剥がしてください。シールが残っていると、台座からインクエコケースを外したときに、インクが漏れるおそれがあります。



4 インクエコケースにインクパックを入れる。

- ・ インクパックのコネクターをインクエコケースの溝部にはめ込んでください。ずれているとインクが供給できないおそれがあります。
- ・ インクエコケースのラベル表示に従って、パックの形を整えてください。



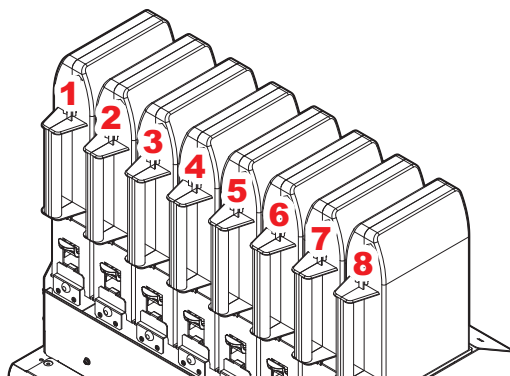
5 インクパックを挟まないように、静かにインクエコケースを閉じる。



- ・ 手や指を挟まないように注意してください。

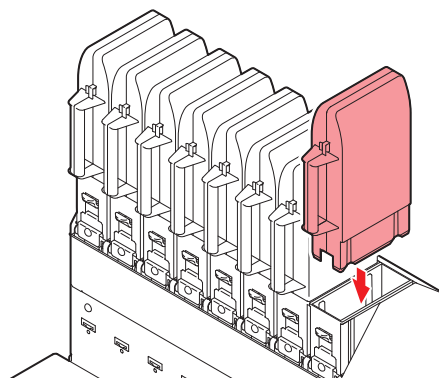
● インクをセットする

お使いになるインクセットによって、セットするインクエコケースの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクエコケースを押し込んでください。



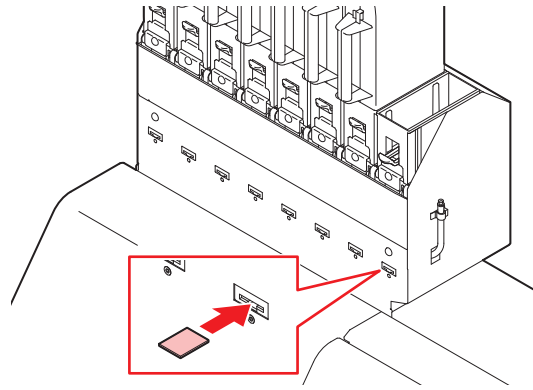
インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Sb420 (4-color)	M	M	Y	Y	Bl	Bl	Bk	Bk
Sb420 (6-color)	M	Lm	Y	Lb	Bl	Bl	Bk	Bk
TP410 (4-color)	M	M	C	C	Bk	Y	Bk	Y
TP410 (8-color)	M	R	C	Bl	Lk	G	Bk	Y
Sb411 / Sb420 (4-color,Hybrid)	Sb411				Sb420			
	M	Y	Bl	Bk	M	Y	Bl	Bk
Sb411,Sb420 / TP410 (4-color,Hybrid)	Sb411,Sb420				TP410			
	M	Y	Bl	Bk	M	C	Bk	Y

1 台座にエコケースをセットする。



・ 奥までしっかりと押し込んでください。インクが供給されないおそれがあります。

2 新しいインクICチップをインクICチップスロットに挿し込む。

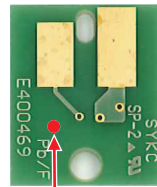


- インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気やインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- インクICチップについて：インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	● (青丸1つ)
マゼンタ	● (赤丸1つ)
イエロー	● (黄丸1つ)
ブラック	● (黒丸1つ)
ライトシアン	●● (青丸2つ)
ライトマゼンタ	●● (赤丸2つ)
ライトブラック	●● (黒丸2つ)
オレンジ	● (橙丸1つ)
ホワイト	○ (白丸1つ)
ブルー	●● (青丸1つ/赤丸1つ)
ライトブルー	●●● (青丸2つ/赤丸1つ)
レッド	●● (赤丸1つ / 黄丸1つ)
グリーン	● (緑丸1つ)



- インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。

第2章 プリントしてみる



この章では...

プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ	48	テストプリントをする	93
プラテンを切り替える.....	51	テストプリントの配置方向を変更する	93
プラテンの持ち方	51	吐出不良について	94
布メディア用に切り替える.....	52	ヘッドクリーニングをする	95
紙メディア用に切り替える.....	53	フィード補正をする	96
インク受けスパーサーを取り付ける	54	フィード補正の手順.....	96
プリントヘッドの高さを調整する.....	56	ドット位置補正をする	98
引っ張りローラーを準備をする	58	ドット位置補正の手順	98
トルクリミッターを調整する	58	RIPデータを準備する.....	100
布巻ローラーを準備する	59	プリントする.....	102
メディアをセットする.....	61	原点を変更する	102
メディアについて	61	プリントを開始する.....	103
巻き取りユニット	62	プリントを中止する（データクリア）	104
繰り出しユニット	71		
ロールメディア(布メディア)をセットする.....	72		
ロールメディア(転写紙)をセットする	82		
リーフメディア(布メディア)をセットする	87		
リーフメディア(転写紙)をセットする	89		
メディアを登録する.....	90		

2.1 プリントの流れ

1. プラテンを切り替える

🔧 「プラテンを切り替える」 (P. 51)

2. インク受けスパーサーを取り付ける

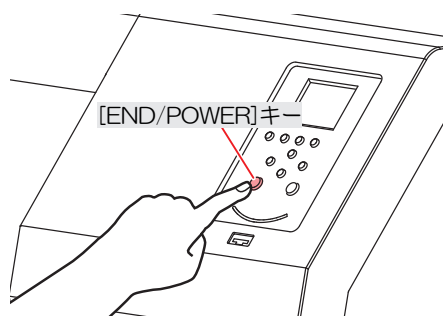
🔧 「インク受けスパーサーを取り付ける」 (P. 54)



- 布メディアにプリントする場合に実施します。

3. 本機の電源を入れる

🔧 「電源を入れる」 (P. 32)



4. RIP用コンピューターと本機を接続する

🔧 「USBケーブルを使う」 (P. 36)

🔧 「LANケーブルを使う」 (P. 35)

5. RIP用ソフトウェアを準備する

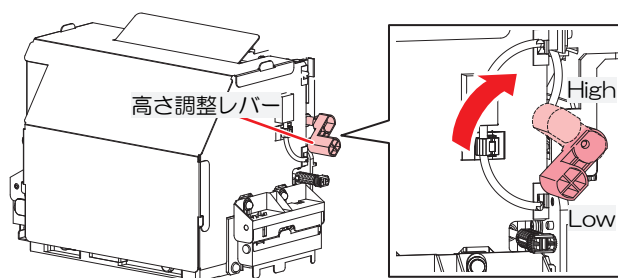
🔧 「RIP用ソフトウェアをインストールする」 (P. 38) (初回のみ)

🔧 「カラープロファイルを入手する」 (P. 38)

🔧 「RIP用ソフトウェアを準備する」 (P. 38) (初回のみ)

6. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。🔧 「[プリントヘッドの高さを調整する](#)」 (P. 56)



7. ワイパーを変更する

プリントヘッドの高さに合わせて、ワイパーを変更してください。ワイパーを変更する

8. 引っ張りローラーを準備する

🔧 「[引っ張りローラーを準備をする](#)」 (P. 58)



- 布メディアにプリントする場合に実施します。

9. 布巻ローラーを準備する

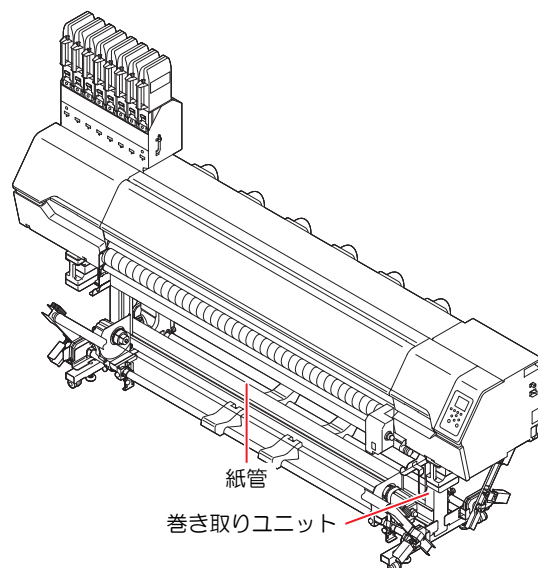
🔧 「[布巻ローラーを準備する](#)」 (P. 59)



- 布メディアにプリントする場合に実施します。

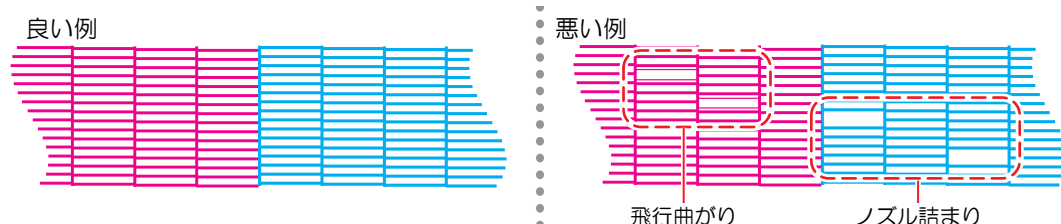
10. メディアをセットする

ロールメディアとリーフメディアを使用できます。🔧 「[メディアをセットする](#)」 (P. 61)



11. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞ 「テストプリントをする」 (P. 93)

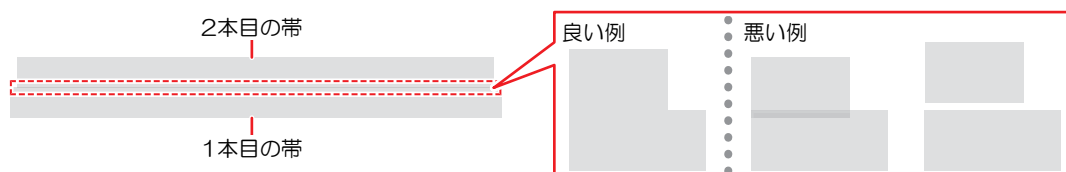


12. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 95)

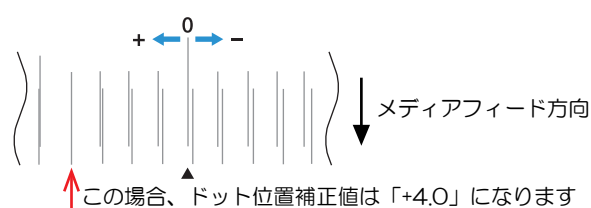
13. メディアの送り量を調整する

☞ 「フィード補正をする」 (P. 96)



14. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 98)



15. RIPデータを準備する

☞ 「RIPデータを準備する」 (P. 100)

16. RIPデータをプリントする

☞ 「プリントする」 (P. 102)

2.2 プラテンを切り替える

Tx330-1800は、布メディアと紙メディア（転写紙）に対応しています。お使いになるメディアに合わせて、専用のプラテンに切り替えてください。



- プラテンの切り替え作業時は、必ず主電源を切ってください。
- プラテンが汚れている場合は必ず清掃を行ってから取り外してください。
- インクが衣服や手などにつかないように注意してください。

重要!

- メディアがセットされている場合は一度メディアを外してから切り替え作業を実施してください。



- 裏抜けしない布、転写紙を使用する場合は、紙メディア用脱着プラテンに切り替えてご使用ください。☞ **「紙メディア用に切り替える」**（P. 53）

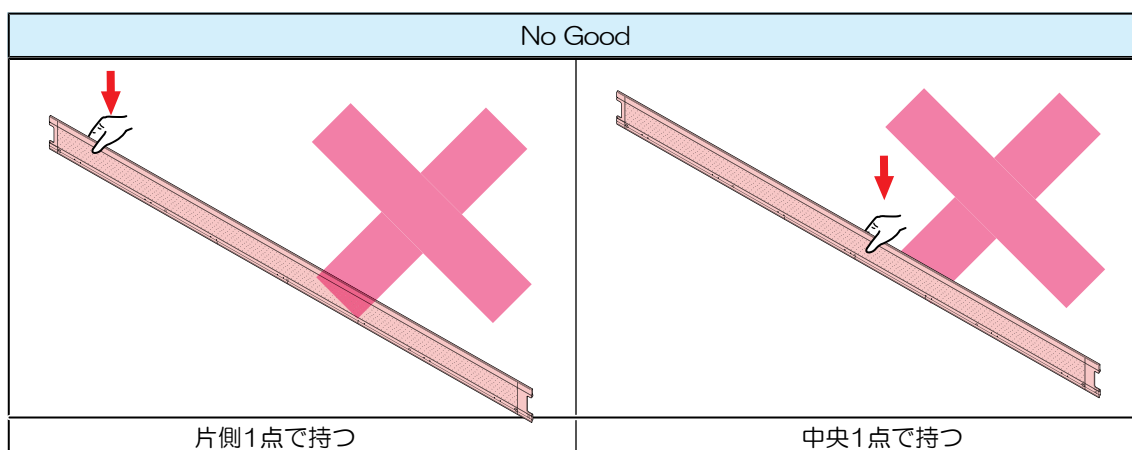
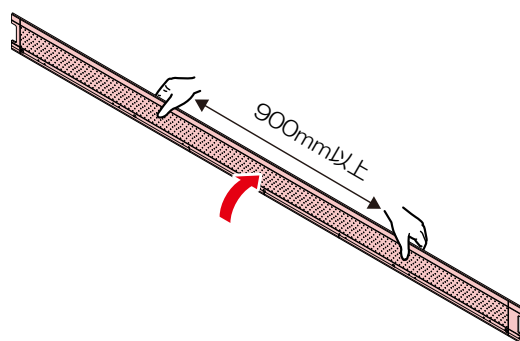
プラテンの持ち方



- プラテンは金属の薄い板でできています。手袋を着用し、手などを切らないように十分に気を付けてください。
- プラテンを持ち運ぶ場合は周りの人や物にぶつからないように注意してください。

プラテンは、左右900mm以上の間隔をあけて、中央付近を必ず両手（2箇所）で持ってください。

本体に取り付けた状態から手前に90度起こした状態で持ってください。

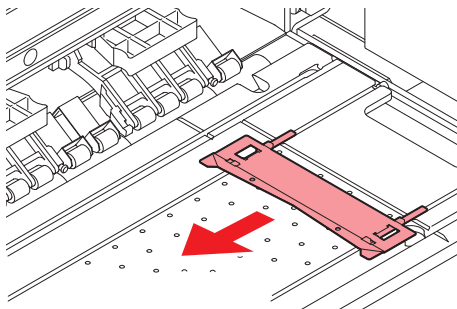


布メディア用に切り替える

脱着プラテンがセットされている場合は、以下の手順で布メディア用へ切り替えてください。

● 手順

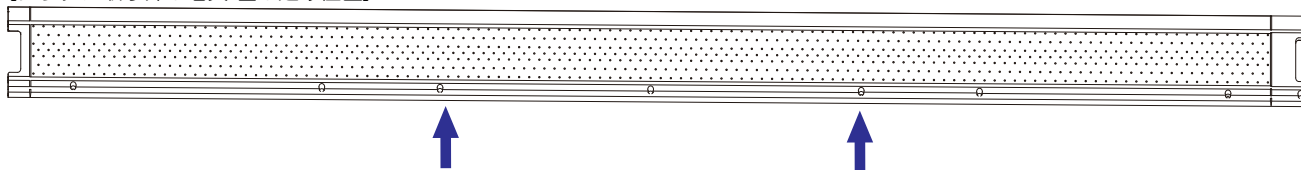
- 1 正面カバーを開ける。
- 2 プラテンからメディア押さえ（左右各1）を取り外す。



3 脱着プラテンを持ち上げる。

- ・ 脱着プラテンは磁石で強く固定されているため、以下の方法で持ち上げてください。
- (1) 本体と脱着プラテンの間に付属のインク受けスペーサー(x2)を差し込みます。

[プラテン取り外し治具 差し込み位置]

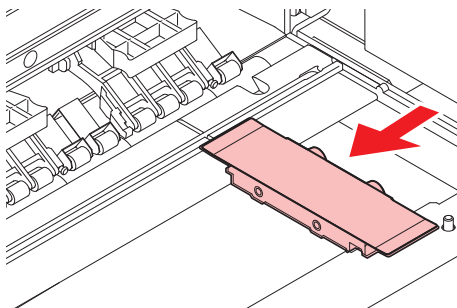


- (2) インク受けスペーサーで脱着プラテンを押し上げてから持ち上げます。



- ・ マグネットで固定されているので、跳ね上げに注意してください。
- ・ プラテン取り外し治具を差し込むときは無理に力を加えないでください。部品が破損するおそれがあります。

- 4 持ち上げた脱着プラテンを手前に引いて、リアプラテンから外す。
- 5 取り外した脱着プラテンを下部にあるプラテンホルダーに収納する。🔗「プラテンホルダー」(P. 26) 🔗「プラテンの持ち方」(P. 51)
- 6 布押さえ（左右各1）を取り付ける。



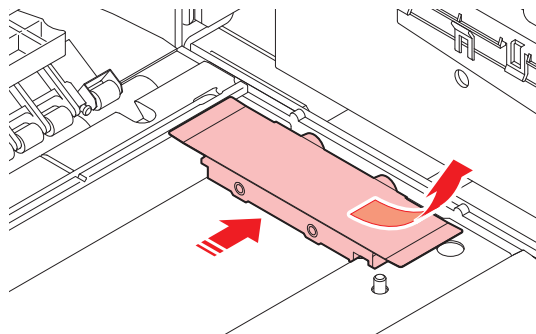
紙メディア用に切り替える

● 手順

1 正面カバーを開ける。

2 布押さえ（左右各1）を取り外す。

- ・ メンテナンススペース側に寄せて取り外します。
- ・ インク受けスペーサーが設置されている場合は、取り外してください。



3 脱着プラテンをプラテンホルダーから取り出す。☞ 「プラテンホルダー」（P. 26）☞ 「プラテンの持ち方」（P. 51）

4 プラテンの先をリアプラテンの右端にそろえて突き当てる。



- ・ 突き当てるときに、紙片や糸くずが挟まらないように注意してください。
- ・ 紙片や糸くずがある場合は取り除いてから作業してください。



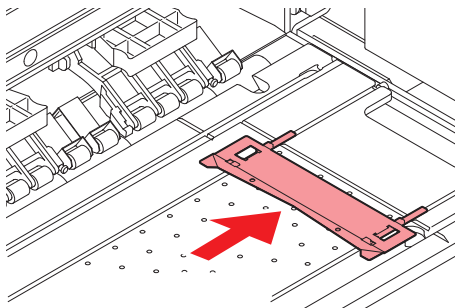
- ・ 脱着プラテンが確実に設置され、浮いてないことを確認してください。
- ・ 脱着プラテン設置後、プラテンが汚れている場合は清掃を実施してください。☞ 「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」（P. 134）



- ・ 脱着プラテンの磁力が強力なため、取り付け時に指など挟まないように注意してください。
- ・ メディア押さえがひかからないように注意して取り付けてください。

5 脱着プラテンの端にあるピンをプラテンフレームの溝に確実に合わせてはめこむ。

6 脱着プラテンにメディア押さえ（左右各1）を取り付ける。



2.3 インク受けスパーサーを取り付ける



- 布メディアにプリントする場合に実施します。

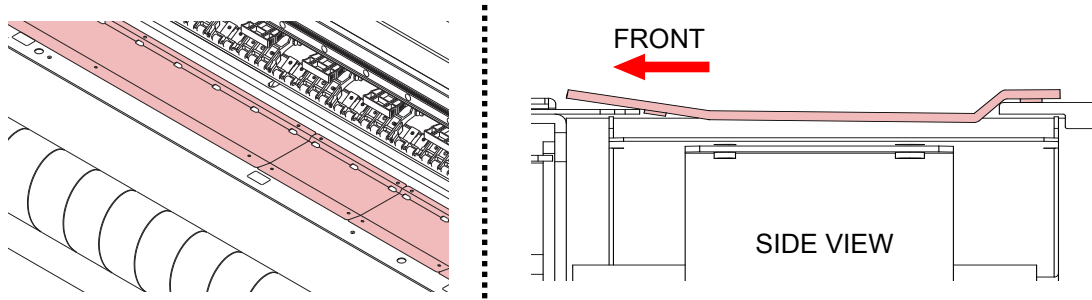


- プリントするときは、インクミストによるメディア汚れを防止するため、必ずインク受けスパーサーをセットしてください。

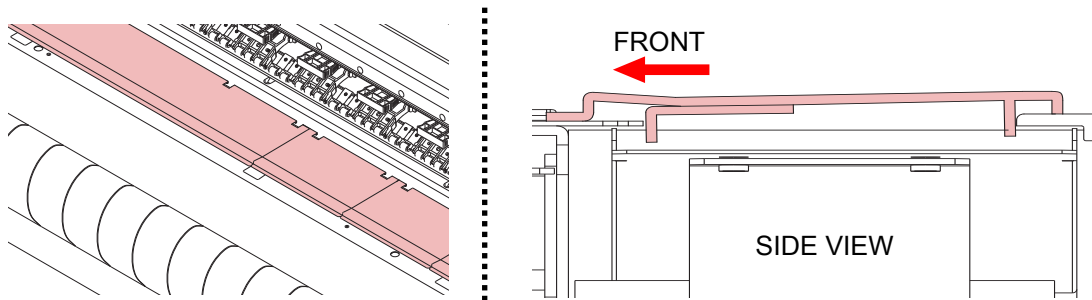
● インク受けスパーサーについて

2種類のインク受けスパーサーが標準で付属されています。

- インク受けスパーサー1（幅650mm...2枚、幅130mm...5枚）



- インク受けスパーサー2（幅650mm...2枚、幅130mm...5枚）



- 低湿度環境（35%Rh以下）にて、プリントするメディアの目が粗い（メッシュメディア）の場合は、インク受けスパーサー2を使用してください。

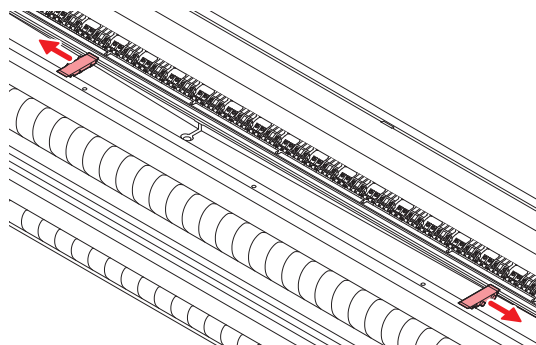


インク受けスパーサー2を使用する際は下記の点に注意してください。

- メディアの裏面にインクが付着する可能性があるため、メディアを張った状態にしてください。
- テンションバーと引っ張りローラーを使用してください。
- テンションバーに触るとメディアが緩み、メディアの裏面にインクが付着する可能性があります。
- 成果物を取り外す際は、JOGキーや余白機能にてメディアを送り出してから取り外してください。

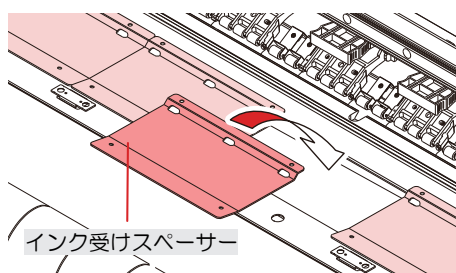
● インク受けスパーサーの取り付け/取り外し手順

1 布押さえを左右に寄せる。



2 インク受けスパーサーを取り付ける。

- プリントする画像の幅に合わせて、取りつけるインク受けスパーサーの枚数を調節してください。



2



インク受けスパーサー取り付けの目安

- インク受けスパーサーの幅が、プリントする画像の幅よりも狭くならないようにしてください。
- 画像の左右それぞれの端から10mm以上の余裕があるように、スパーサーの枚数を調整してください。
- オーバープリントをする場合は、インク受けスパーサーをメディア幅よりも長く敷き詰めてください。

2.4 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	3.0 mm（初期設定）
Low-Middle	4.0 mm
Middle	5.0 mm
Middle-High	6.0 mm
High	7.0 mm

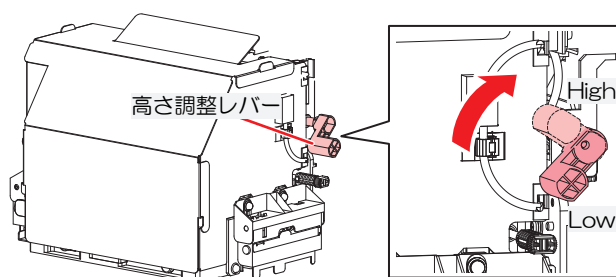


- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。☞
「ドット位置補正をする」（P. 98）



- インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまう傾向があります。ミスト化したインクがプリントヘッドのノズル面やメディアに付着してプリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。プリントヘッドの高さはメディアに合わせて調整してください。

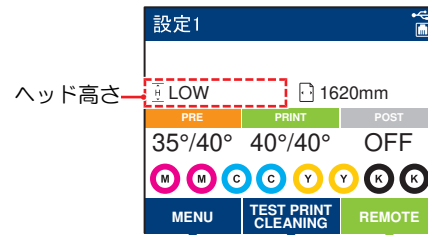
- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 正面カバーを開く。
- 高さ調整レバーで高さを変更する。
 - 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



- 調整が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。



- ディスプレイに表示されているヘッド高さを確認してください。設定した高さになっていない場合は、再度高さ調整レバーで高さを変更してください。



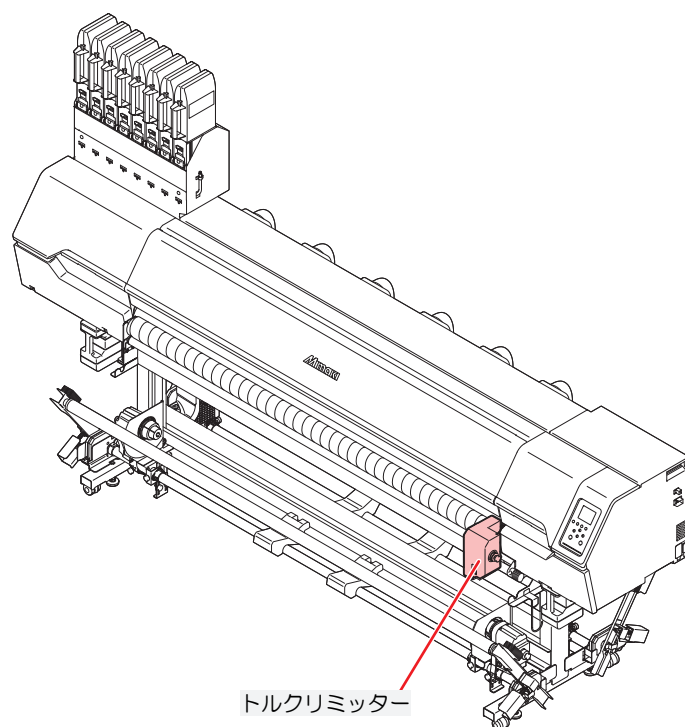
2.5 引っ張りローラーを準備をする



- 布メディアにプリントする場合に実施します。

トルクリミッターを調整する

引っ張りローラーには、トルクリミッターがついています。トルクリミッターの調整ナットを回して、ローラーが回転する強さを変更できます。



最小	中（推奨）	最大
調整ナット トルク目盛		

- 時計回り：テンションを強くする（厚いメディア）
- 反時計回り：テンションを弱くする（軽量のメディア）

重要!

- トルクリミッターの調整が弱すぎると、メディアが蛇行したり、プリント品質が低下します。
- トルクリミッターの調整が強すぎると、メディアによってはシワが発生し、プリント品質が低下します。



メディアをセットした状態で引っ張りローラーが空回りする場合

- トルクリミッターの調整が強すぎます。トルクリミッターを弱くするか、テンションバーの重量を増やしてください。



- 布メディアにプリントする場合、引っ張りローラーのトルクリミッターを「中」に設定してください。

2.6 布巻ローラーを準備する

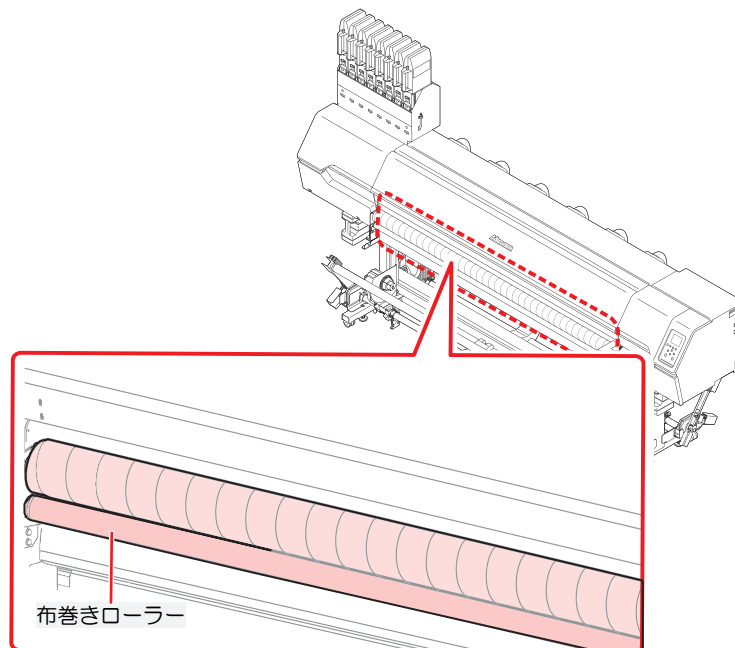
目の粗い布などにプリントしたとき、布の裏側に残ったインクが引っ張りローラーに付着し、布メディアを汚してしまう場合があります。

布巻ローラーを取り付けておけば、引っ張りローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぐことができます。

- 重要!**
- 出荷時には布巻ローラーに布は巻かれていません。以下の条件に合う吸水性の良い布をご用意ください。
 - 使用する布により、長さ等は調整してください。（引っ張りローラーと布巻ローラーが端、中央で当たるようにしてください）
 - (1) 素材：綿天竺、綿ブロードなど
 - (2) サイズ：195cm x 70cm（目安）

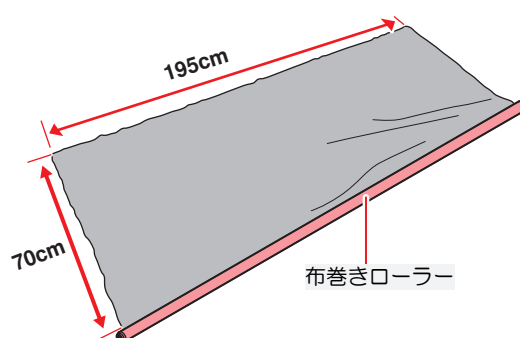
1 布巻ローラーを取り外す。

- 布巻ローラーは引っ張りローラーの下にあります。

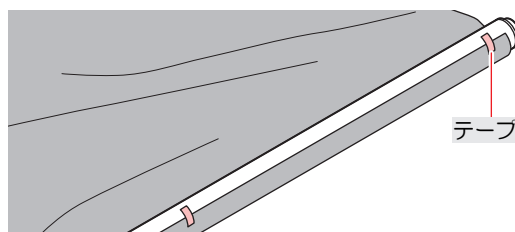


2 布巻ローラーに布を巻き付ける。

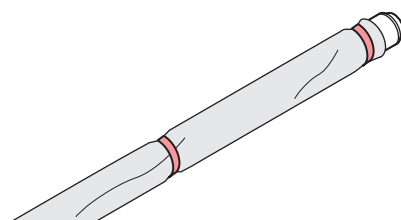
(1) 布とローラーを合わせる。



(2) 布とローラーを粘着テープで固定する。

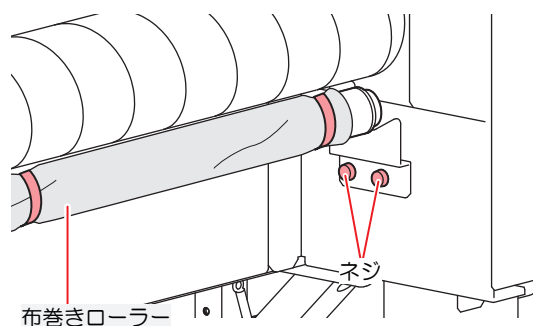


(3) 布をローラーに巻き付け、粘着テープで固定する。



3 布を巻いた布巻ローラーを取り付ける。

- 引っ張りローラーの下にある溝に布巻ローラーを取り付けます。
- 布巻ローラー両端の軸受け部の位置を調整してください。
軸受け部のネジを緩め、布巻ローラーが引っ張りローラーに接触するようにします。



重要! 両端と中央で引っ張りローラーと布巻ローラーが接触するように固定してください。
両端と中央で接触しない場合は、布巻ローラーに巻く布のサイズを適宜変更してください。

4 引っ張りローラーを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する。

- 引っ張りローラーがスムーズに回転しないときは、布巻ローラーの取付位置を確認してください。

2.7 メディアをセットする



- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意



- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警告



- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。（メディア重量に応じて最大6人で作業を行うこと）
- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。また、指を挟まないように注意してください。メディアの重みで怪我をするおそれがあります。

注記



- メディアセット時にリフターを使用する場合は、リフター仕様をご確認の上、ご準備ください。



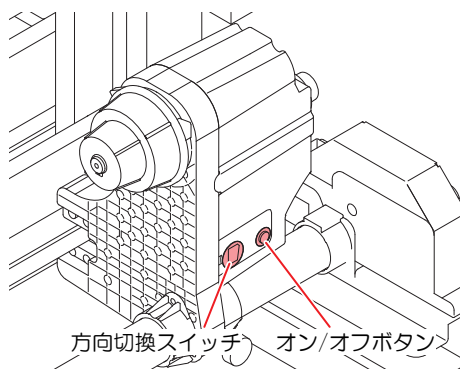
- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、24時間以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



- 未開封のメディアの場合、高温多湿を避けた、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- 開封後は、表面（特に、印刷面）はできるだけ触れないように注意してください。

巻き取りユニット

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。



名称	概要	
方向切換スイッチ	上(REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る
	下(FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る
オン/オフボタン	巻き取り動作のオン/オフを切り替える。 ・トルクリミッター装着時：ボタンを押して巻き取り装置を動作させると、再度ボタンを押すまで巻き取り動作を継続します。 ^{*1} ・モーター直結ユニット装着時：オン/オフボタンを押している間だけ、巻き取り動作を行います。	

1. オン/オフボタンを押している間だけ、巻き取り動作をするように設定できます。

モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換

巻き取り/繰り出し装置は、お買い上げ時、モーター直結ユニットが装着されています。繰り出し/巻き取りテンションバーを使用しない場合には、モーター直結ユニットをトルクリミッターに交換してください。このときは、トルクリミッターを調節して、繰り出し/巻き取りの強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッターを“中”で設定してあります。)

薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。



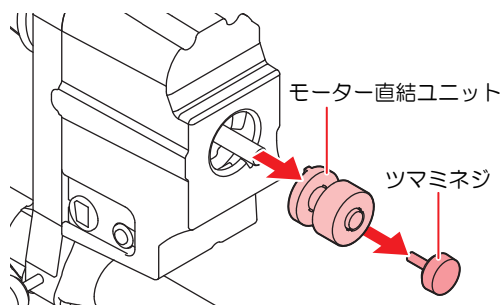
- ・紙メディア(転写紙)の場合はトルクリミッター2を使用します

● トルクリミッターの取り付け

テンションバーを使わずにメディアを巻き取る場合、モーター直結ユニットの代わりにトルクリミッターに交換する必要があります。

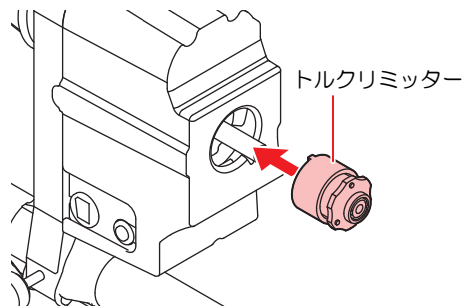
1 モーター直結ユニットを取り外す。

- ・ツマミネジを外し、モーター直結ユニットを取り外します。



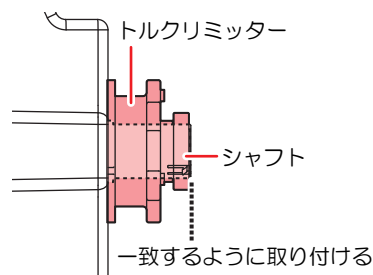
2 トルクリミッターを取り付ける。

(1) トルクリミッターを差し込む。

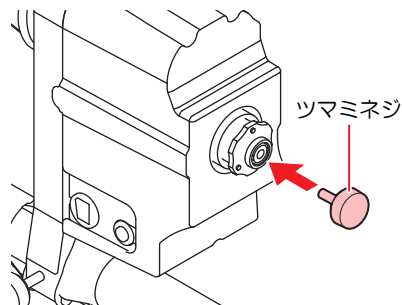


(2) 図のように、繰り出し/巻き取り装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付ける。

- シャフトの先端とトルクリミッターの面が一致しない状態でお使いになると、メディアをうまく巻き取れなくなります。



(3) ツマミネジでトルクリミッターを固定する。

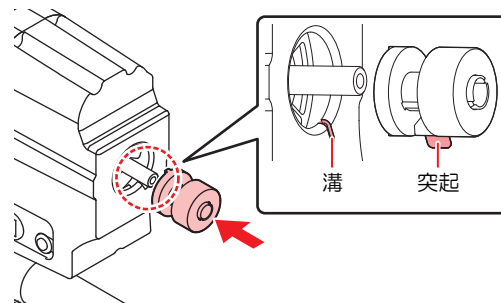


● モーター直結ユニットの取り付け

トルクリミッターからモーター直結ユニットに付け替える場合も、トルクリミッターの交換手順を参考にしてください。



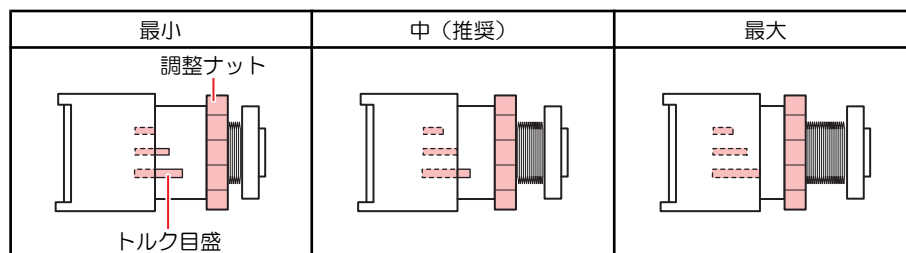
- モーター直結ユニットを取り付けるときは、モーター直結ユニットの突起と繰り出し/巻き取り装置の溝を合わせるようにして取り付けてください。



トルクリミッターを調節する

巻き取りユニット（左右）には、トルクリミッターが付いています。

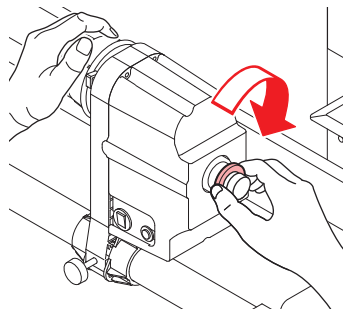
トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。変更する場合は、必ず左右の巻き取りユニットのトルクを同じ強さに調節してください。



- 通常プリントの場合：トルクは“中”に調節してください。
- メディアによっては、トルクを強くするとピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえることができず、画質不良の原因になります。メディアが滑ってしまうときは、トルクを弱くしてください。

● テンションを強くする（時計回り）

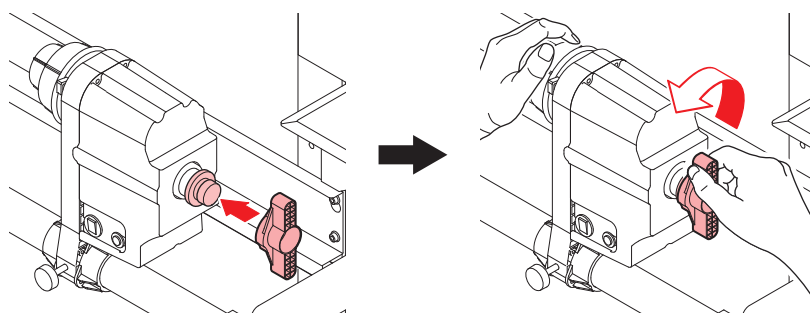
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の“トルク調整ハンドル”を使って調整します。



テンションバーのウェイト調整

メディアには、糸の太さや折り方が違う物など、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトや重量調整バネを使って繰り出し/巻き取りテンションバーの重量や折り返しバーのセット位置を調整する必要があります。

● カウンターウェイトと重量調整バネについて

カウンターウェイトの取り付け場所と重量調整バネの取り付けによって、テンションバーの重さを調節することができます。



- ・カウンターウェイト重量調整バネの取り付けは、 「フィード補正をする」(P. 96) でメディアの送り補正量を調整してから行ってください。

メディアの状況	対策
・プリント面がピンと張った状態になっている。 ・安定したプリントを行う。 ・メディアのたるみやシワがほとんど見られない。	メディアに対して適正なテンションになっています。テンションバーの重量調整は必要ありません。
・メディアの送り方向にシワが発生する。 ・プリント時にメディアが蛇行する。	メディアにかかるテンションが強すぎます。お使いになるメディアに合わせて、カウンターウェイトを減らし、テンションバーを軽くしてください。
・メディアがたるんできれいに巻き取れない。	メディアにかかるテンションが弱すぎます。お使いになるメディアに合わせて、カウンターウェイトを増やし、テンションバーを重くしてください。

【重要!】カウンターウェイトについて

- ・お買い上げ時、本機にカウンターウェイトは取り付けられていません。
- ・1箇所に取り付けられるウェイトの最大重量は、700gです。メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。
- ・カウンターウェイトは、繰り出し側(左右2箇所)と巻き取り側(左右2箇所)の計4箇所取り付けられます。ウェイトを取り付けるときは、4箇所が同じ重さとなるように取り付けてください。重さが同じになっていないと、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- ・使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

【重要!】重量調整バネについて

- ・お買い上げ時は、緑色のバネが取り付けられています。バネの種類を変えるまたは、バネを取り外すことにより、テンションバーの重さを変えることができます。
- ・重量調整バネは、繰り出し側の左右2箇所調整できます。重量調整バネの強度は2箇所とも同様にセットしてください。強度が異なると、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- ・重量調整バネの交換や取り外しをする際は、手袋をはめて行ってください。バネを取り付けてある軸にはグリスを塗ってあります。また、軸に塗ってあるグリスは拭き取らないでください。

● テンションバーの調整方法

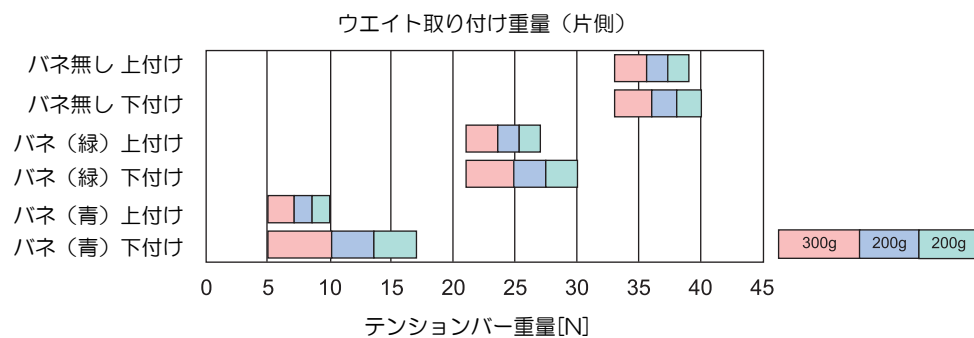
1 重量調整バネを変更してテンションバーの重さを調整する。

2 テンションバーが軽すぎる場合は、カウンターウェイトを追加し、重すぎる場合はウェイトを外しててください。

- ・ウェイトを増減するときは、少しずつ重さを変えることをお勧めします。
- ・使用しない重量調整バネは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

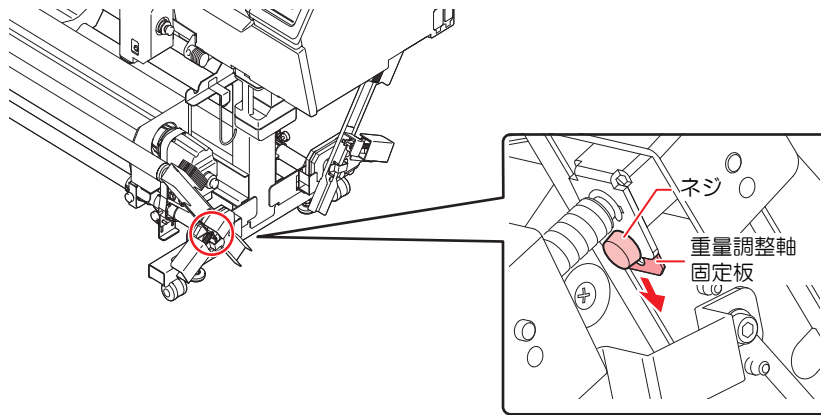


- ・ カウンターウェイトと重量調整バネの相関図を示します。参考にしてください。



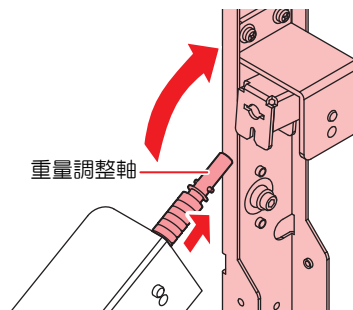
重量調整バネを取り付ける

- 1 ネジを緩め、重量調整軸固定板を取り外す。



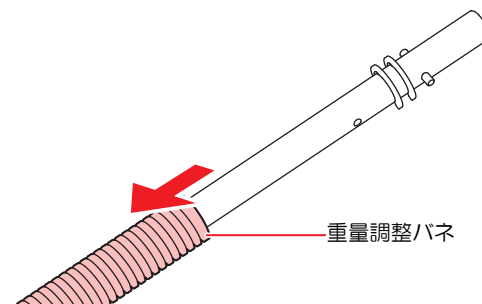
- 2 重量調整軸を抜き取る。

- 重量調整軸に付いている穴を横に向けてからテンションバーを上げてください。



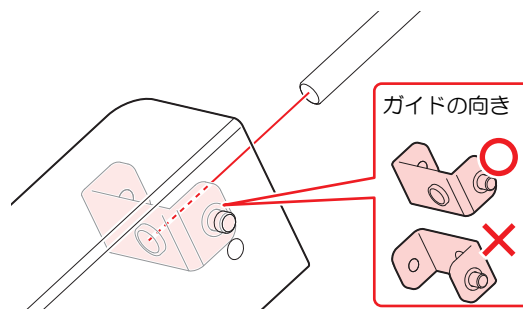
- 3 現在付いている重量調整バネを取り外す。

- または、別のバネに付け替えてください。

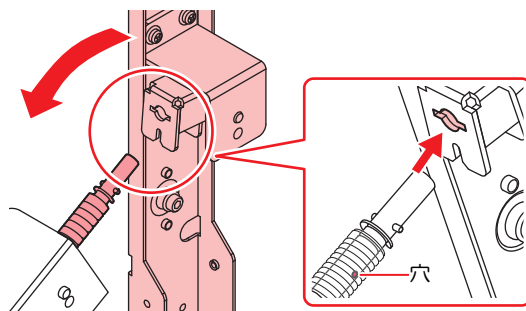


- 4 重量調整軸を取り付ける。

- 重量調整軸を取り付けるガイドの向きに注意して取り付けてください。



- 5** 重量調整軸に付いている穴を横に向けて差し込み、重量調整軸固定板を奥まで差し込む。

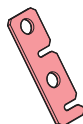


- 6** ネジを締める。

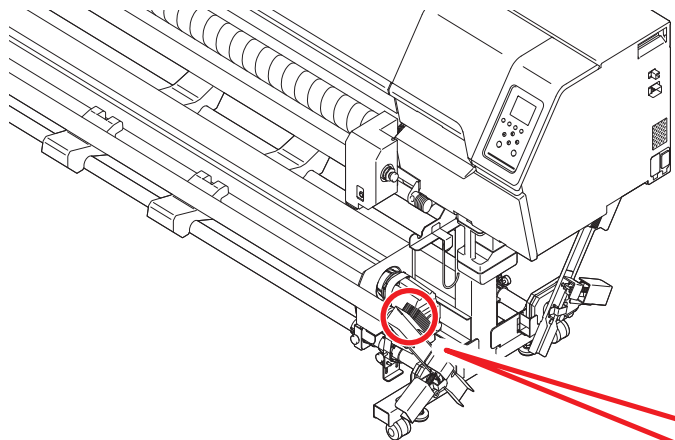
テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け



- 下図のカウンターウェイト(50g x 28 枚) が添付されている場合は、以下のようにしてカウンターウェイトを取り付けます。
- メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。

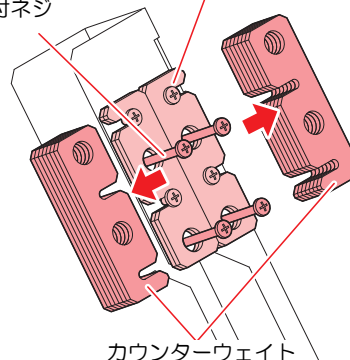


- メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
- カウンターウェイトは、左右それぞれに最大14 枚まで取り付けることができます。
- 取付ネジは、カウンターウェイトを取り外すときに緩めます。



最初から付いているウェイトは外さないでください

取付ネジ



カウンターウェイト



- 一番下のカウンターウェイトを取り付け/ 取り外したいときは、取付ネジを十分に緩めてください。ネジが十分に緩んでいないと、最初から付いているウェイトのネジにカウンターウェイトが引っかかり、外れないことがあります。

プリント済みロールメディアを取り外す

● 手順

1 メディアを切り取る。

- ・ハサミ等でプリントが終わった部分までを切り離します。



- ・紙メディアの場合、切り取った断面で手などを切らないよう注意してください。
-

2 巻き取り装置のスイッチを使ってプリント物を巻き取る。

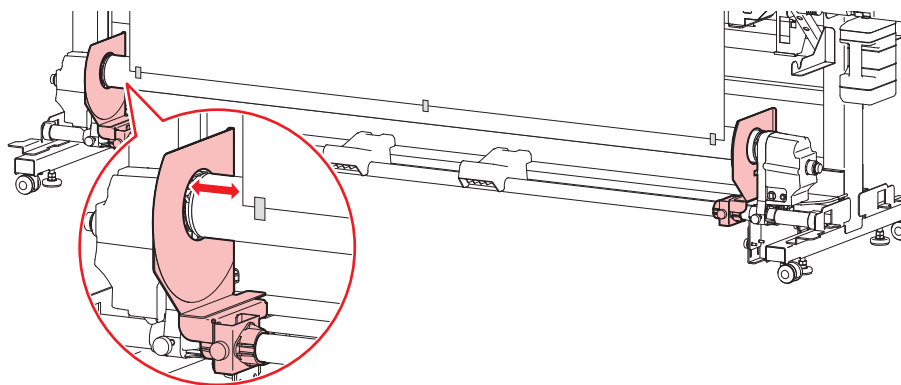
- ・巻き取り装置の用法については、 「巻き取りユニット」(P. 62) を参考にしてください。
-



- ・メディアを引き続き使用される場合は以下を参照にしてセットしなおしてください。
 - ・布メディアの場合、残ったメディアを再度使用するときは、断面の糸くずをきれいに切り取ってください。糸くずがローラに引っかかり、正しくメディアを送ることができないことがあります。
-

端面ガイドを使う

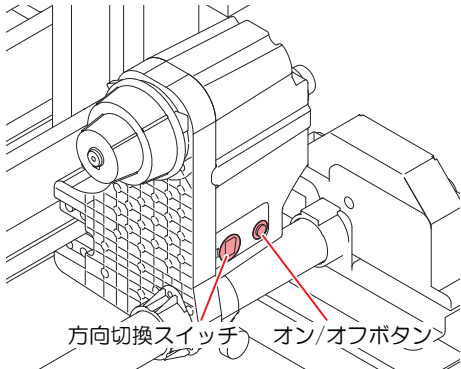
ロールメディアの直径によって、端面ガイドをセットする位置を調整してください。



メディアの直径	端面ガイドとメディア端面の距離
～ ø120mm以下	1mm
ø121mm - ø160mm	3mm
ø161mm - ø200mm	5mm

繰り出しユニット

繰り出しユニットのスイッチを使って、メディアの繰り出し方向を変更することができます。

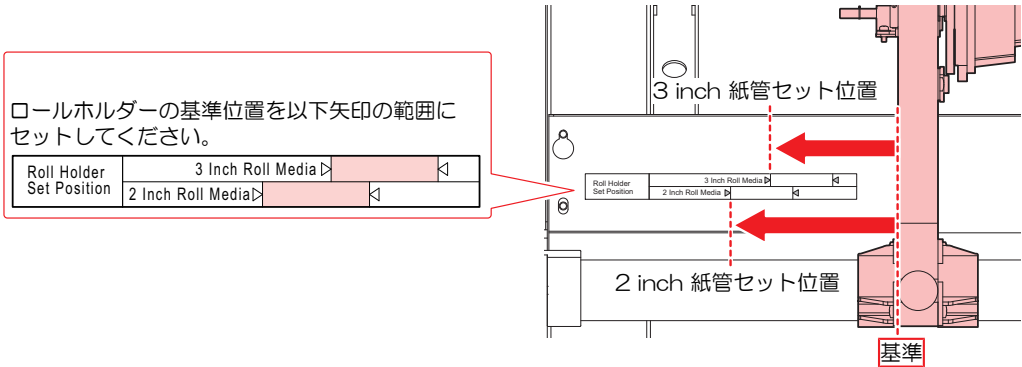


名称	概要	
方向切換スイッチ	上(REVERSE)	- テンションバーで内巻きのメディアを繰り出す場合 - 小巻き取りで外巻きのメディアにテンションをかける場合
	下(FORWARD)	- テンションバーで外巻きのメディアを繰り出す場合 - 小巻き取りで内巻きのメディアにテンションをかける場合
オン/オフボタン	繰り出し動作のオン/オフを切り替える。 - トルクリミッター装着時：ボタンを押して繰り出し装置を動作させると、再度ボタンを押すまで繰り出し動作を継続します。*1 - モーター直結ユニット装着時：オン/オフボタンを押している間だけ、繰り出し動作を行います。	

1. オン/オフボタンを押している間だけ、繰り出し動作をするように設定できます。

ロールホルダーのセット位置

脚ステーに、ロールホルダーセット位置銘版が貼ってあります。銘版を目安にロールホルダーを移動して、ツマミネジで固定してください。



ロールメディア(布メディア)をセットする

ロールメディア(布)をプリンターにセットする方法はテンションバーを使用する場合と使用しない場合があります。メディアをセット中にメディア検出が行われます。



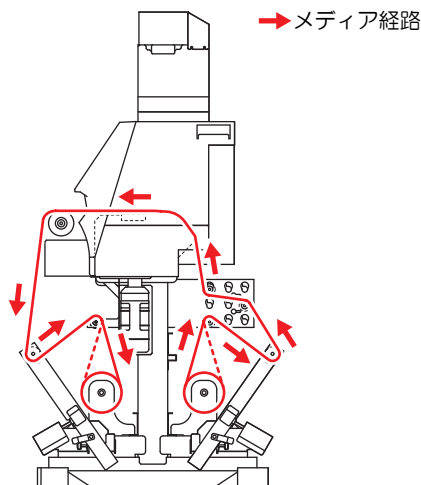
- プラテンは布メディア用を使用してください。
- メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長ケーブルを使用してください。
- 使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

テンションバーを使用する

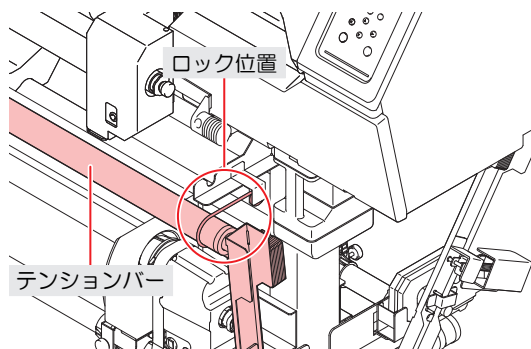
ここでは繰り出し/巻き取りの両方でテンションバーを使用するメディアのセット方法を説明します。テンションバーを使用して布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 「テンションバー使用選択」で正しく設定されていることをご確認ください。
- 布メディアをセットする前に、グリットローラー付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- テンションバーを使ってメディアをセットする前に、繰り出し/巻き取り装置にモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、「モーター直結ユニット/トルクリミッターの交換」(P. 62)を参照してモーター直結ユニットに交換してください。

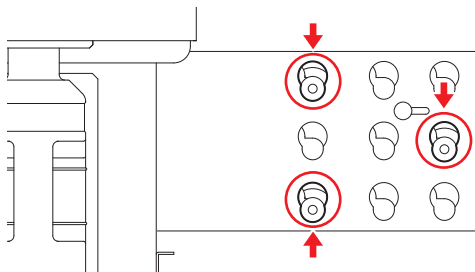


1 繰り出しテンションバーと巻き取りテンションバーをロック位置に固定する。

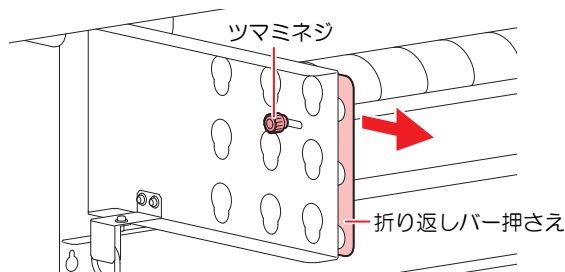


2 セットするメディアに合わせて、折り返しバーを取り付ける。

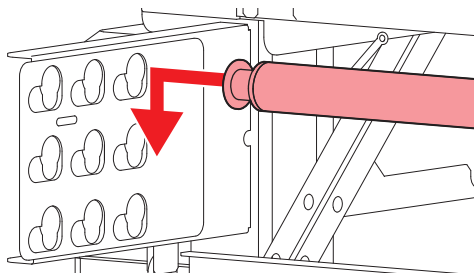
- ・ 繰り出し繰り出し側のテンションを安定させるため、セットするメディアに合わせて適正な位置に折り返しバーを取り付けてください。
- ・ 下図の位置が、弊社が推奨する取り付け位置です。この位置に折り返しバーを取り付けても、メディアがたるんだり、縦ジワが入るときは [P. 81](#) を参照して、お使いのメディアにあった張り具合にしてください。



- (1) 折り返しバー取付板(左右)の外側に付いているツマミネジを緩める。
 - ・ 折り返しバー押さえが自由に動くようになります。
- (2) 緩めたツマミネジを持ちながら、折り返しバー押さえを手前に移動させる。
 - ・ ストッパーに当たるまで移動させてください。



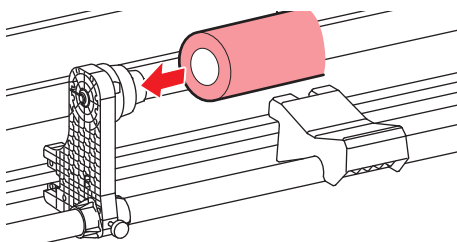
- (3) 折り返しバーを差し込み、下げる。
 - ・ だるま型になっている穴の下の方に折り返しバーをセットしてください。
 - ・ 折り返しバーのセット位置を確認してください。間違えた位置に差し込むと、折り返しバーの固定ができなくなります。



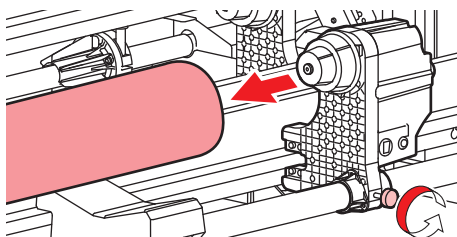
- (4) 折り返しバー押さえを本体側へ移動し、固定する。
 - ・ 左右両方の折り返しバー取付板に対して、同様の作業をしてください。

3 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む。

- ・ 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

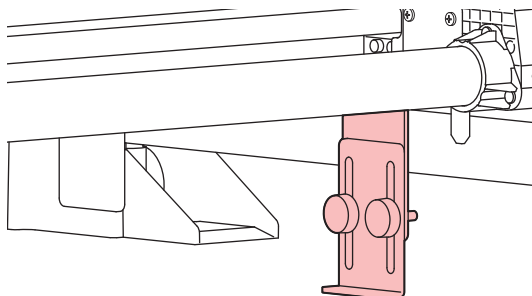


4 右側の繰り出し装置のネジを緩め、紙管に差し込む。

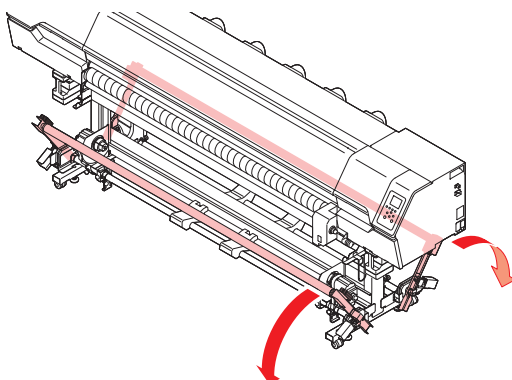


5 繰り出し脚を床に固定する。

- セットしたメディアの重みによって繰り出し装置を固定しているシャフトがたわまないようにするため、必ず繰り出し脚を床に固定してください。

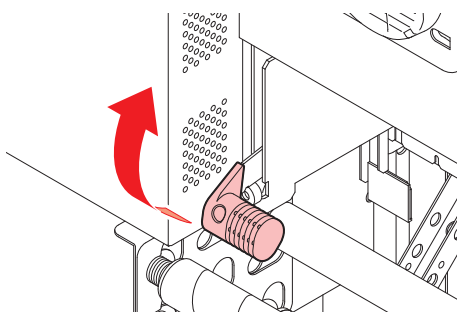


6 繰り出しテンションバーと巻き取りテンションバーを下げる。

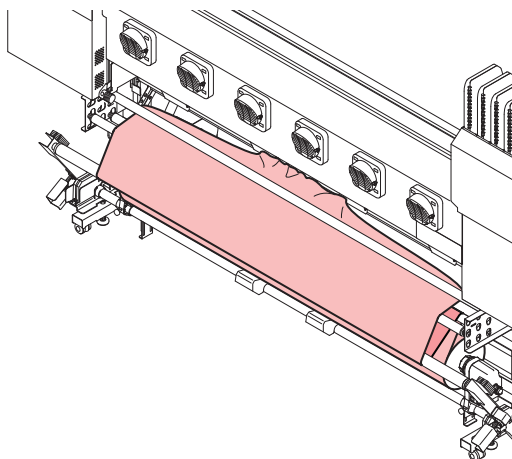


7 装置背面のクランプレバーを上げる。

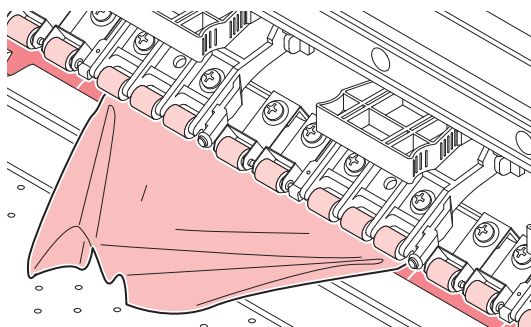
- クランプレバーを下げたままにしておくと、繰り出し装置がロックされ、手順11以降でメディアを引き出せなくなります。



8 本機にロールメディアを差し込む。



- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す。
- (2) 繰り出しテンションバーと折り返しバーを使って、メディアに適切なテンションがかかるようにメディアを通す。
- (3) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む。
 - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。



- (4) 装置背面からクランプレバーを下げる。
 - メディアが保持されます。

9 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する。

- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

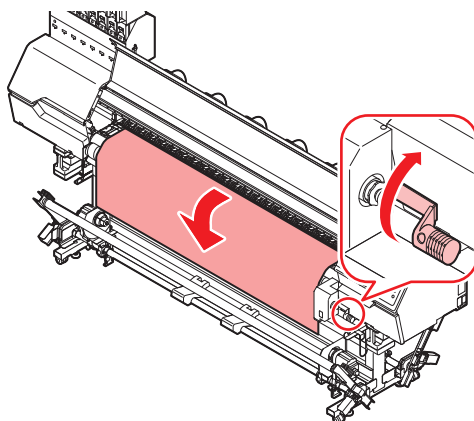
10 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する。

- この場合は、“繰り出し繰り出し&巻き取り”を選択します。
(DL=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、――=ユニットOFF)
- ▲▼を押して“繰り出し&巻き取り”を選択し、[ENTER]キーを押してください。

テンションバー使用選択	
◎繰出&巻取	DC/DC
○繰出のみ	DC
○巻取のみ	DC
○OFF	

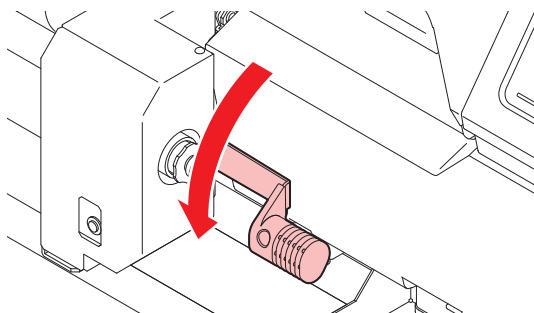
11 フロントカバーを開け、ロールメディアを引き出す。

- (1) フロントカバーを開ける。
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる。
 - クランプレバーを上げるときは、メディアが繰り出し側に落ちないように、押さえておくことをお勧めします。
- (3) ロールメディアを静かに引き出す。
 - メディアは斜め上方向に引き出してください。水平に引き出すと、グリットローラーに引っかかり、メディアに傷が付く恐れがあります。
 - 引っ張りローラーにかかるくらいまで、メディアを引き出してください。



12 メディアのシワを取り、クランプレバーを下げる。

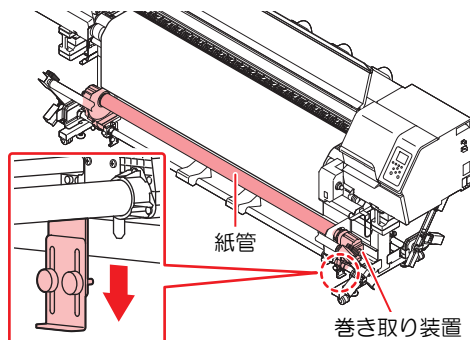
- メディアの数カ所を軽く引っ張ってシワを取り、メディアの端が一直線になっているか(前後)確認してから、クランプレバーを下げてください。



13 フロントカバーを閉じる。

14 巻き取り装置に空の紙管をセットし、巻き取り脚を床に固定する。

- 紙管セット後、巻き取り脚を床に固定させます。

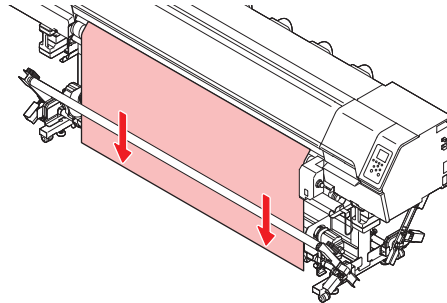


15 繰り出し側にメディアがセットされていることを確認し、キーを押す。

- 繰り出しテンションバーが動作し、繰り出し側のメディア検出と調整を行います。
- メディアを検出できなかった場合は、クランプレバーを上げ、手順9からの操作をやり直してください。

16 巻き取り装置にメディアを固定する。

- (1) ▼を押してメディアが床に届くくらいまで、メディアをフィードする。

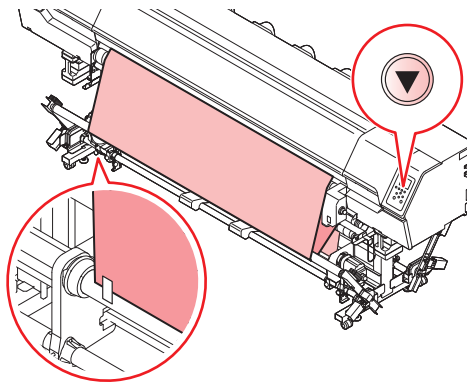


- (2) 巻き取りテンションバーを経由して、折り返しバーの後ろ側からメディアを通す。

- (3) 粘着テープでメディアの中央を固定する。

- (4) 同様にしてメディアの左右を固定する。

- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



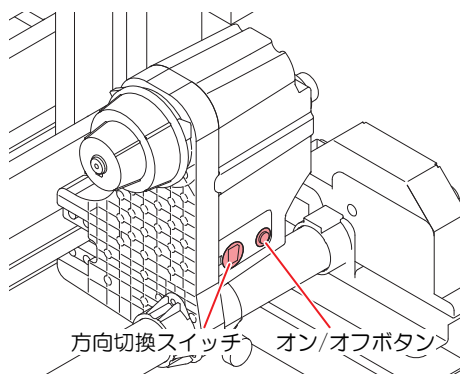
- (5) 装置背面からクランプレバーを下げる。

- メディアが保持されます。



- 幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
- セットした布と紙管の位置がズれている場合は、ロールホルダのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
- 繰り出し側のロールが見えるところまで目線を下げ、布の右端・左端が繰り出し側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

17 メディア巻き取り装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く1周ほど巻きつける。



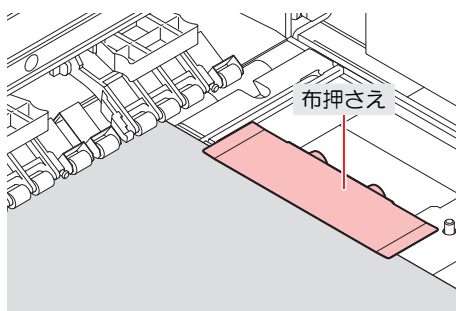
- (1) 左側の方向切換スイッチで巻き取る方向をセットし、右側のオン/オフボタンをオンにしてメディアを巻きつける。
- (2) メディアが張ったら、右側のオン/オフボタンをオフにして巻きつけを止める。
 - ・メディアは1周以上紙管に巻き付けてください。
 - ・あらかじめ引き出しておいたメディアの量では紙管に1周以上巻き付けられない場合は、再度▼を押してメディアをフィードし、巻き取り装置で巻き付けてください。



- ・紙管に巻き取るだけのメディアが無い場合は、必ず▼を押してメディアをフィードしてから巻き取り装置で巻き取ってください。無理に巻き取ると、故障の原因になることがあります。

18 フロントカバーを開け、布押さえでメディアを軽くはさむ。

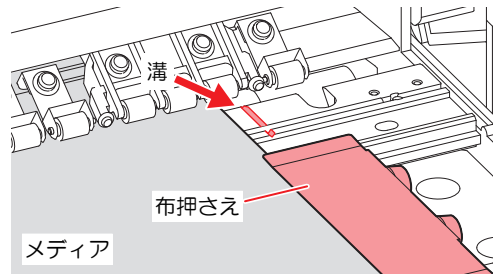
- ・プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- ・厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえの高さ調整 P. 80を行ってください。



- 布押さえは必ず使用してください。布押さえを使用することにより、次のような効果があります。
- ・使用する布が、カール、反り返り、毛羽立ち等で、布端が浮いてくることを防ぐ。
 - ・プリント中の裏抜けインクミストを防ぐ。



- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディア イチ ミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。



19 フロントカバーを閉じ、[ENTER]を押す。

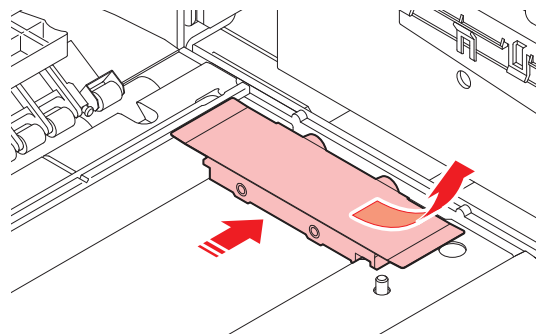
- 巻き取りテンションバーが動作し、巻き取り側のメディアの検出と調整を行います。
- 巻き取り側のメディア検出が終わると、続けてメディアの巻径の検出を行います。
- メディアを検出できなかった場合は、手順2からの操作をやり直してください。

布押さえの調節方法

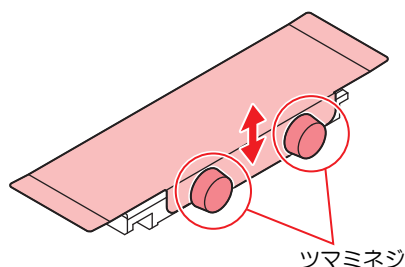
布の厚みに合わせて、ステンレス板の高さを調節してください。

1 布押さえを取り外す。

- 布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。



2 ツマミネジを緩め、布の厚みにあわせてステンレス板の高さを調節する。



- 厚手の布を布押さえで押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

折り返しバーの調節方法

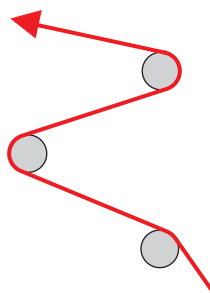
メディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、折り返しバーの取り付け位置や本数を調整してください。



- 厚手の布を布押さえで押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

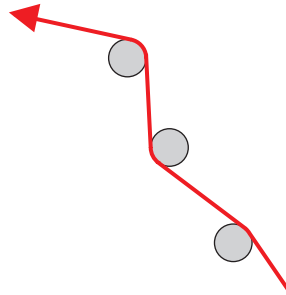
● メディアの張りが弱い場合

巻き付け角度を大きくしてください。メディアにかかるテンションが強くなります。



● メディアの張りが強い場合

巻き付け角度を小さくしてください。メディアにかかるテンションが弱くなります。



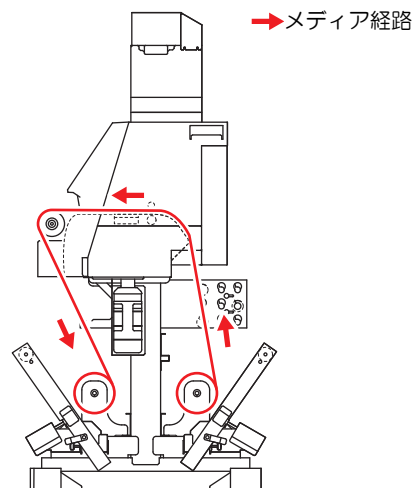
テンションバーを使わずにロールメディアをセットする

ここではテンションバーを使用しないでメディアをセットする方法を説明します。メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。



- テンションバーを使用しないでロールメディアをセットする場合は、繰り出し/巻き取り装置に付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。☞ P. 62
- テンションバーを使用しないで連続プリントする場合は、10m程度に限ります。連続プリントをする長さが10mを超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

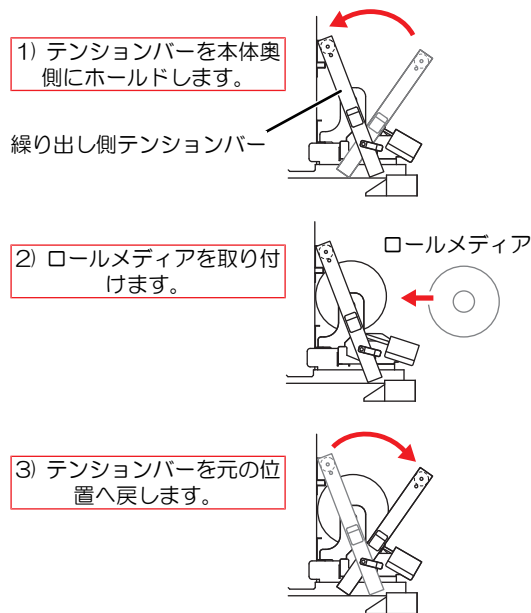
テンションバーを使わずに布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 布メディアをセットする前に、グリットローラー付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- テンションバーを使わないでロールメディアをセットするときは、折り返しバーとトルクリミッターでメディアの張りを調節します。

1 繰り出し側のメディアをセットする。

- 「テンションバーを使用する」(P. 72) 手順4～8までの操作をしてください。
- 繰り出し側のテンションバーを一時的に動かす必要があります。

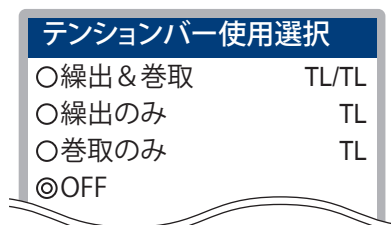


2 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する。

- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

3 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する。

- この場合は、“OFF”を選択します。
(DL=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、—=ユニットOFF)
- ▲▼を押して“OFF”を選択し、[ENTER]キーを押してください。



- あらかじめ、搬送ユニット使用選択の「繰り出し/巻き取りユニットの設定」で“繰り出しテンションバー”と“巻き取りテンションバー”を両方とも“OFF”にしておけば、“テンションバー使用選択”画面は表示されません。(メディア選択画面が表示されます。)

4 メディアを巻き取り側へ送り、巻き取り装置に空の紙管をセットする。

- 「テンションバーを使用する」(P. 72) 手順10～15までの操作をしてください。

5 メディアを紙管に固定し、布押さえをセットする。

- 「テンションバーを使用する」(P. 72) 手順17～19までの操作をしてください。

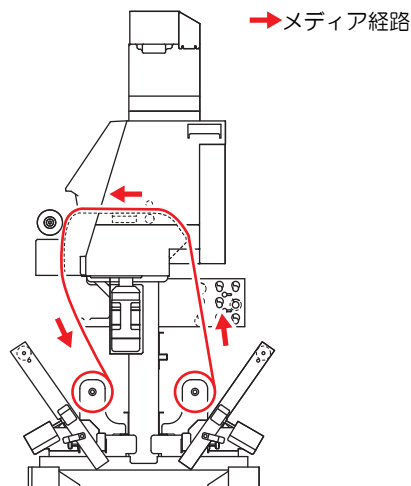
ロールメディア(転写紙)をセットする

ロールメディア(紙メディア)のセットではテンションバーを使用しません。メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。



- ・ 繰り出し/巻き取り装置に付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。☞「モーター直結ユニット/トルクリミッターの交換」(P. 62)
- ・ テンションバーを使用しないで連続プリントする場合は、10m程度に限ります。連続プリントをする長さが10mを超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

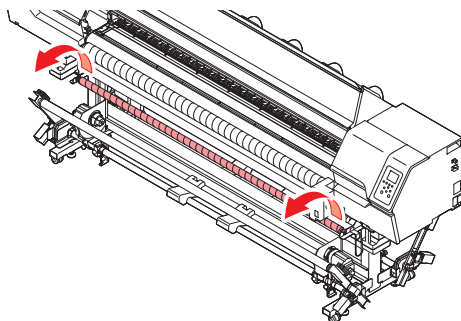
紙メディア(転写紙)をセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- ・ 引っ張りローラーが設置されている場合は、ローラーと本体の間にメディアを通してください。
- ・ 折り返しバーはメディアと干渉しない穴にセットしてください。

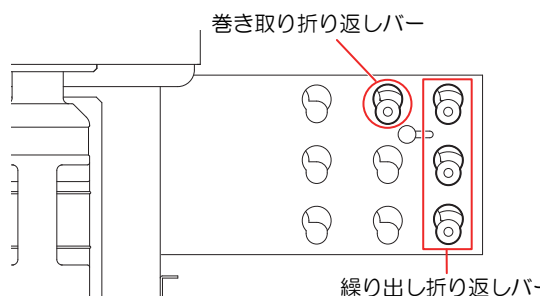
1 巻き取り折り返しバーを取り外す。

- ・ メディアとの干渉を避けるため、巻き取り折り返しバーを取り外します。



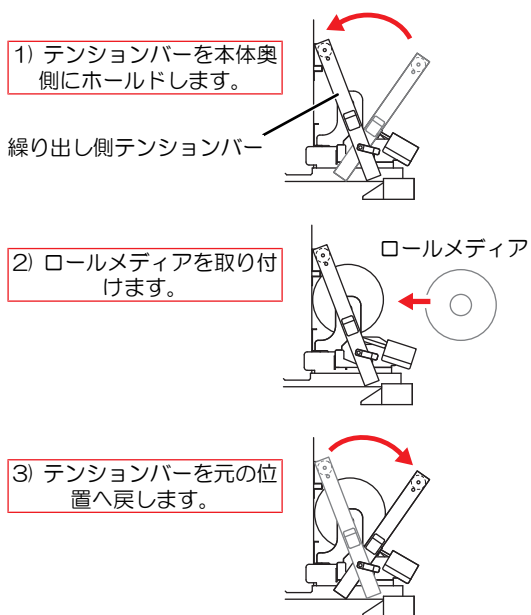
2 巻き取り折り返しバーを繰り出し折り返しバーのホルダーに取り付ける。

- ・ 取り外した巻き取り折り返しバーを背面の繰り出し折り返しバーのホルダーに取り付けます。
- ・ 下図の位置に、巻き取り折り返しバーと繰り出し折り返しバーを取り付けてください。



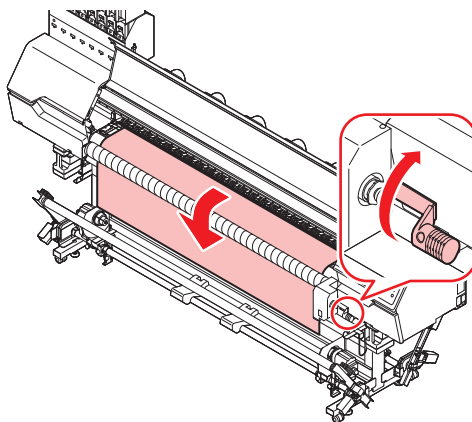
3 繰り出し側のメディアをセットする。

- 繰り出し側のテンションバーを動かす必要があります。



4 ロールメディアを引き出す。

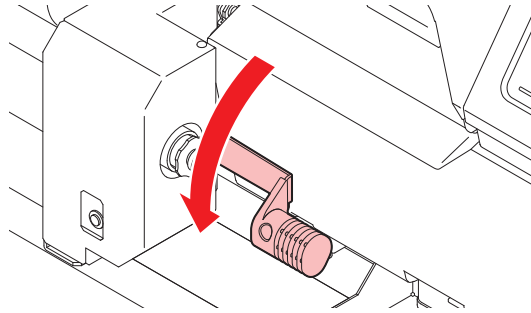
- フロントカバーを開ける。
- 装置前面からクランプレバーを上げる。
- ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める。



- 引っ張りローラーが設置されている場合は、ローラーと本体の間にメディアを通してください。
- ロールメディアを中央にセットした場合、ロックはかかりません。

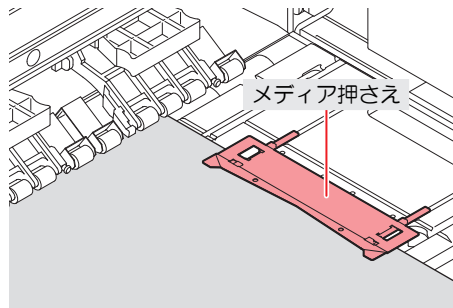
5 ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる。

- メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。

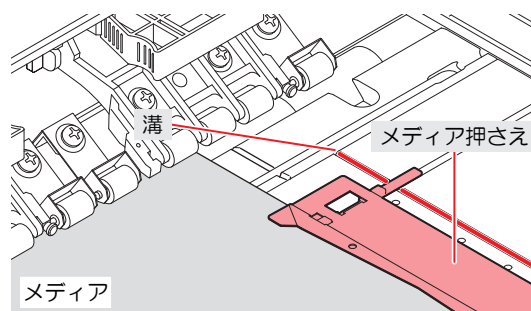


6 メディア押さえでメディアを軽くはさむ。

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- 本機はメディアの左右にセットしたメディア押さえによって、メディアの幅を検出しています。メディア押さえは確実にセットしてください。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディア イチ ミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。



7 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する。

- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

8 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する。

- この場合は、“OFF”を選択します。
(DL=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、―=ユニットOFF)
- ▲▼を押して“OFF”を選択し、[ENTER]キーを押してください。

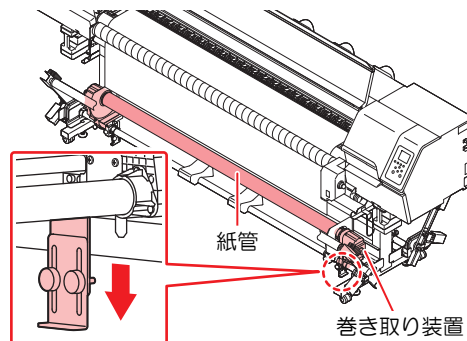
テンションバー使用選択	
○繰出&巻取	TL/TL
○繰出のみ	TL
○巻取のみ	TL
◎OFF	



- あらかじめ、搬送ユニット使用選択の「繰り出し/巻き取りユニットの設定」で“繰り出しテンションバー”と“巻き取りテンションバー”を両方とも“OFF”にしておけば、“テンションバー使用選択”画面は表示されません。(メディア選択画面が表示されます。)

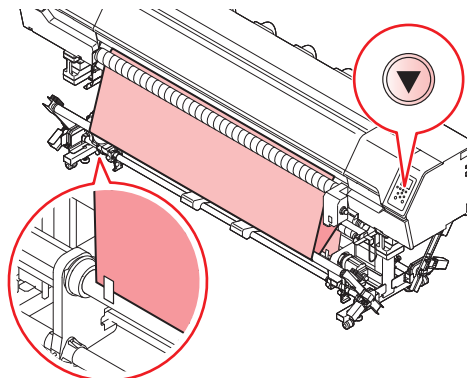
9 巻き取り装置に空の紙管をセットする。

- 紙管セット後、巻き取り脚を接地させます。



10 巻き取り装置にメディアを固定する。

- (1) [FUNC3]キーを押す。
 - (2) ▼を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする。
 - (3) 粘着テープでメディアの中央を固定する。
 - (4) 同様にしてメディアの左右を固定する。
- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



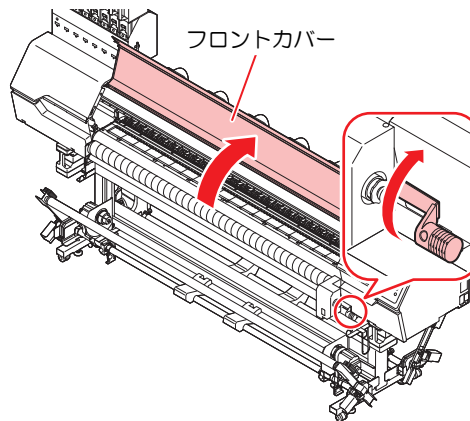
リーフメディア(布メディア)をセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

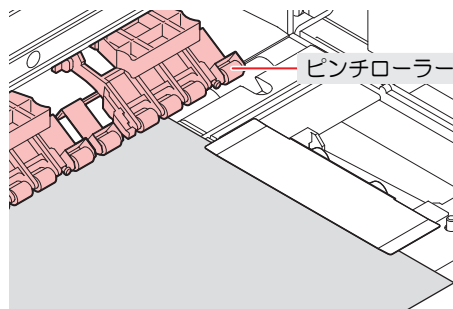


- ・ 布メディア、紙メディアではそれぞれ違うプラテンを使用します。対応したプラテンが取り付けられていることをご確認ください。

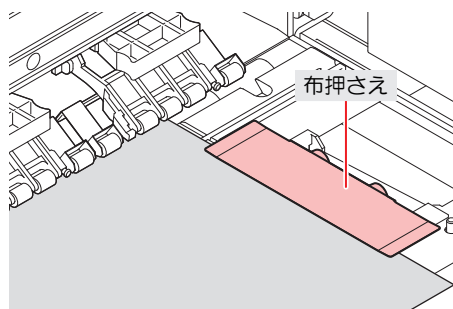
- 1 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で繰り出しユニットと巻き取りユニットの設定を両方とも“OFF”にする。
- 2 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる。



- 3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込み、クランプレバーを下げる。
 - ・ メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。

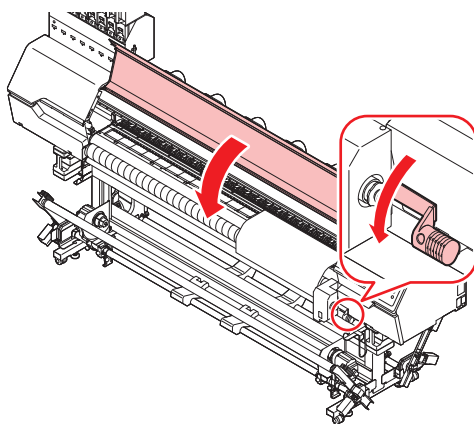


- 4 布押さえでメディアを軽くはさむ。
 - ・ プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
 - ・ 厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえをメディアから外してプリントしてください。



5 フロントカバーを閉じる。

- メディアはまっすぐにセットしてください。



- リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。
リーフメディア使用時は巻き取り装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。
- メディアは引っ張りローラーにかかるくらいまでの長さのものをセットしてください。
これより短いと、引っ張りローラーと布引ローラーの間に巻き込まれ、メディア詰まりの原因となります。

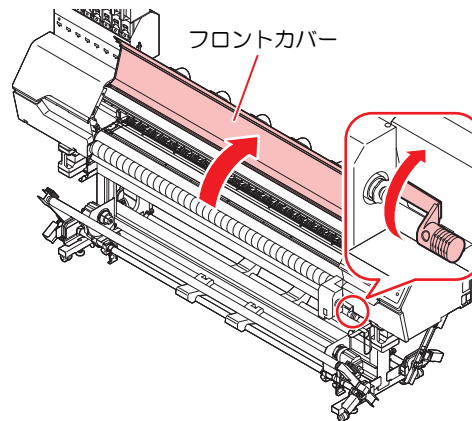
リーフメディア(転写紙)をセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

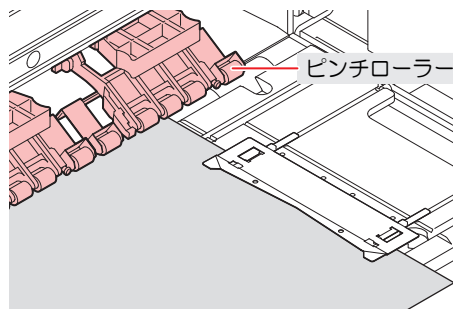


- 布メディア、紙メディアではそれぞれ違うプラテンを使用します。対応したプラテンが取り付けられていることをご確認ください。

- 1 搬送ユニット使用選択の「繰り出し/巻き取りユニットの設定」で繰り出しユニットと巻き取りユニットの設定を両方とも“OFF”にする。
- 2 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる。

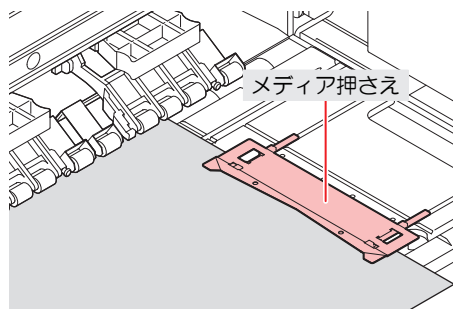


- 3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込み、クランプレバーを下げる。
 - メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。



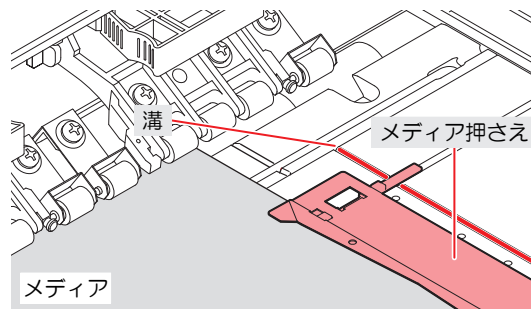
- 4 メディア押さえでメディアを軽くはさむ。

- プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。この場合、マシン設定の「メディア検出の設定」の設定を“MANUAL”にし、メディア幅を設定してください。



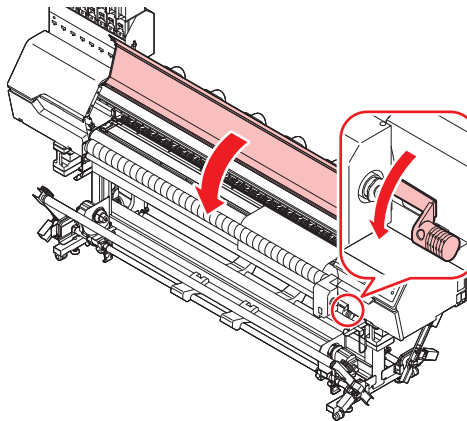


- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディア イチ ミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

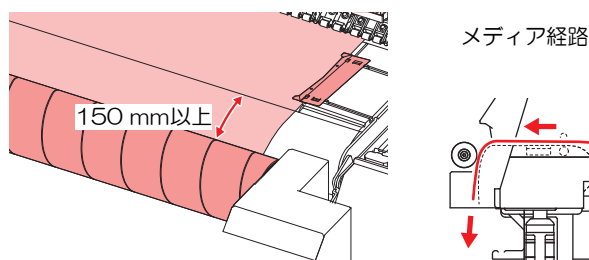


5 フロントカバーを閉じる。

- メディアはまっすぐにセットしてください。



- メディアをセットするときは、プラテンから150 mm以上出して、引っ張りローラーと本体の間にメディアを通してください。メディアを適切な経路に通さないと、メディアが浮き上がりヘッドを破損する恐れがあります。



- リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。リーフメディア使用時は巻き取り装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。

メディアを登録する

メディアがセットされているときにクランプレバーを下げると、[使用メディア選択]画面が表示されます。本機に登録されていないメディアを使う場合は、メディアの登録が必要です。

1 [未登録]を選択する。

使用メディア選択		1/2
☒	PVC	1300 mm
☐	ターボリン	1600 mm
☐	未登録	
☐	未登録	
☐	未登録	

2 メディアの種類を選択する。

メディアタイプ
☒ 転写紙（薄）
☐ 転写紙（中）
☐ 転写紙（厚）
☐ 布
☐ 合成紙

3 メディア幅の検出方法選択する。

- MANUAL：手動でメディア幅を設定します。

メディア幅検出方法
を選択してください
MANUAL



- メディアの色や種類によって、メディア幅が正しく検出できないことがあります。メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。

4 メディア残量管理方法を選択する。

- メディアの残量を本機で管理するかどうかを選択します。

メディア残量管理
を選択してください
ON OFF

5 表示させたい名称を入力する。

- 登録しない場合は、[ENTER]キーを押してください。

メディア名称変更
メディア3 の名称を変更します (半角10文字まで)

6 設定した情報を登録するかどうかを選択します。

設定を最適化しますか？
実行する しない



- あとから変更することができます。🔗 「メディア設定メニュー」 (P. 106)

● メディア最適化の設定値について

設定の最適化を実行した場合、メディアの種類により、以下の設定項目が設定されます。

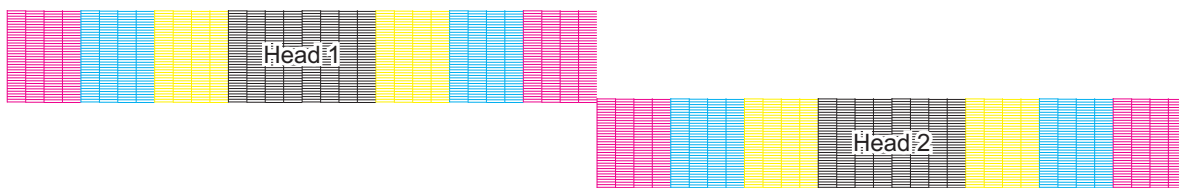
設定項目	デフォルト	転写紙（薄）	転写紙（中）	転写紙（厚）	布	合成紙
MAPS	Auto	Auto	Auto	Auto	Auto	Auto
吸着ファン強さ	強	強	強	強	強 ^{*1}	強
吸着ファン常時動作	On	On	On	On	On ^{*1}	On
フィード速度（%）	ホスト	100	100	100	100	100
プリフィード	ホスト	Off	Off	Off	Off	Off

*1. 布メディア使用時（脱着プラテン未装着時）は、設定に関係なく吸着ファンはOffになります。

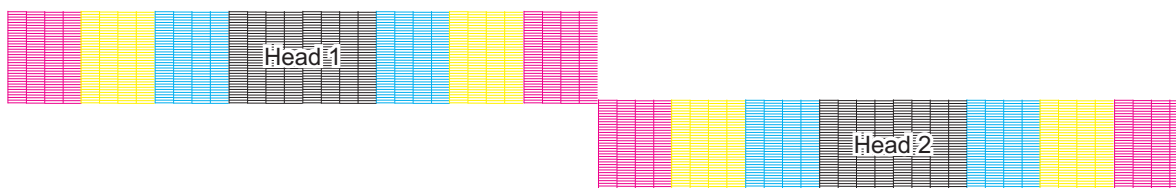
2.8 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 95）

[Sb411インクの場合]



[Sb420インクの場合]



事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 56）
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 61）



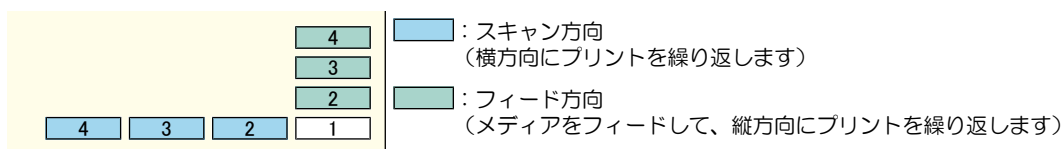
- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



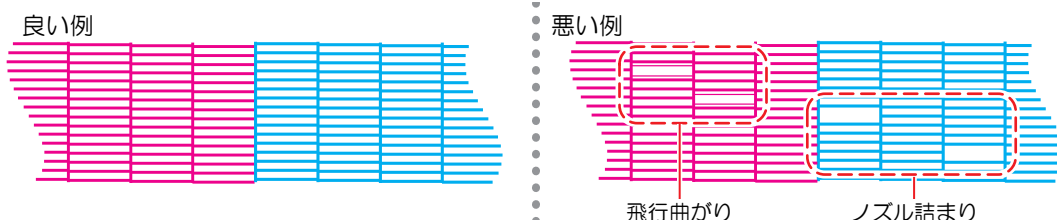
- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。
ノズルリカバリは登録が必要です。☞「ノズルリカバリを登録する」（P. 112）

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



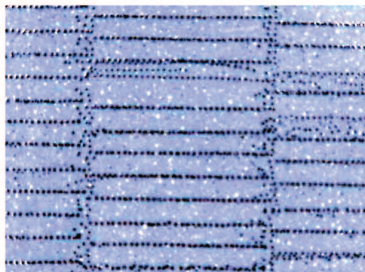
- ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
- [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。



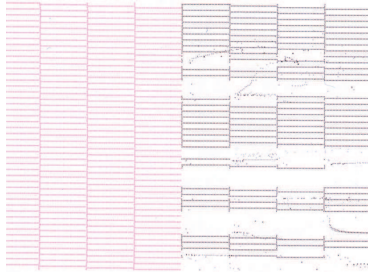
3 プリント結果を確認する。

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



飛行曲がり



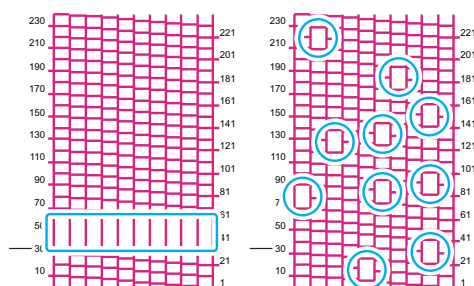
ノズル詰まり



ポタ落ち



ミスト（しぶき）



空気の混入

2.9 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。インクエラー“インクニアエンド”や“インクエンド”が表示されているときは、クリーニングを実行することができません。新しいインクに交換してください。☞ [「インクを交換する」](#) (P. 41)

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。

- 1 ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。
- 4 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。
 - ・ プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ・ ヘッドクリーニングをしても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
 - ☞ [「キャップゴムの清掃」](#) (P. 123)
 - ☞ [「プリントヘッドのノズル洗浄」](#) (P. 161)
 - ☞ [「ワイパーの清掃」](#) (P. 125)

2.10 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか？  「メディアをセットする」(P. 61)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか？
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアをセットしていますか？メディアをプリンター本体にセットする

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。



- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。
- メディアは、メディアセット位置目安銘板に合わせてセンター基準でセットしてください。  「ロールホルダーのセット位置」(P. 71)
また、本機の中央付近で確認、調整してください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

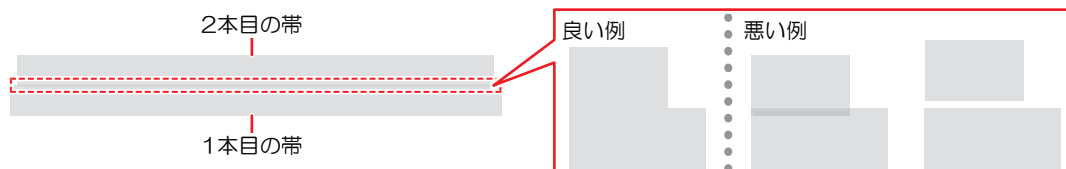


2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "+" 入力：2本の帯の隙間が広がります。
- "-" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

5 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。

プリント実行中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント実行中でも、メディアの送り量の補正ができます。

- 1** リモートモード、もしくはプリント実行中に、[ADJUST]を選択する。
- 2** 補正值を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 補正值：-9999～9999
 - ここで入力した値は、すぐ補正值に反映されます。

2.11 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更したり、プリントヘッド周辺の温度変化により、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 56)
- メディアをセットしていますか? 「メディアをセットする」 (P. 61)



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。プリントする解像度ごとに調整が必要です。



- メディアは、メディアセット位置目安銘板に合わせてセンター基準でセットしてください。 「ロールホルダーのセット位置」 (P. 71)
また、本機の中央付近で確認、調整してください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

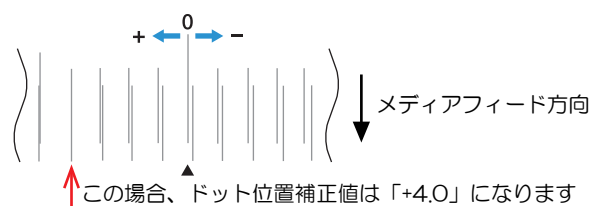
- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 「メディア設定メニュー」 (P. 106)



- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

4 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



5 補正值を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正值：-40 ~ 40



- 補正值が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。
 「[プリントヘッドの高さを調整する](#)」(P. 56)

6 パターン2以降も同様に補正值を入力する。

4 画像を編集する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

（通常印刷）：拡大や縮小、回転など各種設定します。

（印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

5 画像データをプリントする。

-  「プリントを開始する」 (P. 103)

(1) 画面右の機能アイコンから （実行）をクリックする。

(2) "RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を選択して、[開始]をクリックする。



- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。

(1) メインウィンドウで、Tx330-1800のタブを選択する。

(2) プリンタタブの （最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。

2.13 プリントする

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「[プリントヘッドの高さを調整する](#)」 (P. 56)
- メディアをセットしていますか?  「[メディアをセットする](#)」 (P. 61)
- ロールメディアをご使用の場合、背面側のロールメディアがたるみのない状態になっていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? ロールメディアをセットする

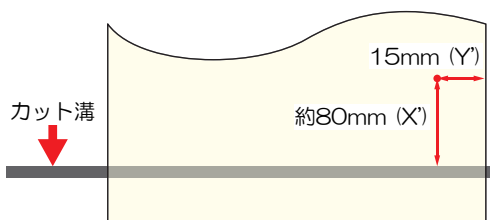


- 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起こると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。  「[ヘッドクリーニングをする](#)」 (P. 95)

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
 - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約80mm
 - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



1 ローカルモード画面から、 を押す。

- 原点設定画面が表示されます。

2 を押して、変更したい位置に原点を合わせる。

- キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。

重要! • 布メディア使用時（脱着プラテン未装着時）は、メディアをバックフィードさせることはできません。

3 [ENTER]キーを押す。

- 原点が変更されます。

プリントを開始する

1 コンピューターから、RIPデータを送信する。

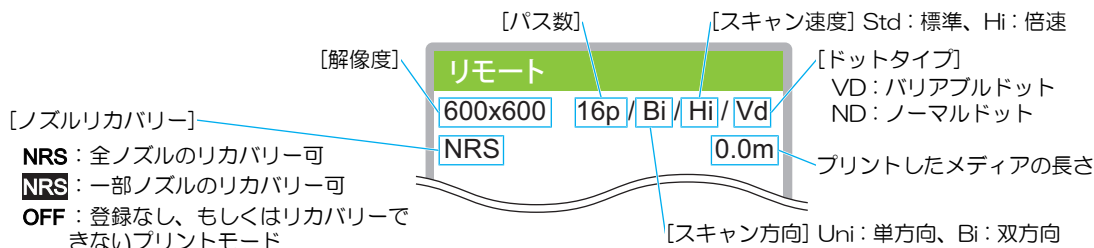
- ☞ 「RIPデータを準備する」 (P. 100)



- メッセージ"Attention20A ドライバーバージョン"が表示されたときは、最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>

2 プリントを開始する。

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。
- 本機に使われているインクは、温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントすることはできませんのでご了承ください。

プリントを一時停止する

1 プリント実行中に、[LOCAL]を押す。

- プリントが一時的に停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 [REMOTE]を押す。

- プリントが再開されます。



- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

- 1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。



- 2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。
 - 受信バッファがクリアされます。

第 3 章 各種設定



この章では...
[MENU]の各種機能について説明しています。

メディア設定メニュー.....	106	機能設定メニュー.....	114
メンテナンスメニュー.....	109	環境設定メニュー.....	116
ノズルリカバリーを登録する	112	マシンステータスメニュー	118
ノズルチェックとは.....	113		

3.1 メディア設定メニュー

初めて使用するときは、[使用メディア選択]画面が表示されます。 「メディアを登録する」(P. 90) お使いになるメディアに合わせて、メディア情報の登録や補正值を個別に登録しておくことができます。

本機の設定と接続しているコンピュータの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピュータの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

● メニュー一覧

項目		設定値		内容
		*1	*2	
フィード補正		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。パターンをプリントして、補正量を入力します。  「フィード補正をする」(P. 96)
ドット位置補正		-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。  「ドット位置補正をする」(P. 98)
	(解像度)	*	-	補正したい解像度を選択します。 “全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
	(補正值)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	パターンを確認して補正值を入力します。
自動補正		-	-	自動補正機能（DAS：Dot Adjustment System）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。
	全て	-		“全て”を選択すると、“フィード補正”“ドット位置補正”を補正します。 • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙やターボリン、布系メディアなどは、検出できないことがあります。 • パターンのプリント実行中にコンピュータから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。 [MENU] > [メディア設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
	フィード補正	-	-	
	ドット位置補正	-	-	
	(解像度)	*	-	補正したい解像度を選択します。 “全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントして、自動でドットの着弾位置を補正します。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
外部ヒータ		ON / <u>OFF</u>		外部ヒータのオン/オフを設定します。
MAPS4 *		-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。 また、画像によっては効果が得られないことがあります。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
				* MAPSのバージョンは、機種によって異なります。
MAPS *		AUTO / MANUAL	-	通常は“AUTO”で使用してください。“MANUAL”に設定すると、以下の項目が表示されます。
	速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
	スムージングレベル（カラー）	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。カラーとスポットカラー（白）、それぞれ設定してください。
メディア情報		-	-	メディアの情報を入力します。
	メディアタイプ	-	-	使用するメディアタイプを選択します。選択できるメディアタイプは機種によって異なります。
	メディア幅	-	-	メディア幅の検出方法を設定します。
	検出方法	AUTO / MANUAL		• AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 • MANUAL：◀ ▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。 – メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。
	メディア残量	-	-	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。リーフメディアの場合は、プリント長が表示されます。
	メディア残量管理	ON / OFF	-	• ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。⬆️⬆️を押して、メディアの長さを設定します。“原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 • OFF：メディア残量は表示されません。
	長さ	0 ~ 500 m	-	ロールメディアの長さを入力します。
	プリント停止	ON / OFF		ONにすると、メディア残量が0になったときにプリントを停止します。
	詳細設定	-	-	各種機能を設定します。
	吸着ファン	強 / 弱 / 標準 / ホスト	強	メディアを吸着する強さを設定します。 • メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。
	常時動作	ON / OFF		• ON：常にメディアを吸着します。 • OFF：プリント実行中やメディアフィードなど、必要なときだけメディアを吸着します。
	フィード速度	ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 • プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 • 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
	プリフィード	-	-	プリントする前にメディアをフィードするための条件を設定します。
	乾燥フィード	OFF / 100~1000mm	OFF	プリント完了後にメディアをフィードさせる長さを設定する。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
メディア名称変更	-	-	設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。
メディア削除	-	-	設定したメディア情報を削除します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ホスト）から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリ機能を設定することができます。

● メニュー一覧

項目		設定値 ^{*1}	内容
ステーションメンテ		-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンス、ヘッド高さの変更をします。
	キャリッジアウト	-	
	プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパーなどステーション周辺を清掃します。 ☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 123) ☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 125)
	メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 124) ☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 131) ☞ 「DAS (自動補正機能) センサーの清掃」 (P. 128)
ノズル洗浄		1 ~ 99 min	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。☞ 「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 161)
ポンプチューブ洗浄		-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 130)
保管洗浄		1 ~ 99 min	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 137)
ワイパー交換		-	ワイパーを交換するときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。布ワイパーの交換
キャップ交換		-	キャップを交換するときに使用します。キャップを交換すると、本機で管理しているキャップ使用期間が初期化されます。☞ 「キャップの交換」 (P. 143)
テストプリント		-	テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞ 「テストプリントをする」 (P. 93)
クリーニング		-	ヘッドクリーニングには、いくつかのタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 95)
ノズルリカバリ		-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
	プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。☞ 「ノズルリカバリを登録する」 (P. 112)
	登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
	リセット	-	設定した内容を初期化します。
	テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリをしてプリントをするかどうかを設定します。
ノズルチェック		-	☞ 「ノズルチェックとは」 (P. 113)

項目		設定値*1	内容	
印刷中チェック	ON / OFF		プリントが開始される前に、自動でノズル詰まり検出動作を実行します。	
	チェック間隔		-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
	距離	0.1 ~ 30.0 ~ 100.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。	
	ファイル	1 ~ 30 ~ 1,000ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。	
	プリント継続		停止 / 継続	"ノズル詰まり"と判定された場合、プリントを継続するか停止するかを選択します。
	復旧動作		OFF / 1 ~ 10 ~ 100	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
	クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。	
	リトライ回数	0 ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。	
オートメンテナンス		-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 ・ワーニングメッセージ“廃インクタンク交換”が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。☞「 廃インクタンクの交換 」（P. 155）	
リフレッシュ	0.5 / 1.0 h	リフレッシュ（プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出）する間隔を設定します。		
ポンプチューブ洗浄	OFF / 48h / 1 ~ 168 h	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄する間隔を設定します。		
クリーニング間隔	1 ~ 48 h	プリントヘッドをクリーニングする間隔を設定します。ノズル詰まりを防止する効果があります。		
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。		
プリント中メンテ		-	プリントの途中に自動実行するメンテナンスを設定します。	
オートクリーニング	-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。		
設定	ファイル / 距離 / 時間 / OFF	ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。		
間隔	-	ヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。		
(ファイル)	1 ~ 1,000	設定したファイル数を超えるとクリーニングを実行します。		
(距離)	0.1 ~ 100.0 m	設定したプリント長さを超えるとクリーニングを実行します。		
(時間)	10 ~ 240 min	設定したプリント時間を超えるとクリーニングを実行します。		
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。		
定期ワイピング	OFF / 3 ~ 255mm	設定したプリント時間を超えるとワイピングを実行します。		
リフレッシュ	弱 / 標準 / 強	プリント実行中のリフレッシュ（フラッシング）タイプを選択します。		

項目	設定値 ^{*1}	内容
廃インクタンク	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。 ☞ 「 廃インクタンクの交換 」 (P. 155)
廃インクタンク量 リセット	-	廃インクタンクの使用カウントをリセットします。☞ 「 廃インクタンクを交換する 」 (P. 155)
廃インク量補正	-	廃インクタンクの使用カウントを補正します。☞ 「 メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら 」 (P. 155)
タンク容量	-	廃インクタンクの容量を表示しています。
空気抜き	-	インク経路内に混入したエアーを排出します。 インクを交換したのにインクエンドが表示されたままになっている場合に実行してください。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。



- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり20個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

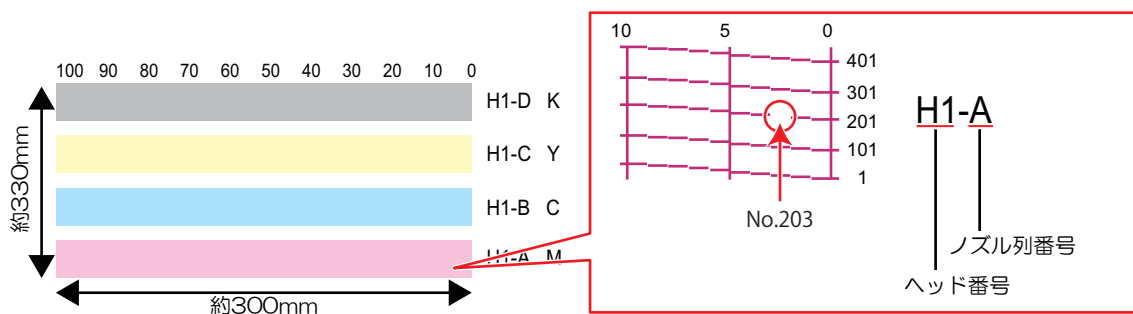
1 メディアをセットする。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

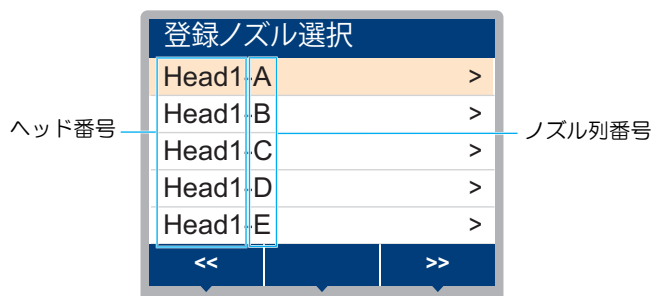
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

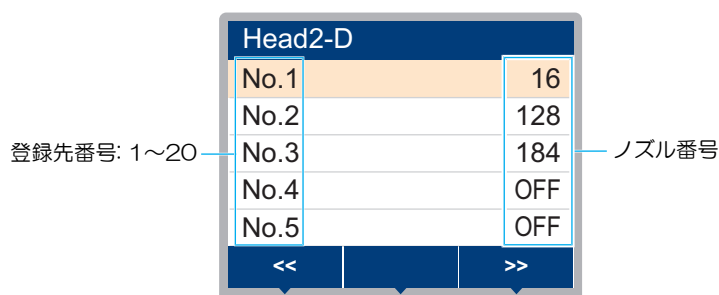


4 ノズルリカバリーをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。



5 ノズルリカバリーをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、“ノズル番号”を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。



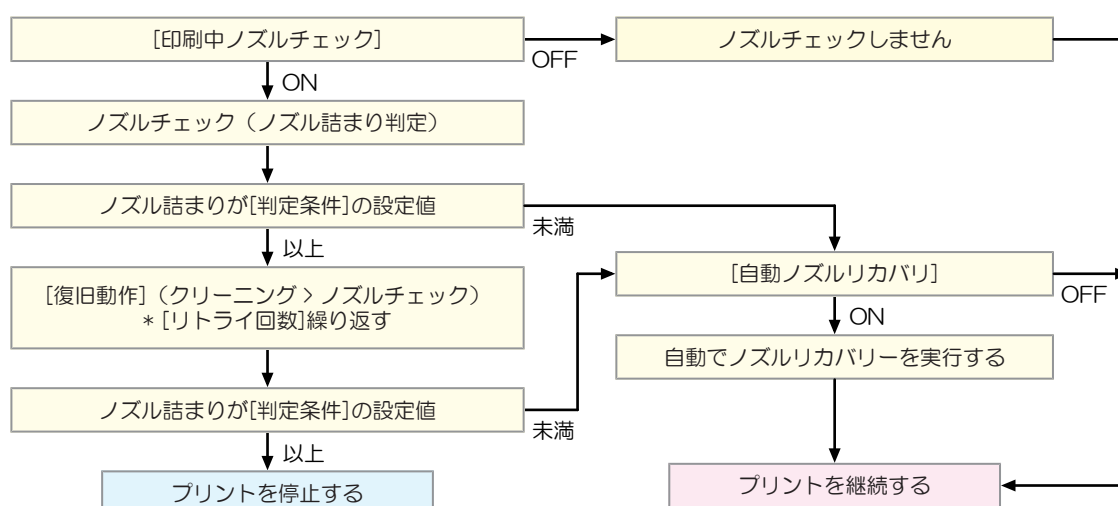
6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。



- ・ [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。☞ [「テストプリントをする」](#) (P. 93)

ノズルチェックとは

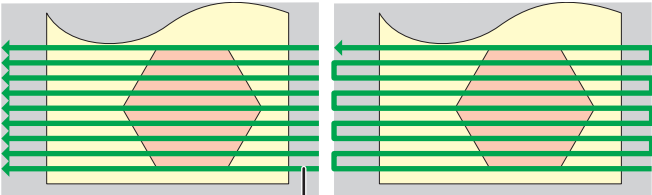
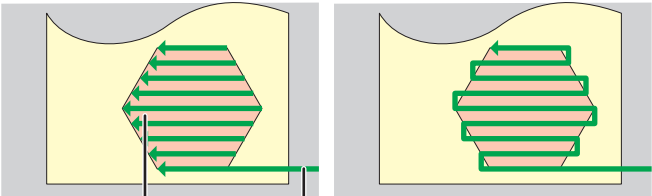
プリントが開始される前に、ノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



3.3 機能設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
ロジカルシーク ^{*2}	<u>ホスト</u> / OFF / ON	キャリッジの可動範囲を設定します。 - OFF：マシンサイズ領域  - ON：プリントデータ領域 
搬送ユニット使用選択	-	使用する搬送ユニットを変更できます。
繰り出しユニット	<u>ON</u> / OFF	繰り出しユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
繰り出しテンションバー	<u>ON</u> / OFF	繰り出しユニットがONの時に表示されます。繰り出しテンションバーを使わない場合は、OFFにしてください。
巻き取りユニット	<u>ON</u> / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
巻き取りテンションバー	<u>ON</u> / OFF	巻き取りユニットがONの時に表示されます。巻き取りテンションバーを使わない場合は、OFFにしてください。
繰り出し/巻き取りスイッチ	<u>継続</u> / 一時	繰り出し/巻き取りスイッチを押した際の動作を設定します。 - 継続：一度押したらもう一度押すまで動作し続けます。 - 一時：スイッチを押している間だけ動作します。 モーター直結ユニットを装着している場合は継続/一時の設定によらずスイッチを押している間だけ動作します。
引っ張りローラー	ON / <u>OFF</u>	ON：プラテンありの場合でもプリント時に引っ張りローラーが動作します。^{*3}
乾燥時間	-	インクを乾燥させる時間を設定します。
スキャン	<u>ホスト</u> / 0.0 ~ 9.9 sec	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、「スキャン毎の乾燥時間」と表示しています。
プリントエンド	<u>ホスト</u> / 0 ~ 120 min	プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、プリントエンドの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、時間は"0分"になります。

項目		設定値 ^{*1}	内容
	強さ	AUTO / 弱 / 強	吹き付けファンの風力を設定します。
電源設定		-	自動で電源ON / OFFする時間を設定します
	オートパワーオフ	5 ~ <u>15</u> ~ 60 min	自動で電源を切る時間を設定します。
	オートパワーオン	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
	設定	ON / <u>OFF</u>	電源を入れるかどうかを設定します。
	時刻	<u>0:00</u> ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
	曜日	月 ~ 日	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
トップブロー		<u>ON</u> / OFF	プリント実行中の吹き付けファンの動作を設定します。
余白設定		-	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。
	マージン	-	- メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 - 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右のマージンはオフセット値が"0mm"になります。
	マージン / 左	<u>ホスト</u> / -10 ~ 85 mm	
	マージン / 右		
ページ間余白		<u>無し</u> / 10~500mm	連続プリントのとき、プリント間の余白を削減することができません。 余白の長さを短くすると、メディアにたるみが生じて、メディアの送り量が変わってしまうおそれがあります。
余白フィード方式		<u>間欠</u> / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 - 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作する。 - 連続：データがない部分を一度にフィードする。
確認フィード		<u>ON</u> / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
自動リモート		<u>ON</u> / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. プリントデータのプリント幅や、プリント位置によって、ロジカルシールが無効になる場合があります。（ノズル面保護のため）

*3. プラテンなしの場合は、この設定にかかわらず引っ張りローラーは動作します。

3.4 環境設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
LANGUAGE	<u>English</u> / 日本語 / 中文 / Turkce / Portugues / Espanol / Italiano / Korean	表示言語を設定します。
時刻設定	-20 ~ <u>0</u> ~ +4 h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
キーブザー	<u>ON</u> / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 • “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
単位表示設定	-	表示単位を設定します。
温度	<u>°C</u> / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
長さ	<u>mm</u> / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 • “inch”に設定しても、“mm”単位で表示している項目もあります。
ネットワーク	-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、“0.0.0.0”と表示されます。
MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
DHCP	<u>ON</u> / OFF	“ON”の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
AutoIP	<u>ON</u> / OFF	“ON”の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが“ON”の場合は、DHCPが優先されます。
IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも“OFF”の場合に設定することができます。
デフォルト ゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも“OFF”の場合に設定することができます。
DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも“OFF”の場合に設定することができます。
サブネット マスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも“OFF”の場合に設定することができます。
リモートコントロール	-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離

項目		設定値 ^{*1}	内容
			れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報を見ることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
設定		<u>有効</u> / 無効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
PINコード		<u>0000</u> ~ 9999	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。 本機を“0000”に設定すると、MRAがどんなPINコードでも本機にアクセスできるようになります。
キーライフタイム		5 ~ <u>30</u> ~ 120 min	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。
マシンリセット		-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.5 マシンステータスメニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピング回数が表示されます。 ・表示中に[FUNC2]キーを押すと、ワイピング回数を初期化することができます。
	キャップ使用	キャップを交換してからの経過日数が表示されます。
	プリント長	累積されたプリント長が表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
	スパウトゴム使用	
メンテナンス履歴	メンテナンス	各メンテナンス機能の実施履歴が表示されます（最大10件）。 ・ クリーニング  P. 95、洗浄ワイブ  P. 95、ポンプチューブ洗浄  P. 130、ノズル洗浄  P. 161
	ワイパー交換	ワイパーの交換履歴が表示されます（最大5件）。  P. 140
	インク交換	各インクスロットのインクパックを交換履歴が表示されます（最大5件）。  「インクを交換する」 (P. 41) ・ スロット1 - 8
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・ 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第4章 メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。

メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....	120	消耗品の交換.....	139
メンテナンスの方法.....	121	消耗品を交換するタイミング.....	139
メンテナンス項目とタイミング.....	121	ワイパーの交換.....	140
インクのメンテナンス.....	123	ワイパークリーナーの交換.....	141
キャップゴムの清掃.....	123	キャップの交換.....	143
キャリッジ底面の清掃.....	124	ステーション周辺の吸収材の交換.....	145
ワイパーの清掃.....	125	排気ファンフィルターの交換.....	147
NCUの清掃.....	127	吹き付けファンフィルターの交換.....	147
DAS（自動補正機能）センサーの清掃.....	128	ピンチローラーの交換.....	148
インク受けスパーサーの清掃.....	129	メディア押さえ、布押さえの交換.....	150
インクスロープの清掃.....	130	インク供給ユニットのインク吸収材の交換.....	154
インク排出経路の洗浄.....	130	廃インクタンクの交換.....	155
メディアセンサーの清掃.....	131		
メディア押さえ、布押さえの清掃.....	132		
ジャムセンサー検出板の清掃.....	133		
プラテン、プラテンワイヤーの清掃.....	134		
ピンチローラー、グリットローラーの清掃.....	134		
引っ張りローラーの清掃.....	135		
カバー（外装）の清掃.....	136		
長期間使用しないときは.....	137		

4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日に1度、作業が終わったとき	ワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 125)
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」(P. 123)
3日に一度、作業が終わったとき	本機左下の廃インクタンクに溜まったインク類を廃棄してください。
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」(P. 123)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 124)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」(P. 155)
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出経路の洗浄」(P. 130)
2週間の作業が終わったとき	吹き付けファンフィルターを清掃してください。
メディア交換時	インク受けスパーサーを清掃してください。☞「インク受けスパーサーの清掃」(P. 129)
	引っ張りローラーを清掃してください。☞「引っ張りローラーの清掃」(P. 135)
	インクスロープを清掃してください。☞「インクスロープの清掃」(P. 130)
1か月に1度	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 127)
	DASセンサーを清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）センサーの清掃」(P. 128)
	メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 131)
	メディア押さえ、布押さを清掃してください。☞「メディア押さえ、布押さえの清掃」(P. 132)
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞「ジャムセンサー検出板の清掃」(P. 133)
	プラテンを清掃してください。☞「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」(P. 134)
	ピンチローラー、グリットローラーを清掃してください。☞「ピンチローラー、グリットローラーの清掃」(P. 134)
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」(P. 136)
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」(P. 137)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>）にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。
-

インクのメンテナンス

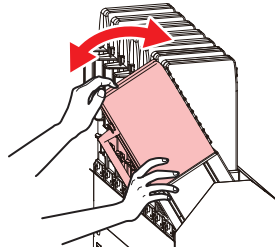
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

3日に1回程度。

- 重要!** ・ インク供給ユニットからインクエコケースを抜かないように振ってください。インクエコケースが外れるとインクが漏れるおそれがあります。

1 インクエコケースを10回程度ゆっくりと振る。

- ・ インクエコケースの上部を押さえながら手前に前後します。



- ・ 必ずインクエコケースの上部を押さえながら手前に前後してください。上部を押さえないとインクエコケースが抜けて、インクが漏れるおそれがあります。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

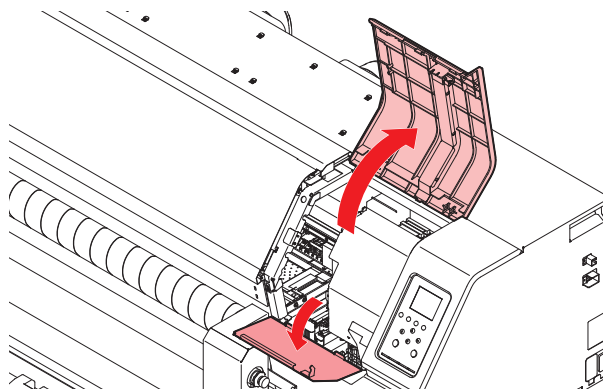
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

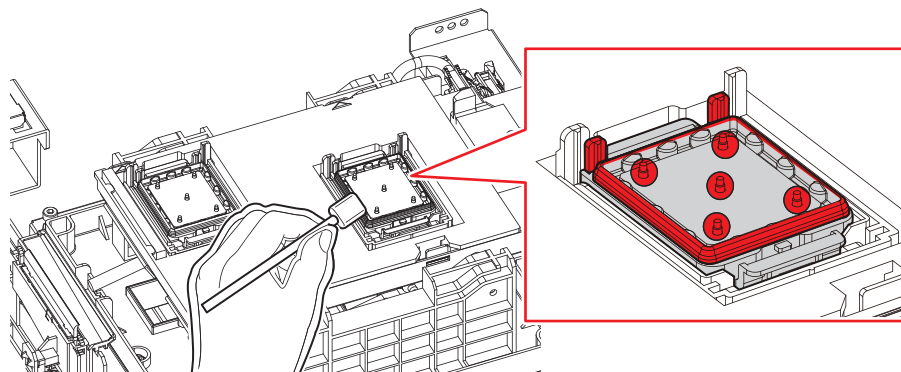
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- ・ イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分を清掃します。



5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

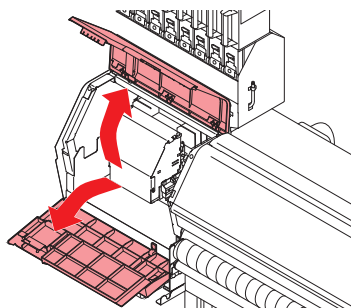
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

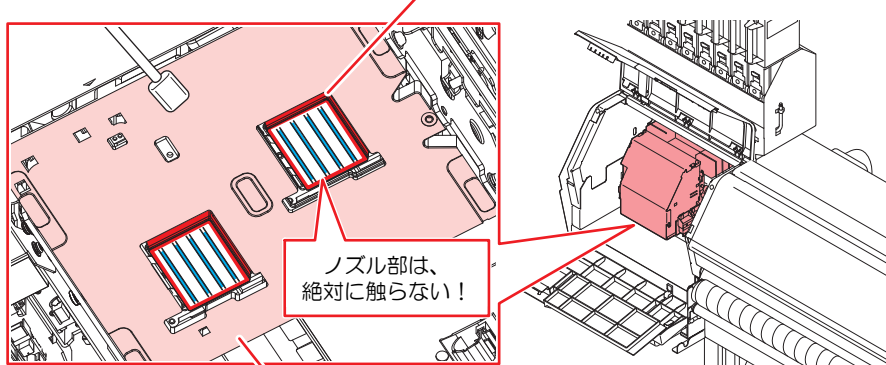
3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。



クリーンスティック、または柔らかい布で清掃します。



- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。ワイパーが汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

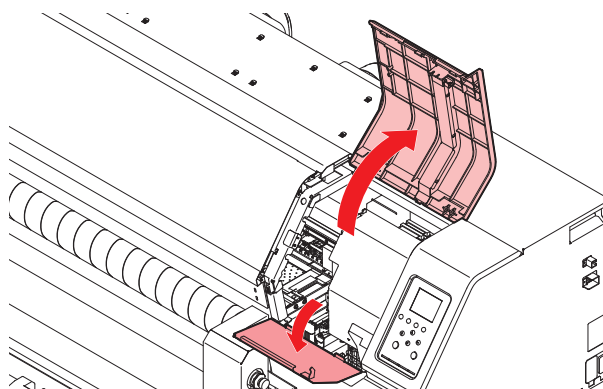
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

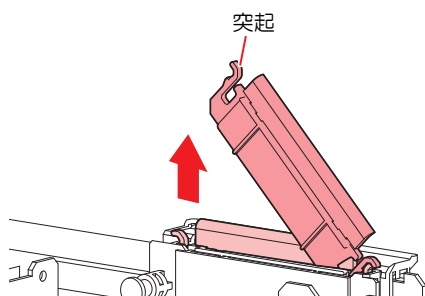
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



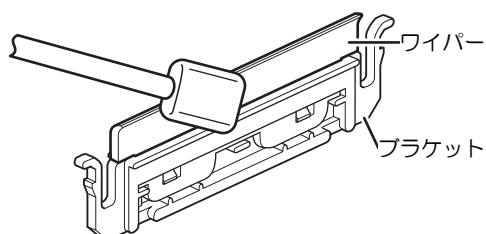
4 ワイパーを外す。

- ・ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

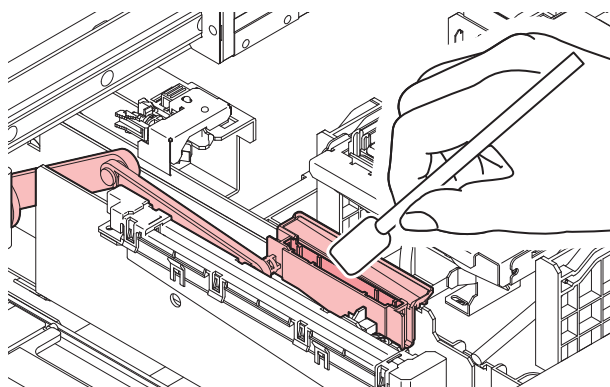
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。ワイパーの交換

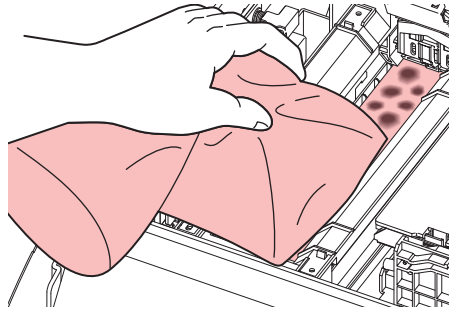
6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

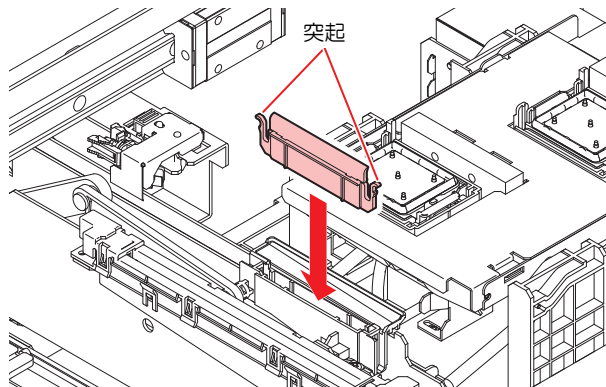




- 吸収剤ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

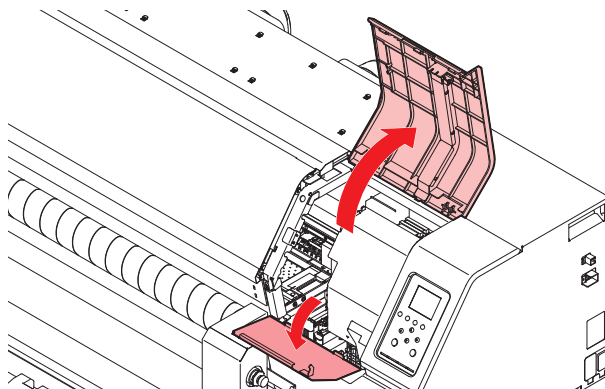
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

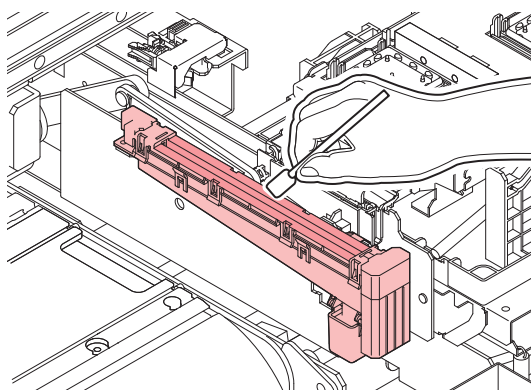
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

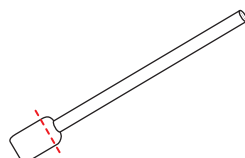


4 NCUを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（[P. 106](#)）が実行できないおそれがあります。

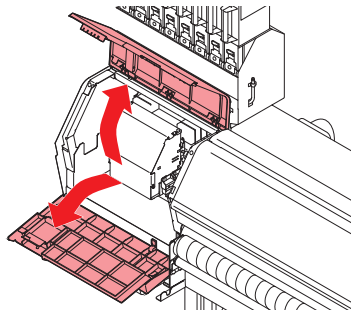
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

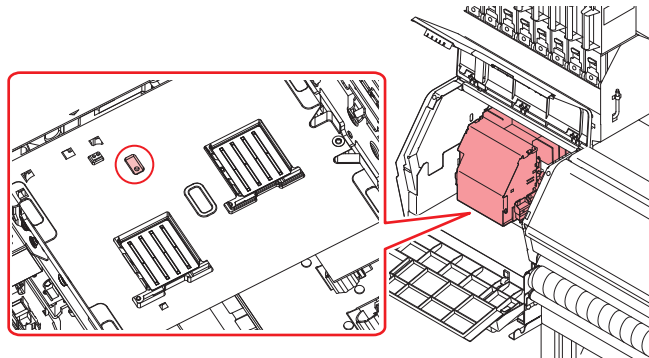
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 DASセンサーを清掃する。

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。

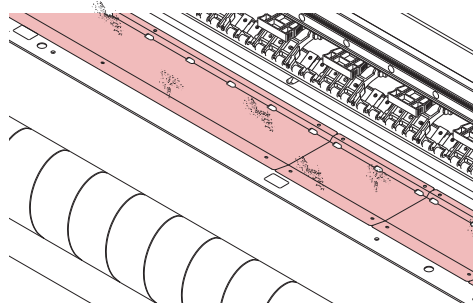


- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

インク受けスパーサーの清掃

メディア交換時などインク受けスパーサーに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して、洗浄します。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 本機にインク受けスパーサーを取り付けた状態で、直接水を流さないでください。

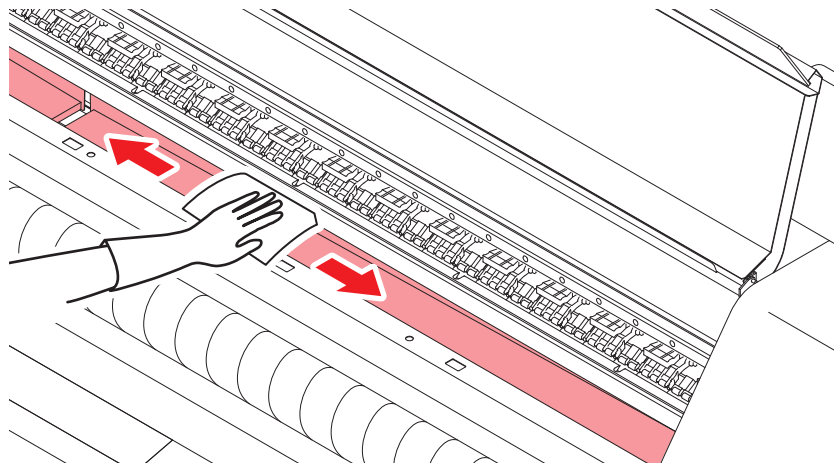


- 汚れが目立つときは、インク受けスパーサーを取り外し、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

インクスロープの清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 水を直接インクスロープに流さないでください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

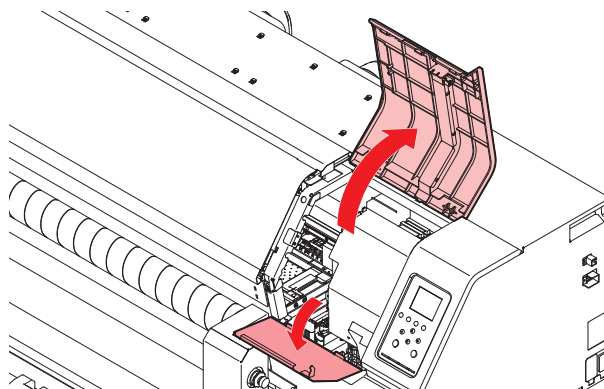
2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャップにメンテナンス液が満たされます。



- カバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

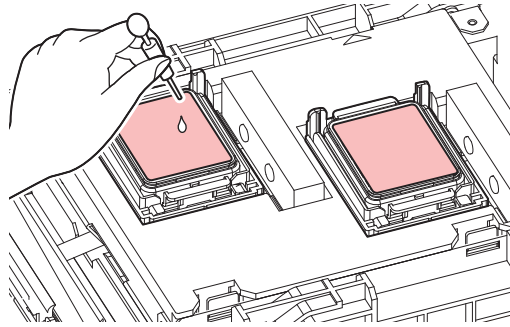
3 右側のメンテナンスカバーを開く。



- キャップの半分程度メンテナンス液が溜まっていることを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度メンテナンス液を滴下してください。



- キャップの半分程度メンテナンス液が入っているかどうかを確認する。



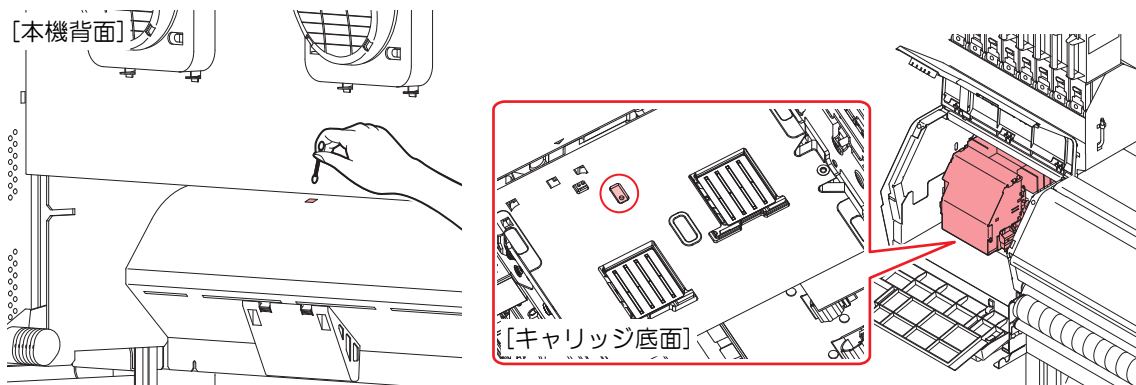
- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

4 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

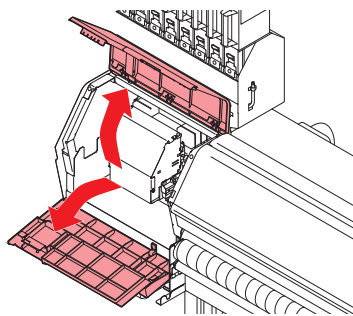
背面側のプリカバー（2箇所）とキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。

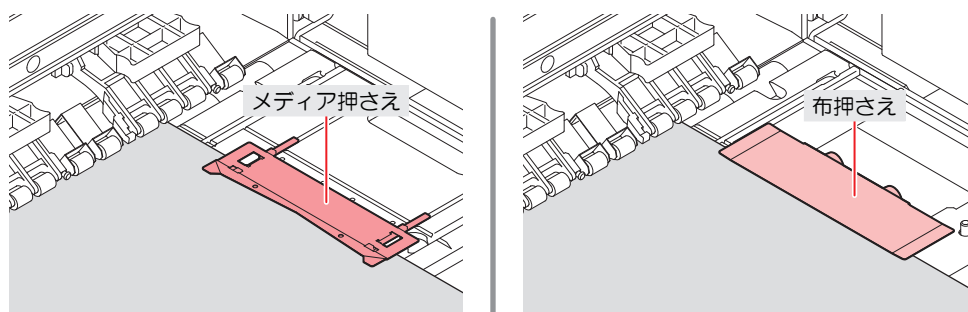


4 メディアセンサーを清掃する。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえ、布押さえの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

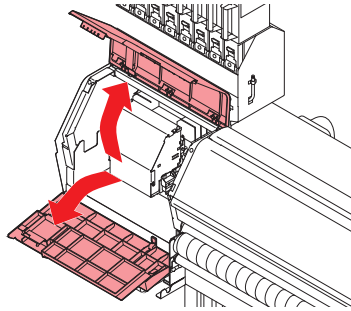


- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

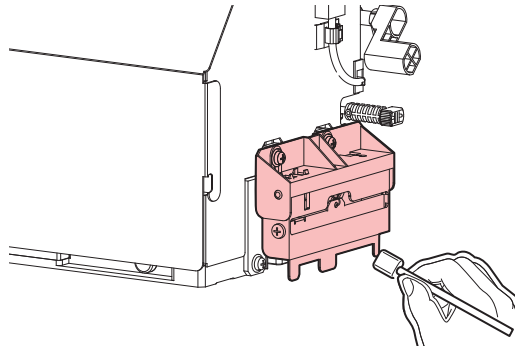
ジャムセンサー検出板の清掃

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



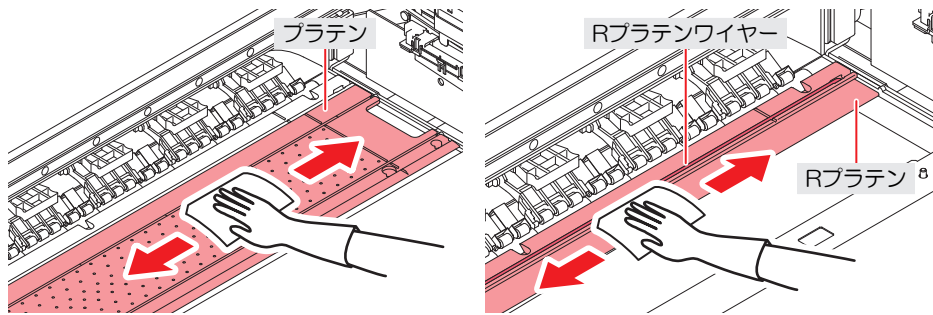
- 4 ジャムセンサー検出板を清掃する。
 - ・ キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

プラテン、プラテンワイヤーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 水を直接プラテンに流さないでください。



- メディア押えをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。



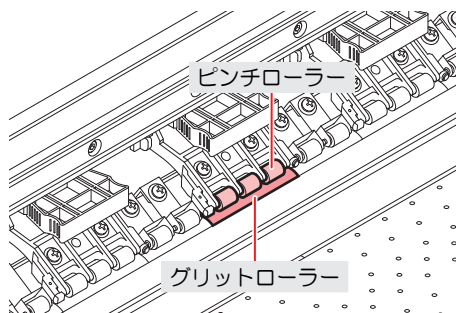
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

ピンチローラー、グリットローラーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



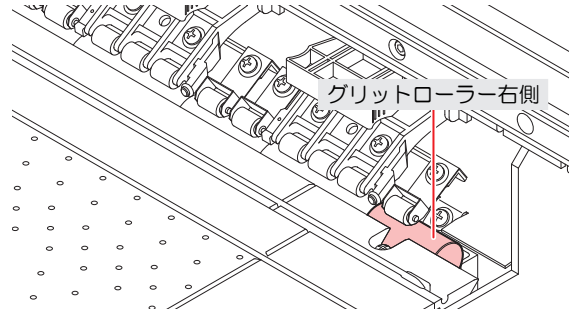
- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

● グリットローラーの場合

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 樹脂ブラシを使ってグリットローラーの表面を軽く数回こすり、汚れを除去する。
 - ・ 指でグリットローラーの右側を回しながら全周をブラッシングしてください。



- ・ 汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合はブラシに水をつけてください。

重要!

- ・ グリットローラー清掃は、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、グリットローラーに傷を付けてしまい、正しくフィードできなくなります。
- ・ 水を使ってブラッシングした後は、不要なメディアをフィードさせて水気を取ってください。

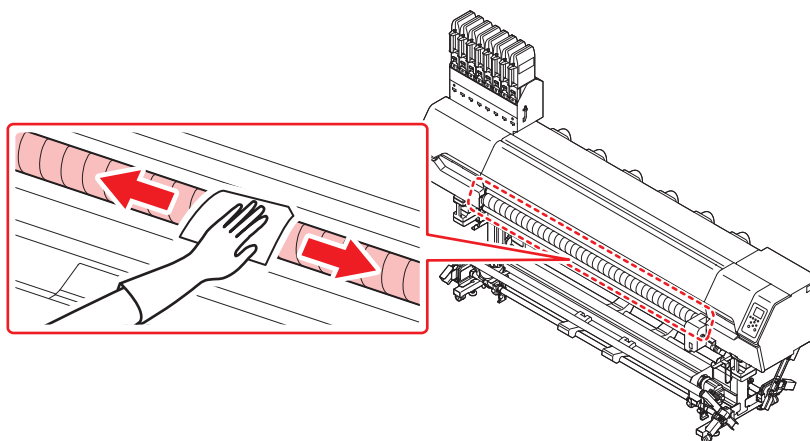
● ピンチローラーの場合

ピンチローラーの表面を布などで拭いて、インク汚れを除去する。



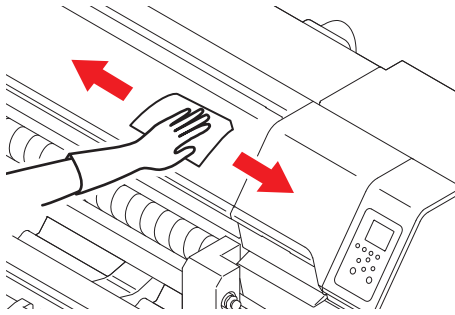
- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

引き張りローラーの清掃



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

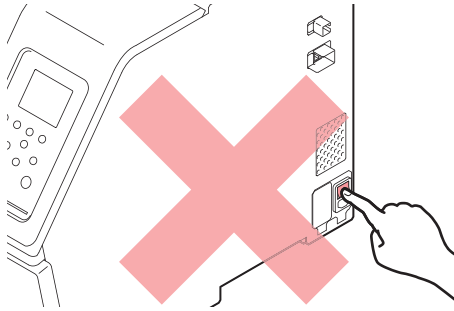
事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していますか？

- ・洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。



- ・主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ・ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- ・メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ・ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、本機の左右に設置した廃インクタンクのインクを捨ててください。

🔧 「[廃インクタンクの交換](#)」 (P. 155)

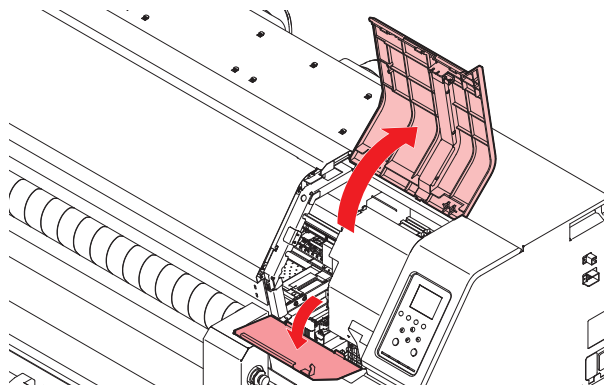
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

-  「キャップゴムの清掃」 (P. 123)

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- キャップにメンテナンス液が満たされます。



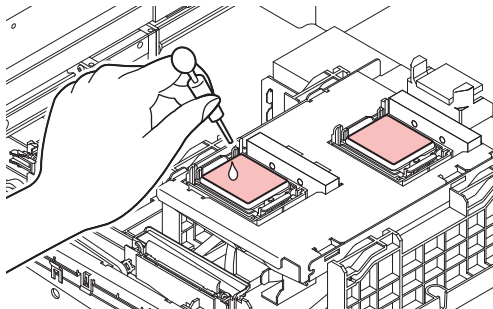
- カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



7 メンテナンスカバーを閉じる。

8 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

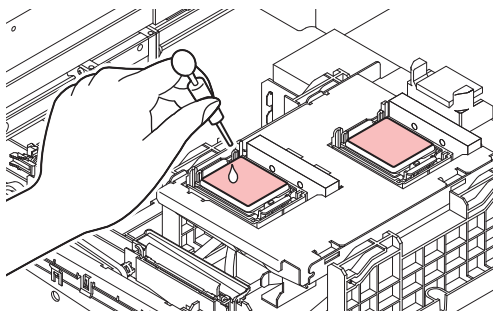
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

9 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップの半分程度メンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。



10 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

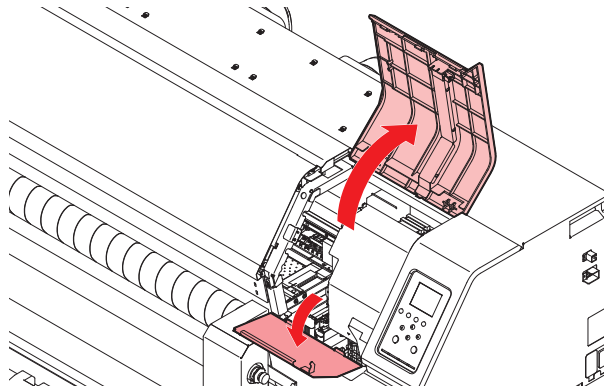
消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	「ステーション周辺の吸収材の交換」 (P. 145) 「ワイパーの交換」 (P. 140) 「排気ファンフィルターの交換」 (P. 147) 「吹き付けファンフィルターの交換」 (P. 147)
吐出不良が直らないとき	「キャップの交換」 (P. 143) 「ワイパーの交換」 (P. 140)
破損があるとき	「ワイパーの交換」 (P. 140) 「キャップの交換」 (P. 143) 「ピンチローラーの交換」 (P. 148) 「メディア押さえ、布押さえの交換」 (P. 150)
インクを交換するとき	「インク供給ユニットのインク吸収材の交換」 (P. 154)
ディスプレイに“ワイパーの交換”が表示されたら	「ワイパーの交換」 (P. 140)
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	「廃インクタンクの交換」 (P. 155)
1年に1度	「ワイパークリーナーの交換」 (P. 141)

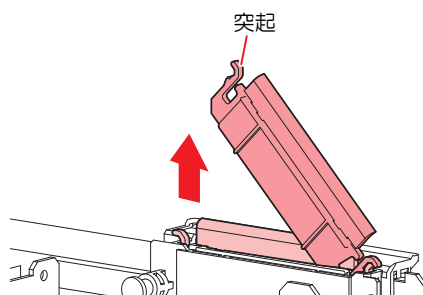
ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに“ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- 1 ディスプレイに“ワイパー交換”が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 右側のメンテナンスカバーを開く。

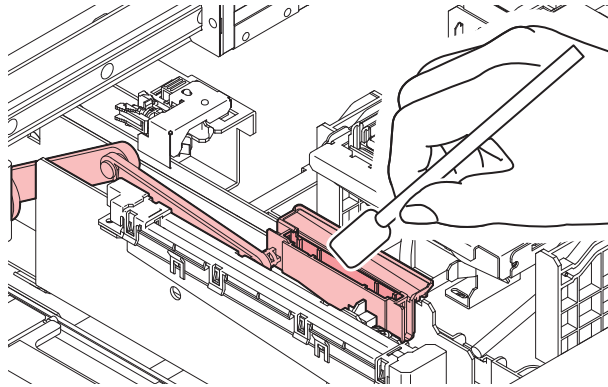


- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

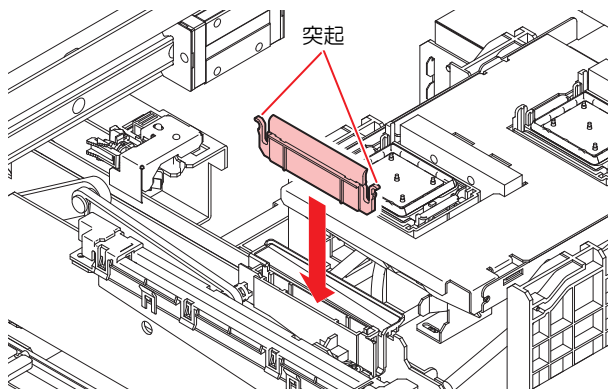


6 ワイパースライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

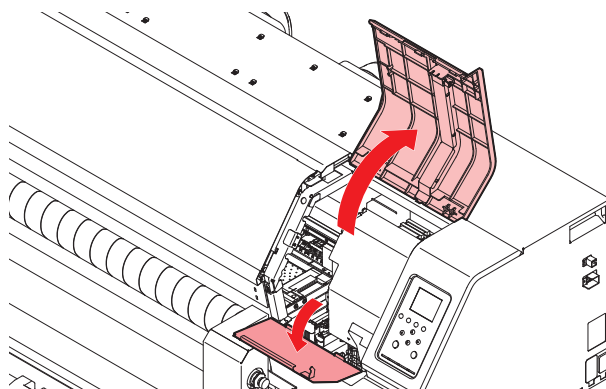
- ワイパーの使用回数が初期化されます。

ワイパークリーナーの交換

1年に一度、新しいワイパークリーナー（SPC-0243）に交換してください。

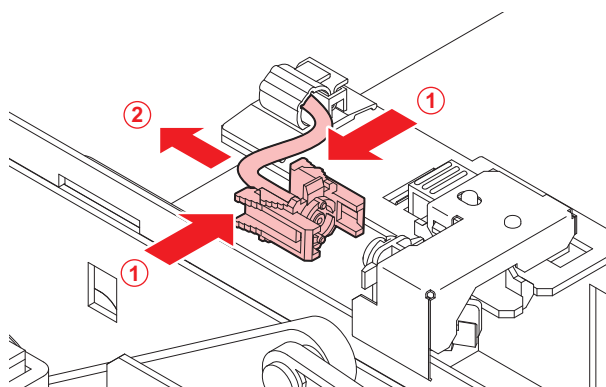
- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



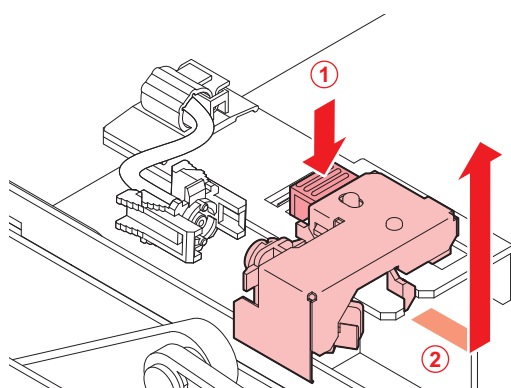
4 フィッティングを外す。

- フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- シールゴムの紛失に注意してください。



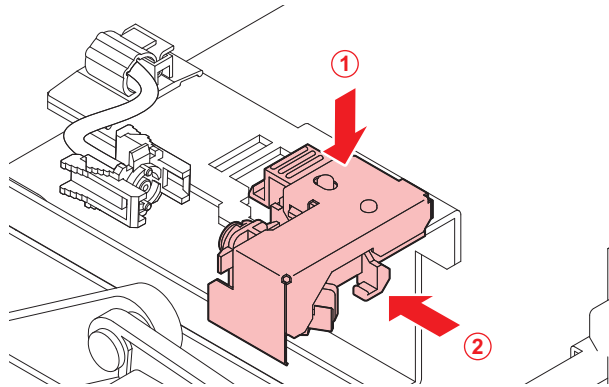
5 ワイパークリーナーを外す。

- 手前に引いて外します。



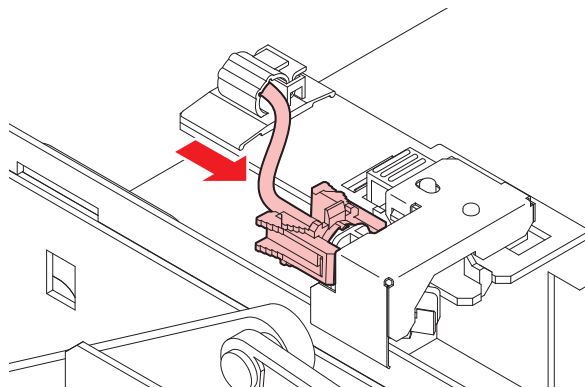
6 新しいワイパクリーナーをセットする。

- ・ 奥にスライドさせて取り付けます。



7 フィッティングを付ける。

- ・ 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- ・ Sbインク、TPインクをご使用の場合、長期間使用するとキャップ表面が乾燥し経路が詰まりやすくなります。その場合はキャップを交換するか外して丸洗いしてください。



- ・ 6か月～12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。
（TPインク：6か月、その他インク：12か月を推奨）

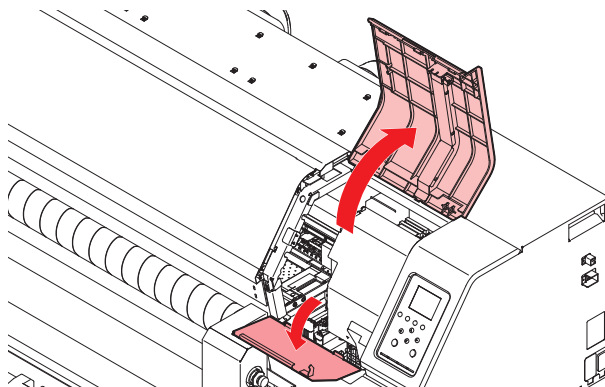
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ]>[キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

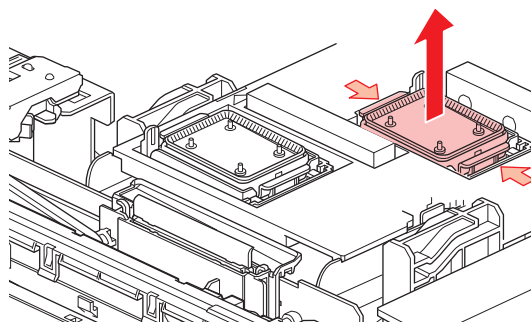
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

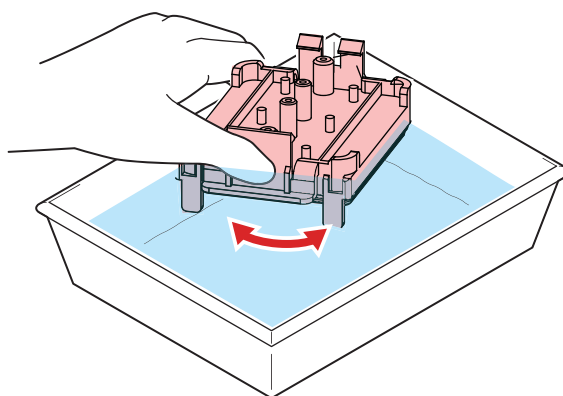


4 キャップを外す。

- ・ キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



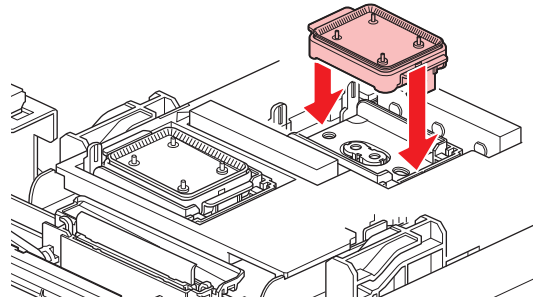
5 【Sbインク、TPインクの場合】メンテナンス液を溜めた容器でキャップのメッシュの面を下にしてゆすいでください。取り出したら樹脂部分はしっかりと拭き取ってください。



6 メンテナンス液を塗布する。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。

- 7** 新しいキャップ、または丸洗いしたキャップをセットする。
- ・ 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。

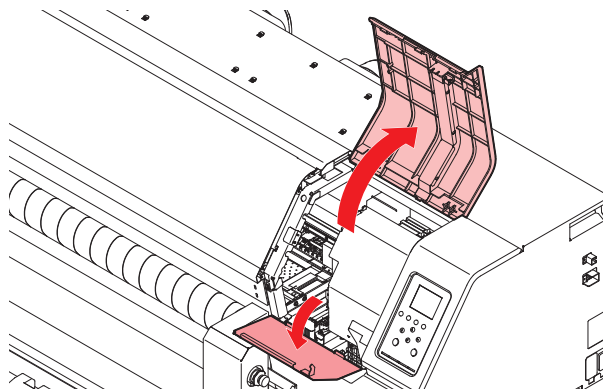


- 8** 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ステーション周辺の吸収材の交換

キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- 1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2** [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3** 右側のメンテナンスカバーを開く。



- 4** キャップ吸収材を外す。



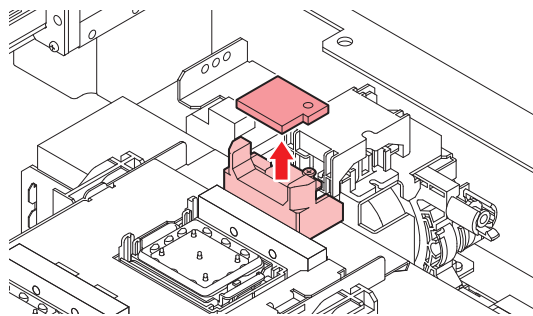
- ・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

- 5** 新しいキャップ吸収材をセットする。



- ・ キャップ吸収材のスリットにプレートのツメを挿し込んでください。
- ・ キャップ吸収材が、外れないことを確認してください。

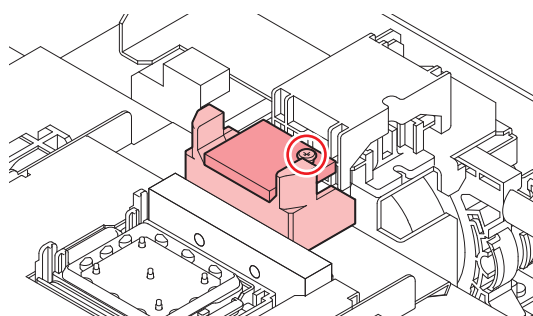
6 メンテナンス液吸収材を外す。



7 スライダーブロック周辺のメンテナンス液を拭き取る。

8 新しいメンテナンス液吸収材をセットする。

- ・ 突起にしっかり挿し込んでください。



9 吸収材が浮いていたり、反っていたりしていないかどうかを確認する。

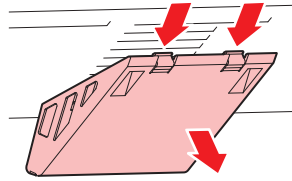
10 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 排気ファンBOXを外す。

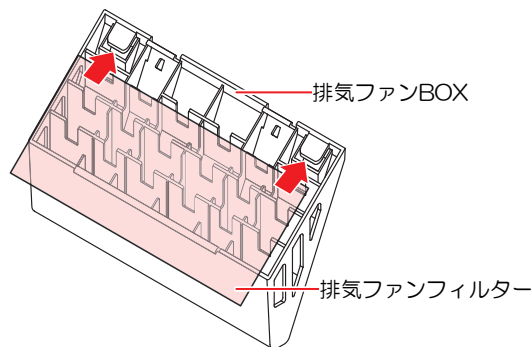
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



3 排気ファンBOXをセットする。

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

吹き付けファンフィルターの交換

吹き付けファンフィルターが汚れたときは交換してください。

重要! 昇華転写インクを使用されている場合

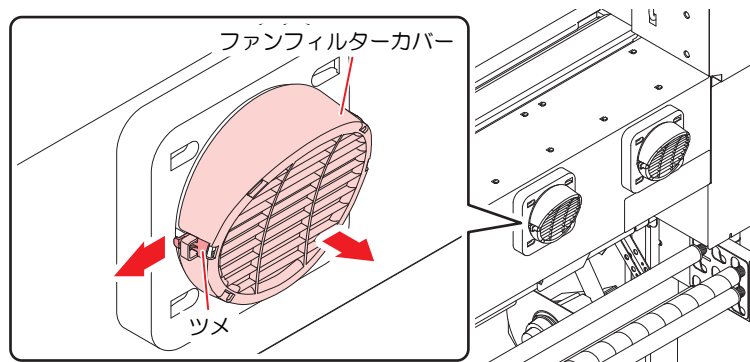
- 3か月に1度は、フィルターを交換してください。



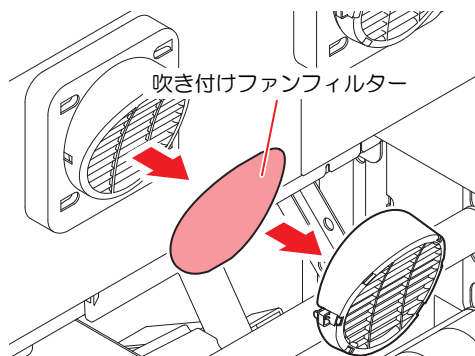
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 ファンフィルターカバーを外す。

- ・ ファンフィルターカバーのツメを外側に押して、カバーを手前に引っぱります。

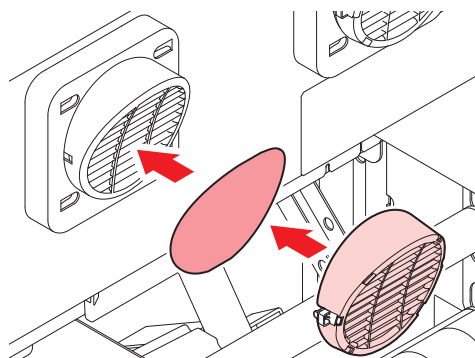


2 フィルターを外す。



3 新しいフィルターとファンフィルターカバーをセットする。

- ・ ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。



ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

重要! 昇華転写インクを使用されている場合

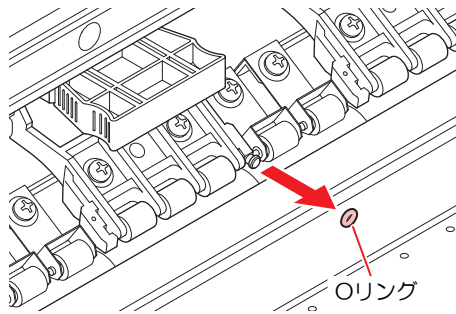
- ・ 1日あたり12時間稼働しているとき：1か月に1回、交換してください。
- ・ 24時間稼働しているとき：2週間に1回、交換してください。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

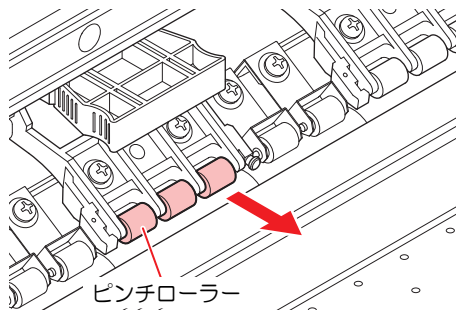
1 正面カバーを開く。

- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



• 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

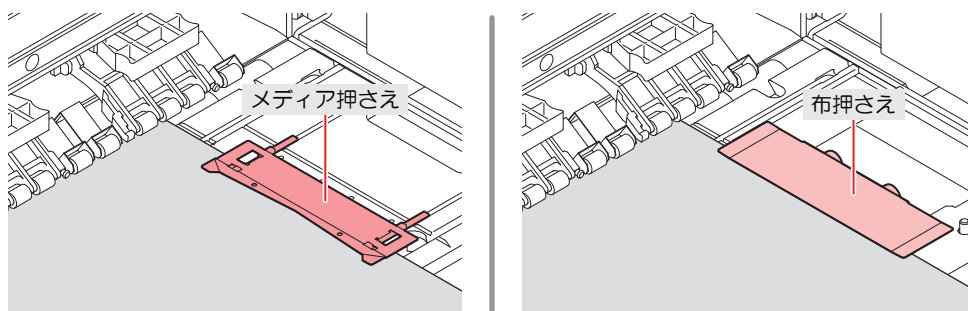
- 4 ピンチローラー、もしくはPR軸を外す。



- 5 新しいピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。
- 6 正面カバーを閉じる。

メディア押さえ、布押さえの交換

メディア押さえ、布押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえ、布押さえに交換してください。

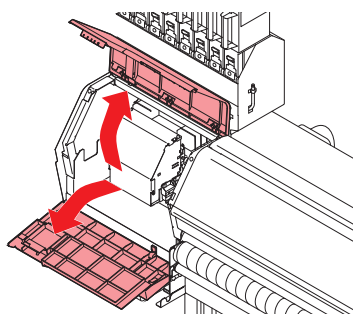


・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

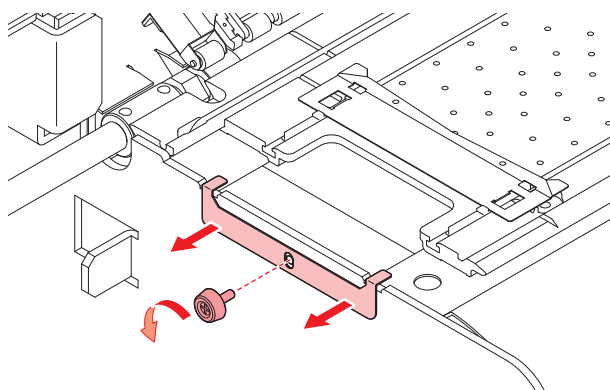
● メディア押さえの場合

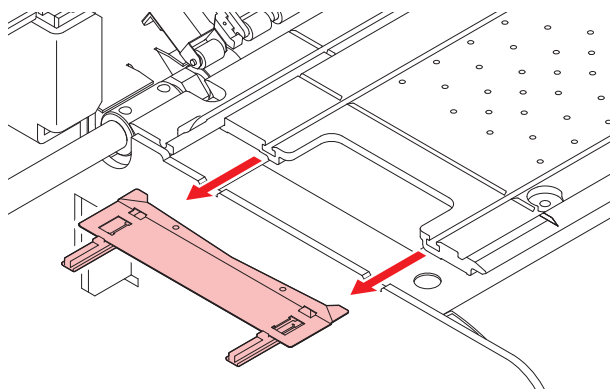
左側のメディア押さえの交換方法です。右側も同様の手順で交換してください。

1 左側のメンテナンスカバーを開く。

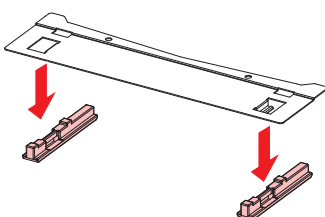


2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

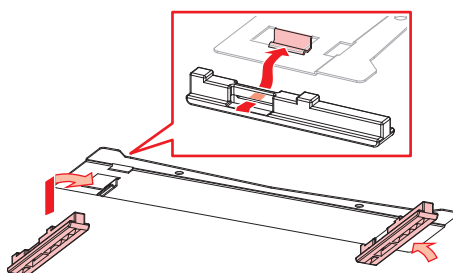
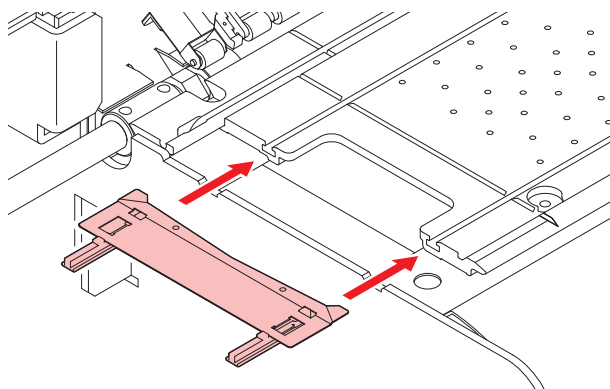


3 メディア押さえを外す。**4** メディア押さえから、スライダーを外す。

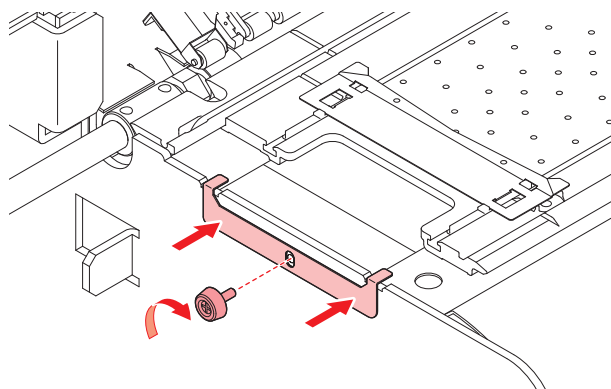
- ・ 外したスライダーは紛失しないように注意してください。

**5** 新しいメディア押さえに、スライダーをセットする。

- ・ メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。

**6** プラテンに新しいメディア押さえをセットする。

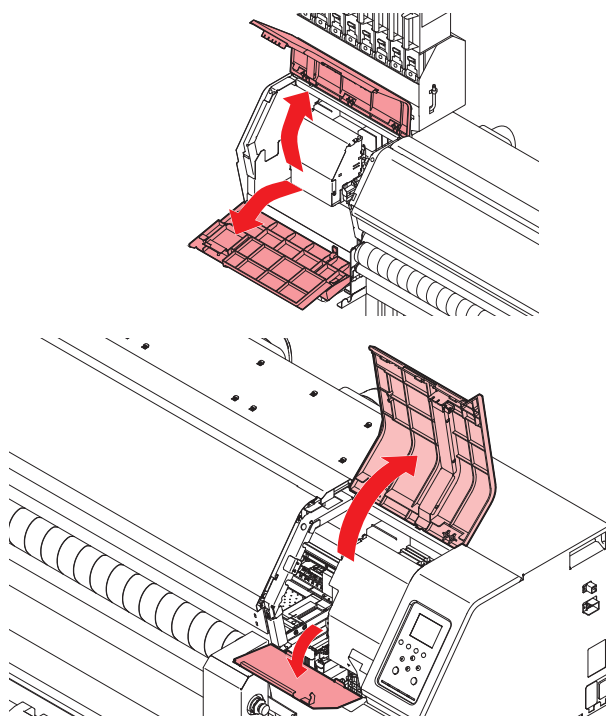
7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



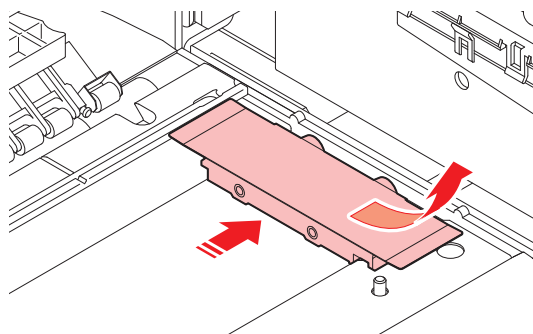
8 メンテナンスカバーを閉じる。

● 布押さえの場合

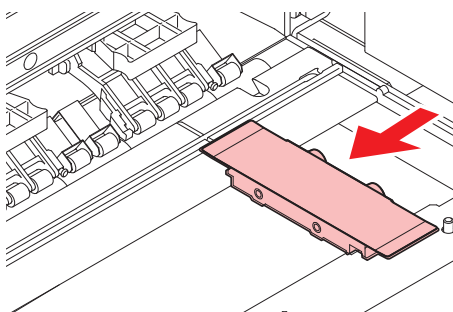
1 左右のメンテナンスカバーを開く。



2 布押さえ（R/L）を取り外す。



3 新しい布押さえ（R/L）をセットする。



・ 布押さえ（R/L）の向きに注意してください。ネジが外側になるように取り付けてください。また、布押さえ前後で形状も異なりますので、注意してください。

4 メンテナンスカバーを閉じる。

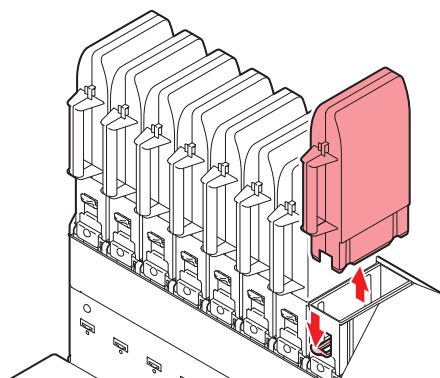
インク供給ユニットのインク吸収材の交換

インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。

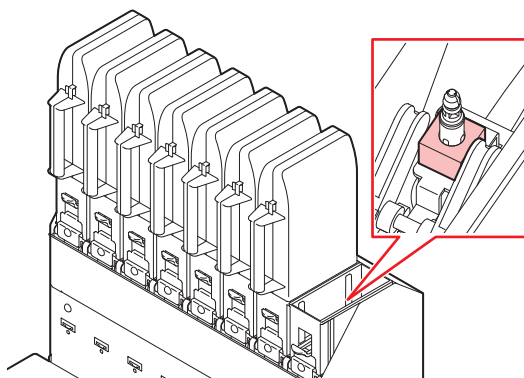


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

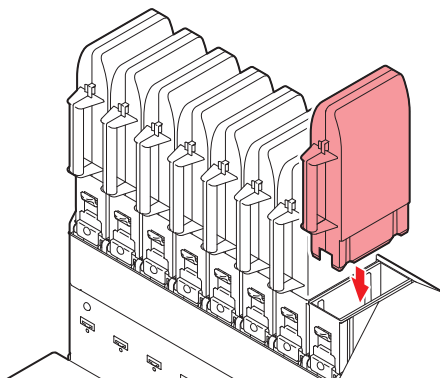
1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



2 吸収材を外して、新しい吸収材をセットする。



3 台座にエコケースをセットする。



廃インクタンクの交換

プリントやヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機左右にある廃インクタンクにたまります。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。

廃インクタンク確認
Level: xx %

- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。🔧 [「廃インクタンクを交換する」](#)（P. 155）

- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

● 廃インクタンクの交換手順(本機右下)

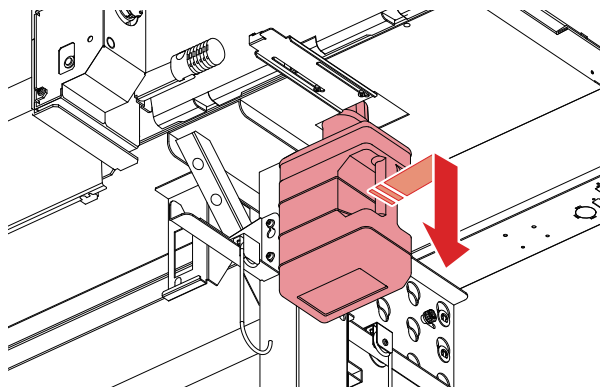
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

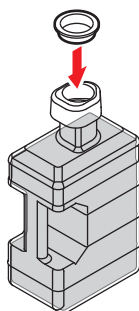
- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

4 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。



5 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

第 5 章 困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....	158	メッセージを表示するトラブル.....	163
電源が入らない.....	158	ワーニングメッセージ.....	163
プリントできない.....	158	インクエラー.....	164
メディア詰まり、メディアが汚れる.....	158	エラーメッセージ.....	165
画質不良が発生した.....	159	SYSTEM HALT.....	171
インクが漏れた.....	162		

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/support/>）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

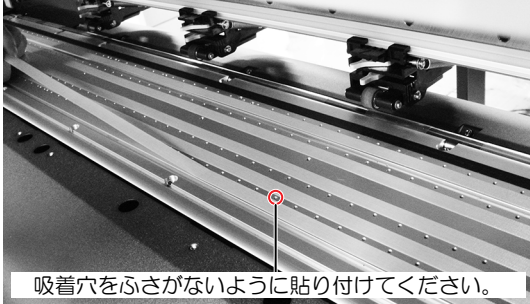
確認すること	対処方法
電源ケーブルが、本機に接続されていますか？	電源ソケットを根元（カチッと音が鳴る）まで挿し込んでください。
付属の電源ケーブルを使用していますか？	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか？	主電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 32)
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか？	電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 32)

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェースケーブルが、接続されていますか？	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 36)
LANケーブルが、接続されていますか？	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 35)
弊社指定のLANケーブルを使用していますか？	LANケーブルの種類を確認してください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 35)
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか？	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞ 「操作パネル」 (P. 29)

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか？	推奨メディアを使用してください。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していないですか？	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか？	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 61)

確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか？	ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLO[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する （キャリッジスキャン方向）	1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえ、布押さえの清掃」（P. 132）☞「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」（P. 134） 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 95）を実施してください。 3. ☞「フィード補正をする」（P. 96）を実施してください。 4. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 123）を実施してください。 5. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 124）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. ☞「フィード補正をする」（P. 96）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. ☞「ドット位置補正をする」（P. 98）を実施してください。
プリント実行中にインク滴が落ちる	1. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 123）を実施してください。 2. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 124）を実施してください。 3. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 95）を実施してください。 4. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」（P. 109）
ノズル詰まりした	1. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 95）を実施してください。 2. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 161）を実施してください。 3. ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 112）を実施してください。
プリントヘッドの高さを上げ過ぎていませんか？	プリントヘッドの高さを調整してください。☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 56）プリントヘッドの高さを下げられない場合は、プリント中のリフレッシュレベル（☞P. 109）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
あまり使っていないインクカラーはありませんか？	使用頻度が低いノズルは吐出が安定しない傾向があります。プリント中のリフレッシュレベル（☞P. 109）を上げるとノズルの使用頻度を上げることができますが、インク消費量が増えてしまいますのでご注意ください。
帯電しやすいメディアを使っていますか？	プリント中のリフレッシュレベル（☞P. 109）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

現象	対処方法
本機を湿度の低い場所に設置していませんか？	加湿器などを設置して、湿度を上げてください。また連続してプリントする場合は、プリント中のリフレッシュレベル（  P. 109）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
本機をホコリや粉じんのある場所に設置していませんか？	本機をホコリや粉じんがない場所（オフィス相当：粉塵レベル 0.15mg/m^3 ）に設置してください。

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 95））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

- ・ ☞「キャップゴムの清掃」（P. 123）

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。



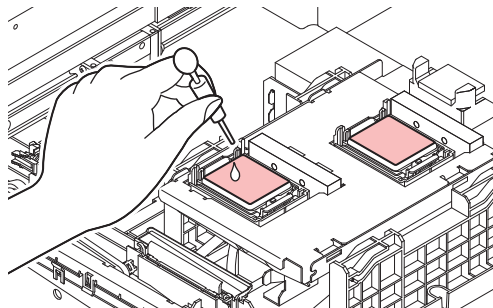
- ・ カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- ・ キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- ・ メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



7 メンテナンスカバーを閉じる。

8 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



- ・ ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが漏れた



- ・ インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイダンスでも確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 31）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
インクエラーあり	インクエラーが発生している。	インクエラーの内容を確認してください。☞ 「インクエラー」（P. 164）
カバーオープン	カバーが開いている。	カバーを閉じてください。
クランプレバー下げてください	クランプレバーが上がっている。	クランプレバーを下げてください。☞ 「正面」（P. 22）
プリントデータあり	プリント（RIP）データを受信している。	リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリンター一時中断	プリントを一時停止している。	リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/インクIC	使用できないインクICチップが使われている。	新しいインクとインクICチップに交換してください。☞ 「インクを交換する」（P. 41）
キャップ交換	キャップの使用カウントが規定量を超えた。	キャップを交換してください。☞ 「キャップの交換」（P. 143）
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超えた。	ワイパーを交換してください。☞ 「ワイパーの交換」（P. 140）
メディアがありません	メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	- メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」（P. 61） - メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」（P. 131）
メディアをセットしてください		メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」（P. 61）
メディア未検出	メディア幅を検出していない。	メディア幅を検出してください。☞ 「メディアをセットする」（P. 61）
ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しない。	- ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」（P. 125） - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」（P. 33）
洗浄液カートリッジなし	メンテナンス液カートリッジがセットされていない。	メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液カートリッジを交換してください	メンテナンス液がなくなった。	新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
洗浄液エンド		

メッセージ	原因	対処方法
環境温度が高い ** °C	• 室内の温度が高い。	- 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。 ☞ 「設置上のご注意」 (P. 15)
環境温度が低い ** °C	• 室内の温度が低い。	
自動補正に失敗しました	- 白いメディアを使っていない。 - メディアが汚れている。 - メディアが浮いている。 - センサー周辺が汚れている。	- 白くて汚れのないメディアを使用してください。 - メディアが浮かないようにセットしてください。 - センサー周辺を清掃してください。☞ 「DAS (自動補正機能) センサーの清掃」 (P. 128) - 失敗を繰り返す場合は、手動で補正してください。☞ 「フィード補正をする」 (P. 96) ☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 98)
巻取 リミットケンシュツ	• 巻き取りテンションバー位置の上限を検出している。	• 巻き取りテンションバーを下げてください。
繰出 リミットケンシュツ	• 繰り出しテンションバー位置の上限を検出している。	• 繰り出しテンションバーを下げてください。
巻取 動作異常	• 巻き取りテンションバーが下限位置から動いていない。	• JOGキーで巻き取りユニットが正常に動作することを確認してください。
繰出 動作異常	• 繰り出しテンションバーが下限位置から動いていない。	• JOGキーで繰り出しユニットが正常に動作することを確認してください。
プラテンなし	• プラテンがマシンに装着されていない。	• プラテンを装着してから、各種プリントを実施してください。☞ 「プラテン」 (P. 25)
モーター直結ユニットを確認してください	• テンションバーの設定に対して、モーター直結ユニット・トルクリミッタの取り付けが正しくない。	• テンションバーを使う場合はモーター直結ユニット、テンションバーを使わない場合はトルクリミッターを取り付けてください。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	- 新しいインクに交換してください。☞ 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 40) - UISSの場合、クリーニングをすることができます。
インク ニアエンド	• インク残量が、残りわずかになっている。	間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞ 「インクニアエンドが表示されたとき」 (P. 40)
インクIC無し	• インクICチップがない。	インクICチップをセットしてください。☞ 「インクを交換する」 (P. 41)

メッセージ	原因	対処方法
		2. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「 インクをセットする 」(P. 44) 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 33)
インクIC異常	インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「 インクをセットする 」(P. 44) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 33) 3. 新しいインクに交換してください。☞「 インクを交換する 」(P. 41)
インク カラー	充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」(P. 44)
インク種類	充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」(P. 44)
インク期限注意	- インクが期限切れになった。 - インクが期限切れから、1か月経過した。	新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)
インク期限オーバー	インクが期限切れから、2か月経過した。	新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
108	HD CONNECT[12]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
108	HD MEM EMP[12]	• プリントヘッドに異常を検出した。	
10e	FROM CLEAR	• メイン基板に異常を検出した。	
10f	FROM WRITE		
115	PCB MAIN-F1		
122	CHECK：SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	
122	PRAM NONE		
123	PRAM DATA	• メイン基板に異常を検出した。	
124	PRAM ADDR		
127	POWER OFF		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
128	HDC FIFO OVER / HDC FIFO UNDER	・ プリントヘッド制御基板 に異常を検出した。	・ 販売店、お近くの弊社営業所、または コールセンターにお問い合わせく ださい。 ・ 主電源を切って、しばらくたってか ら電源を入れてください。☞「電 源を切る」(P. 33)
129	バッテリー交換	・ 内蔵時計の電池切れを検 出した。	
12a	HDC SPEED	・ プリントヘッド制御に異 常を検出した。	
12d	PCB MAIN-F4	・ メイン基板に異常を検出 した。	
130	HD DATA SEQ	・ プリントヘッド制御に異 常を検出した。	
147	DS-IC BUSY	・ インクIC制御に異常検出 した。	
148	E-LOG SEQ	・ ログの制御に異常を検出 した。	
151	Main PCB V1R2	・ メイン基板の電源系統に 異常を検出した。	
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
155	Main PCB V42-1		
15f	HEAD DRIVE HOT	・ HDCE基板のCOMドライ バが高温になっている。	
171	NEW HEAD CONNECT	・ 新しいプリントヘッドの 接続を認識した。	
186	HDC OVERFLOW / HDC UNDERFLOW	・ プリントヘッド制御に異 常を検出した。	
187	HDC SLEW RATE		
188	HDC MEMORY		
18c	Main PCB V12	・ メイン基板の電源系統に 異常を検出した。	
18e	FLS NOT COMP	・ プリントヘッド制御に異 常を検出した。	
18f	OFFSET START / END [12]		
1b5	SLIDER CONNECT	・ HDCE基板が認識できな い。	・ 主電源を切って、しばらくたってか ら電源を入れてください。☞「電 源を切る」(P. 33)
1bf	PCB MAIN-F2	・ メイン基板に異常を検出 した。	
1d8	HEAD XHOT[12]	・ プリントヘッドに異常を 検出した。	
1e6	PRAMサイズ不足	・ メモリーサイズが不足し ている。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
201	コマンドエラー	プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	- データクリアを実行して、再度データを送信してください。 - USB/Etherケーブルの接続を確認してください。☞「本機とコンピュータを接続する」（P. 35）
202	パラメーターエラー	受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	- 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「本機とコンピュータを接続する」（P. 35） - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
206	プリントモードエラー	プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20A	ドライバーバージョン	Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
303	PCB MAIN ET	メイン基板に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
304	USB INIT ERR	USBケーブルの接続に異常を検出した。	- USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 36） - 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 36） - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
305	USB TIME OUT		
318	SDカード接続異常	SDカードに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
401	モーターアラーム X	Xモーターに過大な負荷がかかった。	- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」（P. 61） - 正面カバーを開けて、キャリッジ動作に障害があるものがないかどうかを確認してください。 - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
402	モーターアラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	ワイパー原点が、検出できなかった。	- ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 125） - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 33）
423	巻取テンションバー	巻き取テンションバー位置の初期化に失敗した。	- 巻き取りテンションバーを下げてください。 - 巻き取りユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「巻き取りユニット」（P. 62）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			3. メディアのセット状態を確認してください。
424	繰出テンションバー	繰り出テンションバー位置の初期化に失敗した。	- 繰り出しテンションバーを下げてください。 - 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「繰り出しユニット」(P. 71) - メディアのセット状態を確認してください。
425	巻取 動作異常	巻き取りテンションバーが下限位置から動いていない。	- 巻き取りユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。 - メディアのセット状態を確認してください。
426	繰出 動作異常	繰り出しテンションバーが下限位置から動いていない。	- 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。 - メディアのセット状態を確認してください。
429	巻取 リミットケンシュツ	巻き取りテンションバー位置の上限を検出している。	- 巻き取りテンションバーを下げてください。 - 巻き取りユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「巻き取りユニット」(P. 62) - メディアのセット状態を確認してください。
42a	繰出 リミットケンシュツ	繰り出しテンションバー位置の上限を検出している。	- 繰り出しテンションバーを下げてください。 - 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「繰り出しユニット」(P. 71) - メディアのセット状態を確認してください。
48b	Y MOTOR COM	Yモーターの通信ができない。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
48c	Y MTR I2C COM	起動時にYモーターの通信ができない。	
496	Y MOTOR DIR	Yモーターの動作方向を指定できない。	
504	CLAMP UP	クランプレバーを上げた。	クランプレバーを下げてください。
505	メディアジャム	メディアジャムセンサーが反応した。	- 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	位置制御に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
50a	Y原点検出	Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
50c	メディア幅センサー確認	メディア幅の検出に異常を検出した。	- メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 131)
50f	L-SCALE BLACK	リニアスケールに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
516	メディア位置 右 (左) 過ぎます	メディアが範囲外にセットされている。	- メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 131)
530	ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
54c	吸着ファン異常	吸着ファンの異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
54d	HDCE冷却ファン異常	HDCE冷却ファンが回転不良を検出した。	
602	インクエンド	インクがなくなった。	新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)
608	インクIC異常	インクICチップの情報にエラーが発生した。	- インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクをセットする」(P. 44) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33) - 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 41)
60a	インク使用量超過	- インクICに書き込まれた使用量が規定値を超過した。 - インク交換と一緒に、インクICチップの交換をしなかった。(同一チップを使用し続けた)	新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)
60c	インク種類	充填されているインク種類とインクICチップに登録されているインク種類が異なる。	正しいインク種類のインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」(P. 44)
629	インク期限注意	- インクが期限切れになった。 - インクが期限切れから、1か月経過した。	新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)
62a	インク期限オーバー	インクが期限切れから2か月経過して、インクが使用できなくなった。	新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 40)

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法	
631	インクカラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「 インクをセットする 」(P. 44)	
637	INK LEAK _	• インク漏れセンサーがインク漏れを検知した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。	
801	(C) OPCODE	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 33)	
802	(C) SWI			
803	(C) PFTCHABRT			
804	(C) DATAABRT			
806	FW/SIO bit	• 基板間通信エラーを検出した。		
808	FW/STP-MTR**	• メイン基板に異常を検出した。		
80f	FW/SIO Vch	• 基板間通信エラーを検出した。		
811	FW/SIO read ****	• 基板間通信エラーを検出した。		
81b	FW/STACK OV	• メイン基板に異常を検出した。		
828	PRG ERR L*****			
901	実行できません	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• エラーの内容を確認してください。	
902	未作図 データ アリ	• プリント (RIP) データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。	
90f	プリント エリア不足	• プリント領域が不足している。	• メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。	
b1a	PCB BaselO1	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 33)	
b1b	BaselO PCB Vpow-s	• Base IO基板の電源に異常を検出した。		
b1c	BaselO PCB V24			
b1e	PCB BaselO-F**	• BaselO基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。	
b36	PCB INKIO	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 33)	
b3f	BaselO Unconform	• 基板が認識できなかった。		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
b48	PCB HDCE*	• 基板間通信エラーを検出した。	
b49	PCB HDCE-VHVFET[12]	• HDCE基板の電源に異常を検出した。	
b4a	PCB HDCE*-F*	• HDCE基板のヒューズ切れを検出した。	
b4b	HDCE* PCB V1R2	• HDCE基板の電源に異常を検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。 • 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 33)
b4c	HDCE* PCB V2R5		
b4d	HDCE* PCB V3R3		
b51	BaselO PCB V24adj	• BaselO基板の電源に異常を検出した。	
d1b	COM VOLT[12]	• HDCE基板の電圧に異常を検出した。	

SYSTEM HALT



- SYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第 6 章 付録



この章では...
本機の仕様など説明しています。

仕様	174	オプション	176
		リレーBOXについて	176

6.1 仕様

項目			Tx330-1800
プリントヘッド	方式		オンデマンドピエゾヘッド
	仕様		ヘッド（400ノズルx 8列）を2つ搭載（スタガ配列）
	解像度	Y	300 dpi、 600 dpi
		X	600 dpi、 900 dpi、 1,200 dpi、 1,800 dpi
インク種類			Sb420, Sb411, TP410
インクセット	Sb420		4-color : M, Bl, Y, K 6-color : C, M, Bl, Y, K, Lb, Lm
	TP410		4-color : M, C, Y, K 8-color : M, C, Y, K, R, G, Bl, Lk
	Hybrid		Sb411 : M, Bl, Y, K / TP410 : M, C, Y, K Sb420 : M, Bl, Y, K / TP410 : M, C, Y, K Sb411 : M, Bl, Y, K / Sb420 : M, Bl, Y, K
メディア	種類		転写紙、布
	最大プリント幅 ^{*1}		1,940mm（転写紙）、1,910mm（布）
	最大幅		1,950mm（転写紙）、1,920mm（布）
	最小幅		210 mm
	厚さ		5.0 mm以下
	ロール外径 ^{*2}		ø250 mm以下
	ロール重量 ^{*2, 3}		40 kg以下
	紙管内径		2インチ、または3インチ
	プリント面		外面、内面
	巻き終り処理		紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	左右	15 mm（デフォルト値）、最小値： 5 mm	
距離精度 ^{*4}	絶対精度		±0.3mm、または指定距離の±0.3 %の大きい方
	再現性		±0.2 mm、または指定距離の±0.1 %の大きい方
直角度			±0.5 mm / 1,000 mm
メディアスキュー			5 mm以下 / 10 m
プリントギャップ			手動5段階（3.0 ~ 7.0 mm）
原点位置合わせ			LEDポインター式
インク供給			インクエコケース（インクパック）
メンテナンス液供給			カートリッジ
廃インクタンク			ボトル式（2,000 ml）
巻き取りユニット			搭載
メディアヒーター			-
NCU（ノズル詰まり検出）			搭載
DAS（自動補正機能）			搭載

項目		Tx330-1800
インターフェイス	データ転送機能	Ethernet 1000BASE-T（推奨） ^{*5,6} 、USB 2.0 Hi-speed ^{*6,7}
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、韓国語
騒音	待機時	54 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	連続動作時	59 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	不連続動作時	65 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、RCMマーク、KC認証、UKCAマーク
電源仕様 ^{*8}		単相 AC100～120V / 200～240V±10% / 3A、50/60±1Hz
消費電力	最大 ^{*9}	300W以下
	標準	170 W
	最小 ^{*10}	4.5 W以下
設置環境 ^{*11}	使用可能温度	20 - 30 °C
	相対湿度	35 - 65 %Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25 °C
	温度勾配	±10 °C/h 以下
	粉塵	0.15 mg/m ³ （オフィス相当）
	動作最高高度	2,000 m
外形寸法 ^{*12}	幅	3,230mm（3,590mm）
	奥行き	965 mm（1,010 mm）
	高さ	1,857 mm（1,165 mm）
重量 ^{*12}		291kg（394kg）

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定したとき。

*2. メディア巻き取り後の外径および重量。

*3. 重量によるたわみがない範囲。

*4. メディアの伸縮やメディアセット初期蛇行は除く。

*5. ローカルガイドンスで、“1000Mbps”以外が表示されている場合、プリント不可。LANケーブルを使う

*6. 接続環境やプリントデータによって、プリント速度が低下するおそれあり。本機とコンピューターを接続する

*7. 本機へのデータ転送速度が遅く、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

*8. オプション類除く。

*9. プrintモードによって異なる。

*10. スリープ時。

*11. 範囲外の環境下では、インク吐出安定性が低下するおそれあり。

*12. () 内は、梱包サイズ。

6.2 オプション

名称	品番	参照先
小型リレーBOX	OPT-J0370	
リレーBOX2	OPT-J0407	
合紙ホルダユニット	OPT-J0405	
1インチホルダユニット	OPT-J0399	
OPT-DsubBKT	OPT-01012	
合紙ユニット取付BKT	OPT-01013	

リレーBOXについて



- 他社製品の外付け乾燥ヒーターを使用すると、火災につながるおそれがあります。必ずオプション設定されている小型リレー BOX、もしくはリレーBOX2を介して本機に接続するようにしてください。



- Tx330-1800は、リレーBOX（OPT-J0370 / OPT-J0407）のいずれか1つだけ接続することができます。



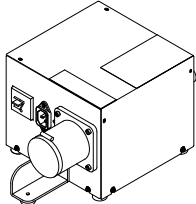
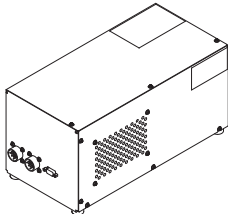
- リレー BOXを使用するには、オプションの接続中継ケーブル（OPT-J0512 乾燥FAN接続キット）と、取り付け用の板金（OPT-01012 OPT-DsubBKT）が必要です。

● 概要

リレーBOX は、本機の動作と連動して、ヒーター電源（ON/OFF）を自動で切り替えます。

- プリントが停止するとヒーター電源を切って、無動作状態時の加熱を防ぎます。
- リレーBOX は、外付け乾燥ヒーターの温度制御の機能は付いていません。外付け乾燥ヒーター側で、温度を設定してください。

● 仕様

小型リレーBOX（OPT-J0370） 	電源仕様	単相AC100-120V/12A、単相 AC200-240V/8A、50/60 Hz、1 系統 コンセント給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター
リレーBOX2（OPT-J0407） 	電源仕様	単相AC100-240V / 30A、50/60 Hz、1 系統 配電盤給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター

索引

アイコン	
廃インクタンク	155
D	
DAS (Dot Adjustment System)	106, 121, 128
E	
[END/POWER]キー	28, 29, 33
[ENTER]キー	29
F	
[FUNCTION]キー	29, 31
J	
[JOG]キー	29
L	
LANGUAGE	116
LANケーブル	24, 35
LANポート	24
M	
MAPS (Mimaki Advanced Pass System)	106
Mimakiドライバー	38
MRA (Mimaki Remote Access)	116
N	
NCU (Nozzle Check Unit)	127
P	
PINコード	117
R	
RasterLink	38, 39, 100, 101, 114, 115
S	
[SEL]キー	29
SYSTEM HALT	30
U	
USBインターフェースケーブル	24, 36

USBポート 24

V

VCCI 6

い

インクICチップスロット 45

インクICチップ 41, 42, 45

インクエコケース 41, 43, 44

インクエラー 30

インクエンド 40, 111

インク吸収材 42, 154

インク供給ユニット 42, 154

インク交換 118

インク残量 30

インクニアエンド 40

インクの状態 30

インク排出経路 121, 130

インクパック 41, 42

インストールガイド 38, 39

インターロック 17

インレット 24, 32

え

エラー履歴 118

エラー 29, 163

お

オートクリーニング 110

オートパワーオフ 115

オートパワーオン 115

オートメンテナンス 22, 109, 110

か

確認フィード 115

カラープロファイル 38

環境設定メニュー 116

乾燥時間 114

き

キープザー 116

キーライフタイム 117

機能設定メニュー	114
キャップ吸収材	145
キャップ交換	109
キャップ使用	118
キャップ	25, 121, 123, 143
キャリッジアウト	109
キャリッジ	22, 25, 29, 109, 121, 124
キャンセル	29
吸着ファン	107

く

空気抜き	111
クランプレバー	22, 24
クリーニング	95, 109
繰り出しユニット	24, 71
グリットローラー	22, 26, 121

け

警告ラベル	18
-------------	----

こ

コンセント	32
-------------	----

し

時刻設定	116
自動補正 (DAS)	106, 164
自動リモート	115
ジャムセンサー	22, 121, 133
受信障害	6
受信バッファ	104
主電源スイッチ	24, 28, 32
詳細設定	107
使用時間	118
使用状況	118
正面カバー	22
シンボルマーク	7

す

スイッチングハブ	35
ステーションメンテ	109
ステーション	22, 25
ステータスランプ	29

スミージングレベル 107

せ

接続中継ケーブル 176

設置スペース 16

そ

操作パネル 22, 29

た

高さ調整レバー 56

単位表示設定 116

端面ガイド 70

て

ディスプレイ 29

テストプリント 29, 93, 109

電源ケーブル 32

電源設定 115

電源プラグ 32

電波障害自主規制 6

と

吐出不良 93, 95, 109, 112, 125, 143, 158

ドット位置補正 31, 50, 98, 106

トッププロワ 115

トルクリミッター 64

ぬ

布押さえ 150

ね

ネットワーク 116

の

ノズル洗浄 109, 161

ノズルチェック 113

ノズル詰まり 95, 113

ノズルリカバリー 109, 112

ノットレディモード 30

は

バージョン 118

廃インクタンク	22, 121, 155
廃インク量補正	155
排気ファンBOX	24, 147
搬送ユニット使用選択	114

 ひ

ヒーター	28
飛行曲がり	95
引っ張りローラー	114
引張りローラー	23
表示言語	116
ピンチローラー	22, 26, 121, 148

 ふ

フィード速度	107
フィード補正	31, 50, 96, 106
吹き付けファン	147
ブラテン	22, 25, 121, 134
ブリフィード	107
プリント原点	102
プリント中メンテ	110
プリント長	118
プリント面積	118

 へ

ページ間余白	115
ヘッドクリーニング	29
ヘッド高さ	56

 ほ

保管洗浄	109, 137
ポンプチューブ洗浄	109, 130

 ま

マージン	115
巻き取りユニット	22, 62
マシンステータスメニュー	118

 め

メディア押さえ	121, 132, 134, 150
メディア裁断カッター	22
メディア削除	108

メディア残量	107
メディア情報	107
メディア設定メニュー	106
メディアセンサー	24, 27, 121, 131
メディア幅	107
メディアフィード	29
メディア名称変更	108
メディア	61
メニューモード	30
免責事項	6
メンテナンス液カートリッジ	24
メンテナンス液吸収材	145
メンテナンスカバー	22
メンテナンスメニュー	109
メンテナンス履歴	118
メンテナンス	118

よ

余白設定	115
余白フィード方式	115

り

リスト	118
リファレンスガイド	101
リフレッシュ	110
リモートコントロール	116
リモートモード	29, 30
リレーBOX	176

ろ

ローカルガイダンス	31
ローカルモード	29, 30
ロールホルダーセット位置銘版	71
ロジカルシーク	114

わ

ワイパークリーナー	141
ワイパー交換	109, 118, 140
ワイパー	25, 109, 125, 140
ワイピング	118

取扱説明書

2025年4月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

